

THE PHILATELIST MAGAZINE

フィラテリスト

スタンペディア日本版機関誌

Magazine

2020

SPRING ISSUE
STAMPEDIA INC.



無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

26

フィラテリスト Magazine の読み方・使い方

当誌の位置づけ

フィラテリスト Magazine は無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が発行する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。年会費を納めた会員には、冊子（フルカラー 約 160 頁）が、発行の都度郵送されるほか、「マイスタンペディア」（右図）より冊子到着前にダウンロードして閲覧していただくサービスを提供しています。 <http://my.stampedia.net>

冊子の提供サイズ

機関紙（通常号）は A5 判と A4 判を用意しており、年間を通じて予めご指定頂きます。特に指定ない場合は A5 判を購読するものとして取り扱います。年途中での A4 判へのサイズ変更は、差額のお支払が必要ですが承ります。

PDF の活用方法（見る）

ダウンロードした PDF は、パソコンやスマホに保存できます。一旦保存するとそれ以降はいつでも好きな時に PDF 版をご覧ください。

万一、ダウンロードした PDF が見つからなくなっても、会費を継続して支払っている期間は、入会以来全ての PDF を再度「マイスタンペディア」からダウンロードできます。

PDF 版は Adobe Reader 等の PDF 閲覧アプリでご覧頂くことを推奨いたします。ブラウザ（インターネットエクスプローラー等）での閲覧は不安定であり、勧めません。

PDF には目次がついています。目次表示機能付き PDF 閲覧アプリでは読みたい記事を簡単に探すことが可能です。

また機関紙の「目次」（原則として 4-5 ページ）で記事タイトルをクリックすると、読みたいページにジャンプします。

PDF の活用方法（印刷する）

ダウンロードした PDF は、個人の利用に限り、いつでも好きな時に繰り返し印刷することが許可されています。各号に用意された目次を参考にして興味ある記事を見つけ、印刷を行ってください。なお当誌では表紙を 1 ページ目としてページの割り付けを行っておりますので、印刷に指定するページ番号も目次のページ番号と一致しています。（ページ番号は各ページのフッタに表示しています）

なお本誌 PDF は快適なダウンロードの為、ファイルサイズをコンパクトにしています。この為、弊社で製本してお届けする冊子と比較すると印刷結果のクオリティは落ちます。

当誌の編集方針

現代のフィラテリーは古今東西の幅広い収集対象に対して深く研究が行われると共に、収集方法も多岐に分かれています。このような幅広い興味・関心を満たす郵趣雑誌は、多くのページ数を持ち、掲載が特定の分野に偏らない存在であることが理想的です。

この理想を実現するために、フィラテリスト Magazine はページ数に制限の少ない PDF で閲覧されることを前提に編集しています。まだ新しい、このようなスタイルの郵趣雑誌を提供することにより、郵趣の世界に元気を与えたいと考えています。



スタンペディアオークション

第13回セール

フロア 2020年4月19日(日) 14:00 浅草

会場 東京都台東区花川戸2丁目6-5 都立産業貿易センター&台東区民会館9階

コロナウイルス感染症の状況次第で日程・会場を変更する可能性があります。変更がある場合、HPや電子メールで適宜お知らせいたします。

Featured Material

今号の取り扱いロット数

	日本	その他	小計
Single Lot	820	314	1,134
Multiple Lot	56	85	141
小計	876	399	1,275



竜切手 カバー含み 28 点 Lot. 5-32



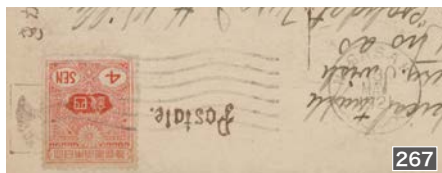
墨六・玉六 57 点 Lot. 85-141



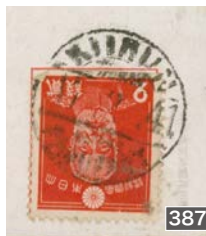
富士鹿 8 銭赤 1922-3-20
Paquebot (発行年)



脇付 1 銭未使用



欧文機械印の珍品 長崎 2 点



KIRUN PAQUEBOT



移動分室
Lo.902



Penny Black 6 点
Lot.1000-1005
未, pl.11, カバー



ポーランドー番切手カバー Lot.1158



米新聞切手 25 種 Lot.1173

フィラテリスト Magazine

第26号

目次

当誌の読み方・使い方	P.02
目次	P.04
マイスタンペディアで PDF 購読のオプション申込が可能な郵趣雑誌の紹介	P.06
郵趣界重大ニュース	P.08
郵趣カレンダー	P.12
全国切手展 スタンペックスジャパン2020	P.14
向こう3ヶ月の注目の展覧会	P.17
第3回南方占領地のフィラテリー展	P.20
LONDON 2020	P.24
NZ 2020	P.27
TAIPEI 2020	P.28
寄稿記事・郵趣論文	P.31
私の発見・私の報告 速達郵便に関する2つの初日	P.32
私の発見・私の報告 5厘小判葉書の記番印の使用局	P.34
連載 クラシック切手 (7) ニューサウスウェールズ・シドニービューズ 吉田 敬	P.36
連載 クラシック切手 (8) スペイン・イザベラⅡ世・6クワルタ黒 吉田 敬	P.38
南方占領地のフィラテリー (12) 昭南管理下のリオ群島の郵便 守川 環	P.40
ブラジル 1861 年 430 レイス切手 最大マルチプル貼使用例の報告 正田 幸弘	P.45
小判切手に見られる外信印について (5) 20ミリ欧文日付印 (抹消使用) 小寺 雅弘	P.50
戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (3) KOBE 局～KUCHINOTSU 局 杉山 幸比古	P.56
戦後の欧文櫛型印 (2) C欄 NIPPON グループ (下) 神宝 浩	P.64
的一滴 (コラム) 違反郵便物 安藤 源成	P.69
日本の UPU 加盟日と公的資料について 山本 勉	P.70
1920 年代以降の凸版平台製造技術の推移 吉田 敬	P.80
日華連絡線 (上海丸・長崎丸) 船内局引き受けの内地宛速達郵便 横山 裕三	P.87
南方占領地マライ ペナンローマ字暫定加刷切手の加刷原版の研究 吉田 敬	P.108
戦後の市内特別郵便 行徳 国宏	P.109
和欧文機械印トピックス 水谷 行秀	P.120
第54回 欧文記載変化	第56回 改元 (昭和→平成)
第55回 中央局一斉昇格	第57回 改元時の混乱

コレクションの作り方		P.129
切手コレクションの紹介		
第一次動植物国宝	水谷 行秀	P.130
押印機（和文機械印）による封書への消印		
－大正 8 年～昭和 41 年－	横山 裕三	P.132
郵趣活動の記録		
第 3 回いずみ展 参観記	長野 行洋	P.134
郵趣振興協会 活動報告	特非) 郵趣振興協会	P.136
オークションレポート		
ジャパンスタンプ・オークショニアレポート	鯛 道治	P.141
スタンペディアオークション セールレポート	スタンペディアオークション (株)	P.149
メンバーシップ特典・入会方法の説明		P.162
あとがき		P.163

付録（切手コレクション紹介）

付録1 切手コレクション紹介 2 作品

広告一覧

フィラサーチ [P.140]
 鳴美株式会社 [P.148]
 日本フィラテリックセンター [P.11]
 スタンペディアオークション株式会社 [P.3]
 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 [P.164]
 特非) 郵趣振興協会 [P.30, 128]

ご寄稿案内

当誌は 2013 年 12 月に創刊された、総合郵趣雑誌（季刊）です。

フルカラー 160 ページの紙面を、フィラテリーに関する寄稿記事に最優先に割り当てています。「このような内容は掲載できるかな?」「他の郵趣雑誌ではページ数や編集の都合でうまく書けない / 掲載できない」「連載で書きたい」「これまで寄稿を郵趣雑誌にしたことはないけれどぜひ書いてみたい」といったフィラテリストの情報発信を、本誌への寄稿記事で実現してみませんか?

「マテリアルは持っているのだけど、記事を書くまでではない」といった方には、『私の発見・私の報告』や『切手コレクションの紹介』への掲載のご相談も承ります。

(1) ご寄稿にあたり、お送りいただきたいものは、テキストと画像です。

画像については、200dpi のスキャナーやスマホカメラで撮影した写真を添付ファイルとしてお送りください。

(2) (1) のような手段のない方はカラーコピーをご郵送ください。なお、お送りいただいた原稿、カラーコピーほか資料は返却しません。

(3) いただいた原稿は、編集部で判断の上、編集して掲載いたします。手書き原稿もお引き受け可能ですが、キャパシティに上限がありますので、長文の場合は事前にご相談ください。

連絡先: tpm@stampedia.net

郵送先: 102-0083 海事ビル内郵便局留 スタンペディア 宛て

マイスタンペディアで PDF 購読のオプション申込が可能な 郵趣雑誌およびその発行者の活動の紹介等

2019年12月～2020年2月

IZUMI (発行：いずみ切手研究会)



378号を発行(12/29) 京都のKB1使用期間について(篠田 日出雄)
樺太の消印(長野 行洋) 美濃國武儀郡 神か淵ふち郵便局の印額(濱谷 彰彦)
明治42年栃木県内一部三等局のX3型櫛型印先行使用を再考する(宮崎 幸二)
手押し標語印(矢嶋 基之) 日華連絡船(上海丸・長崎丸) 船内局引受けの内地宛速達郵便(横山 裕三) 標語機械印考(清水 勝利)
JAPEX2019参観記(長野 行洋) ほか

「いずみ切手研究会」例会案内	
例会開催日	原則として第3日曜日 午前9時-12時
会場	練馬区立勤労福祉会館(大泉学園駅近)
向こう三ヶ月の例会日	3/15, 4/19, 5/17
例会参加資格	会員限定(ダウンロード権利のみでは参加できません)

最近の情報(発行：小判振舞処)

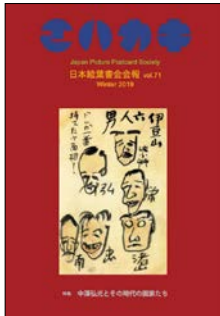


190号を発行(12/29) JAPEX2019 振舞処同志の健闘を祝う(事務局) 静岡の市内便か不足便か?(長田 伊玖雄) 20ミリ欧文日付印長崎のゴム印の顛末(小寺 雅弘) 伏水と伏見(7)最終回 ま と め(近辻 喜一) ほか

191号を発行(1/22) 勤業事務郵便の新発表(小林 富士夫) <新発表>(桑原 康雄) KB1は面白い(1) 差出証示印(近辻 喜一) 報告・調査対象(11) 一寸変だなと思われるもの報告(城野 隆三 長田) JAPEX 19 出品作品 開港地間郵便(佐々木 義郎) ほか

192号を発行(2/23) 横矢さんの思い出(設楽 光弘) 横矢さんの追悼と逆雷紋エラーの真偽(祖父江 義信) KB2型二重丸印から丸一印便号空欄印への移行について(松尾 義晴) 明治27年3月9日発行明治銀

エハカキ(発行：日本絵葉書会)



71号を発行(1/22) 特集「中澤弘光とその時代の画家たち」絵葉書をより愉しむために(七) 私の小早川秋聲(四) 絵葉書に見る年中行事お会式編(七) (榎本 弘紀) 権現堂の水害絵葉書(上ヶ島理) ほか

郵趣仙台（発行：仙台郵趣会）



239号を発行（12/29）仙台郵趣会の誕生（編集部）切手に登場した歴史上の女たち（中島 斉）詩と音楽（佐々木 克夫）「なんちゃって」郵便史（佐藤 浩一）阿寒国立公園切手（池田 駿介）宮城県の不統一印（小関 幸生）和文ローラー印（斎 享）ほか

240号を発行（2/23）清酒「真鶴」の蔵元宛の赤二 10枚貼り7倍重量書留書状（横山 裕三）切手に登場した歴史上の女たち（中島 斉）詩と音楽（佐々木 克夫）「なんちゃって」郵便史（佐藤 浩一）東北に因む第1次国立公園切手（池田 駿介）宮城県の不統一印（小関 幸生）和文ローラー印（斎 享）ほか

仙台郵趣会の主催ではありませんが、同じく仙台的の切手サークルである、JPS仙台支部が主催する「楽しい趣味の切手展」が以下のように開催されますので、ご案内いたします。（展示作品は表の通り）

期間：令和2年4月21日（火）～4月25日（土）
時間：午前10時～午後6時（最終日の午後4時終了）
場所：東北電力グリーンプラザ・アクアホール（仙台市青葉区一番町 3-7-1、東北電力ビル1階）

作品名称	Fr	出品者
美しい女性たち	2	佐々木香
新中国の動物切手	2	蝦名美知夫
映画ア・ラ・カ・ル・ト	2	横塚茂生
スペインの画家たち	2	中島 斉
安藤広重生誕200年	4	田村英明
みちのく祭紀行	4	明石康男
東海道五十三次	4	佐藤英幸
万葉集	4	白鳥友治
思い出の東京オリンピック 1964	4	中澤正夫
戦前の東北の鉄道関連グッズ	4	斎 享
私製はがきの誕生120年	4	横山裕三

マイスタンペディアでPDF購読のオプション申込が可能な郵趣雑誌

これらの雑誌のPDF購読を希望される方は、マイスタンペディアよりお申し込みください。（有料）

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社（以下、「当社」）は、「スタンペディア日本版」会員を対象に、マイスタンペディア（インターネット上のサービス）を通じて、有償で他者が発行するフィラテリーに関する情報媒体を配信する事業を2016年より行っております。

提供している郵趣雑誌は、当社がその内容を精査し「スタンペディア日本版」会員の皆さんに自信を持ってお勧めできるものに限定しており、現在は4媒体を提供しております。これらの雑誌のPDF購読を希望される方は、マイスタンペディアよりお申し込みください。（有料）

雑誌名	発行者名	発行予定回数	年間購読料	会員数	備考
IZUMI	いずみ切手研究会	4回	1,000円	121人	毎月の例会と年1回の展示会を自主運営する首都圏ナンバーワン切手サークル
エハカキ	日本絵葉書会	4回	1,000円		絵葉書文化を提唱する雑誌
郵趣仙台	仙台郵趣会	6回	1,000円	123人	毎月15-16人参加する例会活動を中心とする、東北地方の切手サークル
最近の情報	小判振舞処	10回以上	1,500円	122人	小判切手とその時代に特化し、トップクラスの研究成果を出し続ける切手サークル

郵趣界重大ニュース

2019年12月～2020年3月

1 国際切手展 PHILANIPPON 2021 来年 8/25-30 の六日間、パシフィコ横浜で開催へ

3月10日、公益財団法人日本郵趣協会（以後、JPS と略す）は、ホームページで、2021年8月25日（水）～8月30日（月）に、国際切手展 PHILANIPPON 2021 を開催する事を発表しました。

本誌 21 号で既報の通り、2018年12月2日に、日本郵便株式会社は国際郵趣連盟の総会で、FIP 後援（patronage）の総合世界切手展（General World Stamp Exhibition）の開催について、立候補演説を行い、承認されましたが、それ以来の情報発信となります。

なお、上記総会では『総合世界切手展』での立候補を行いました、その後『総合世界切手展』は断念され、『専門世界展チャンピオンシップ』での開催となりました。

JPS は、同展覧会の組織委員会を構成する団体であり、問い合わせたところ、4月1日に PHILANIPPON2021 のホームページを開設計画とのことでした。

会場は、十年前の PHILANIPPON2011 と同じパシフィコ横浜で、展示ホール B と C を用いて、2000 フレーム規模の開催が予定されています。

出品要項などは、4月1日以降に、ホームページに掲載されていくものと見られます。



10 年前同様、記念切手が多数、発行される予定

2 新型コロナウイルス感染症が猛威。2月末以降の郵趣催事、軒並み影響をうける

世界保健機構（WHO）がパンデミック宣言した、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、日本も例外ではなく、2月になると、催事の中止を決定する団体が現れはじまりました。

郵趣界では、2月25日に郵趣振興協会が『ジャパンフィラテリストサミット 2020（3/7）』の中止を、また JPS が『関西スタンプショウ 2020（3/14-15）』などの中止を発表した程度でしたが、2月26日に首相記者会見で今後2週間の大規模イベントの「中止」「延期」の政府要請が発表されると、3月以降に予定されていた郵趣行事の大半は、オークションの様に事前入札の代替手段も提供されている催事以外、軒並み中止もしくは延期を余儀なくされました。

2月26日の2週間後となった3月11日は、本来であれば、毎年開催されてきた東日本大震災の追悼式の日でしたが、それすら自粛要請期間の十日間延長により取り止められました。

本問題は、日本限定でなく世界的課題であり、かつ季節性がなく終わりが見えないことが、国際行事の開催について影を落としており、それ自体が国際行事である国際切手展については、今後一年以上、開催地を問わず、主催者や参加者は、頭を悩ませる事になりそうです。

3 東海郵趣連盟、機関誌「東海郵趣」の休刊を発表

東海郵趣連盟は、3月1日に発行した機関誌「東海郵趣」第29号にて、3月末日に発行予定の第30号をもって、機関誌「東海郵趣」の発行を休刊することを発表しました。

今回休刊となる「東海郵趣」誌は、東海郵趣連盟が再生発足したことを受けて、20世紀に発行されていた機関誌と同じ名称で第1号から発行したもので、再生後の号数と併記する形で、昔の雑誌からの通巻も記載しています。ちなみに最終号は通巻229号となります。

近年、廃刊・休刊を発表した郵趣雑誌

雑誌名	発行主体	最終号発行時期
フィア関西	関西郵趣連盟	2017年3月
全日本郵趣	(一社)全日本郵趣連合	2019年10月
東海郵趣	東海郵趣連盟	2020年3月



休刊を告知する「東海郵趣」第29号

4 日本フィラテリックセンター、年間流通額1億円突破、『切手稼業たかが5年スペシャルオークション』を開催へ

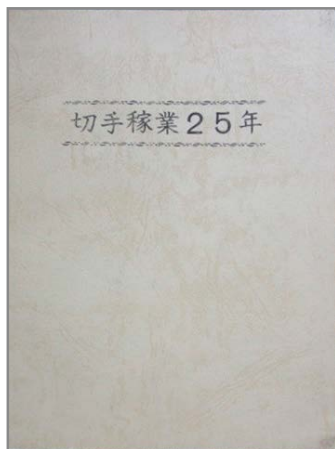
日本フィラテリックセンター（大阪市、店主：金坂忠彦氏）は、12月に、年間流通額が1億円を突破した事を発表すると共に、手彫切手を始めとする珍品を多数取り扱うスペシャルオークション（パブリックオークション）を3月に開催する事を発表しました。

同オークションは、原則として年2回、1月と7月に公開セールを開催しています。3月のセールは『切手稼業たかが5年』と銘打ち記念開催するもので、手彫切手の珍品も多数出品されます。

事情を知らない人の中には『記念オークションなのに何故この様な自虐的なタイトルを銘打つのだろう?』と思う方もいらっしゃるかもしれません。

実は、この銘は、日本フィラテリックセンターの初代経営者であった、西岡 辰二氏の著作『切手稼業25年（1979年、日本フィラテリックセンター）』をもじった表現です。同書は、230ページ立ての単行本で非売品ですが、おそらく当時の顧客に配布したのではないかと思います。

日本フィラテリックセンターに限らず、昨今のフィラテリックオークションでは手彫切手が多数出品されており、価格の面からも、集めやすい時代になっている事を感じさせられます。



「切手稼業25年」（西岡辰二著）表紙

5 郵趣関連寄付と切手展開催の持続可能性の動向

郵趣に関する活動で寄付を集めている各団体の昨年の数字がほぼ上がってきたので、まとめてみました。なお、郵趣協会は、会費が寄付控除対象になるなど、一部の団体の会員になる行為は税制上、寄付として認められることもあります。今回の対象は切手展や郵趣振興までとしました。

調査の結果、JAPEX 寄付金への協力が減少する一方、スタンプショウ は凸凹はあるもののむしろ人数・金額とも伸長しており、対 JAPEX 比が、概数で、40% → 70% と上がっている事がわかりました。

これは JPS が専門フィラテリストよりもライトコレクター層に重点を置いた活動を推進してきた成果であり、今後もスタンプショウ の寄付金集めは安泰と予想されます。

一方、2015 年まで 360 万円から 380 万円台にまとめていた JAPEX 寄付金は、二年続けて 300 万円台に低下しています。

しかし商業的に成功している JAPEX の場合、ブース出店料や広告・協賛金・出品料の収入だけで約 1,080 万円を確保しています。支出が約 1,200 万円である事を考えると、寄付金を最低 120 万円集めれば赤字にならないことが、公開されている JAPEX2019 の収支報告書から読み取れます。従って、JAPEX 寄付金が漸次減っても、当面の JAPEX の開催はびくともしないと思われます。

JAPEX の様に、切手展の開催にあたり、持続可能性（サステナビリティ）を意識した経営を行う事は、最近のトレンドです。同じく全国切手展として開催される『スタンベックスジャパン』については、従来の切手展で当たり前と思われていた経費を見直すと共に、国際展準拠の観点から必要と思われる経費に予算を集中配分することで、収入とのバランスが意識されています。同展覧会実行委員会では、この様な予算モデルを導入することで『将来長期に渡り、競争切手展の開催を持続可能にする』とのことでした。

	JAPEX 寄付金		全日展		スタンプショウ		スタンプクラブサポーター	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
2011年	624名	3,612,000		未調査		未調査		発行前
2012年	635名	3,874,000		未調査		未調査		発行前
2013年	644名	3,853,000		未調査	281名	1,514,000		発行前
2014年	592名	3,709,000	59名	963,000	247名	1,632,000	23名	98,000
2015年	591名	3,617,000	98名	1,076,000	322名	1,928,000	79名	306,000
2016年	533名	3,780,000	65名	840,000	402名	2,442,000	127名	484,000
2017年	521名	3,508,000	87名	905,000	336名	2,101,000	146名	530,000
2018年	477名	3,009,000	75名	826,000	301名	2,073,000	146名	560,000
2019年	563名	3,063,000	43名	654,000		未調査	103名	466,920

番外編 切手展に音声ガイダンスが登場

第3回いずみ展に展示されたコレクション「練馬」に音声ガイダンスがつけられ、会場におけるコレクション展示パネルで案内されました（右）。主催の郵趣振興協会では、読み上げに適した文章作成の研究を行い、将来的には全ての作品に音声ガイダンスを付与し、一般観覧者への郵趣振興を図るとのことです。



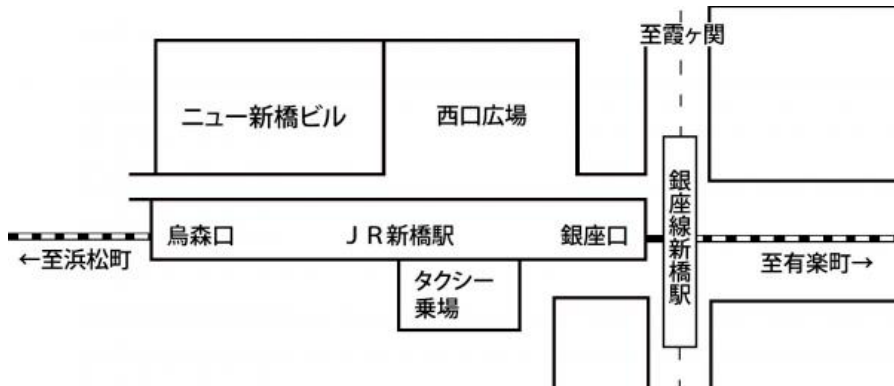
[広告]

スタンペックスジャパン2020 が急遽延期との連絡を受け、弊社予定の第780回オークション東京下見会（3月7日、8日）の会場、日程を下記の通り変更の上実施させていただきます。

厳しい環境情勢ではありますが、是非ご来場頂きたく宜しくお願い申し上げます。

記

1. 日時 2020年3月22日（日）10:30～16:30
2. 会場 ニュー新橋ビル 地下2階会議室



第780回オークションは、3月29日（日）に予定通り開催いたします。

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-200号(大阪駅前第2ビル2階) TEL (06)6341-8466 FAX (06)6341-8480
HP <http://japanphilatelic.jp/> E-mail nihon-philatelic@outlook.jp ゆうちょ振替 00920-3-20839

日本フィラテリックセンター

郵趣カレンダー

2020 年 3 月中旬以降に開催される郵趣イベント

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性があります。
ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。

国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展

開催日	切手展名称	会場	分類	出品 の切
2020/3/19-22	NZ 2020 ※ 1	Ellerslie Events Centre(ニュージーランド、オークランド)	ア	締切済
2020/4/3-5	スタンバックスジャパン 2020	郵政博物館（押上・スカイツリー）	日	締切済
2020/5/2-9	LONDON 2020	Business Design Center（英、ロンドン）	世	締切済
2020/7/10-12	全日本切手展 2020	すみだ産業会館（錦糸町）	日	未発表
2020/8/6-11	WSC<INDONESIA2020>	The Indonesian Parliament Complex(インドネシア、ジャカルタ)	世	締切済
2020/10/23-27	TAIPEI 2020	Taipei World Trade Center(台湾、台北)	ア	4/20
2020/11/ 6- 8	JAPEX 2020	都立産業貿易センター台東館（浅草）	日	未発表
2021/2/11-14	MELBOURNE 2021	Caulfield Racecourse（豪、メルボルン）	ア	未発表
2021/3/17-20	CAPE TOWN 2021	International Convention Center（南ア、ケープタウン）	世	未発表
2021/4（予）	スタンバックスジャパン 2021	郵政博物館（押上・スカイツリー）	日	未発表
2021/5/6-9	IBRA 2021	Messe Essen, Hall 1+2（独 エッセン）	世	未発表
2021/8/25-30	PHILANIPPON 2021	パシフィコ横浜	世	未発表
2026/5/23-30	BOSTON 2026	Boston Convention and Exhibition Center（米ボストン）	世	未発表

分類 世：世界切手展 ア：アジア国際切手展 日：日本の全国切手展

※ 1 3/14 夕方、NZ2020 実行委員会は、同国政府による 2 週間の外国人入国者に対する隔離義務制限発表を受け、同展をアジア展として開催することを断念し、同国国内展として開催することを発表しました。

一般切手展

開催日	地域	切手展名称	会場
4/1-4/5	東京	from 1896 to 2016	郵政博物館
4/4-5	東京	第 12 回聴覚障害者切手研究会切手展	切手の博物館
4/17-19	東京	郷土の郵便の歴史展	郵政博物館
4/17-19	東京	スタンプショウ 2020	都立産業貿易センター & 台東区民館ビル
4/21-25	仙台	楽しい趣味の切手展（J P S 仙台支部）	東北電力グリーンプラザ・アクアホール
5/29-31	東京	菊・田沢 MINIPLEX2020	切手の博物館
6/6-7	東京	南方占領地のフィラテリー展	郵政博物館
6/13-14	広島	スタンプショウ＝ヒロシマ 2020	広島県立産業会館東展示館

※ 1 郵政博物館の開場時間は 10:00-17:30 ですが、最終入場時刻は 17:00 です。また切手展初日の開場時刻が 13:00 になるケースがありますので、ホームページでご確認ください。 <http://kitte.com/>

※ 2 切手の博物館で開催される切手展は抜粋して掲示しています。また切手展初日の開場時刻が午後になるケースがありますので、ホームページでご確認ください。

主要なオークション

開催日	主催者	回	会場
3/15	タカハシ・スタンプ・オークション	643	タカハシスタンプ
3/17	JPS オークション	526	(メールオークションとして開催)
3/29	日本フィラテリックセンター	780	大阪駅前第二ビル 15 階
4/4	ナルミ・スタンプ・オークション	74	新宿サンパークホテル
4/19	スタンペディアオークション	13	都立産業貿易センター&台東区民館ビル
4/19	タカハシ・スタンプ・オークション	644	タカハシスタンプ
4/19	JPS オークション	527	都立産業貿易センター台東館
4/24	スタンペディア 2020 夏の文献セール	13	(メールオークションとして開催)
5/17	タカハシ・スタンプ・オークション	645	タカハシスタンプ
5/30-31	ジャパンスタンプオークション	112	大阪駅前第三ビル 17 階
7/11	スタンペディアオークション	14	全日展 2020 特別会場 (錦糸町)

* メールオークションとして開催される場合は、開催日が入札締切日となります。

* 当社関連会社が提携するスタンペディアオークションへの出品締切は下記の通りです。

第 14 回セール：2020/4/1、第 15 回セール：2020/7/1、文献セールは別途。

切手フリマ・即売会

開催日	地域	名称	回	会場	開催時間
3/20-22	東京	JSDA 切手まつり	33	交通会館 12 階ダイヤモンドホール	10:00-18:00
4/4	東京	切手市場	182	綿商会館	9:00-17:00
5/2	東京	切手市場	183	綿商会館	9:00-17:00
5/30-31	大阪	大阪駅前第三ビルバザール	65	大阪駅前第三ビル 17 階	10:00-17:00
6/6	東京	切手市場	184	綿商会館	9:00-17:00
6/6	名古屋	名古屋切手フリマ in 大須	6	第 1 アメ横ビル	10:00-16:00

* 会場住所 綿商会館：東京都中央区日本橋富沢町 8-10

第一アメ横ビル：愛知県名古屋市中区大須 3-30-86

交通会館：JR 有楽町駅前 (代田区有楽町 2-10-11)

* JSDA 切手まつり、初日正午開場、最終日 15:30 最終入場

郵趣カレンダーへの掲載をご希望の展覧会主催者の方へ

当誌は、フィラテリーを活性化させるイベントを開催・運営される方を宣伝の観点からお助けします。「国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展」以外の切手展については、掲載依頼のあったものについて、編集部で吟味した上で掲載いたします。

(1) 展示作品、フレーム数、出品者名等が決まっている場合 (暫定でも可) は、「郵趣カレンダー」に掲載した上で、別途、作品一覧を掲載します。

(2) 展示作品に関する情報が未定の場合は、「郵趣カレンダー」のみが掲載対象です。

連絡先： tpm@stampedia.net

全国切手展 スタンペックスジャパン2020

スタンペックスジャパン2020 実行委員会

展覧会の概要

名称：スタンペックスジャパン2020

会期：2020年4月3日（金）～5日（日）

会場：郵政博物館（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）

規模：100 フレーム

主催：（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会（郵政博物館）

協賛：スタンペディアプロジェクト

後援：カルトールセキュリティプリンティング社、切手市場、一般社団法人 全日本郵趣連合、株式会社鳴美、公益財団法人 日本郵趣協会

毎日の開場時間

4月3日（金）10:00-17:30 ＊最終入場時刻は午後5時

4月4日（土）10:00-17:30 ＊最終入場時刻は午後5時

4月5日（日）10:00-16:30

＊新型コロナウイルス感染の状況に伴う、2月26日（水）から2週間の大規模イベントの「中止」「延期」の政府要請により、スケジュールが変更になっております。更なる「中止」「延期」の決定が万が一ある場合は、ホームページなどで適宜お伝えいたします。

主催者・審査委員長からのご挨拶

郵政博物館長 井上 卓朗

（公益財団法人 通信文化協会）

「スタンペックスジャパン2020」がいよいよ始動いたしました。

新たな国際展準拠の全国切手展を郵政博物館 企画展示室において、主催者の一人として開催できることを嬉しく思います。

郵政博物館は郵政の歴史研究とそれに伴う展示を中心に活動を行ってききましたが、郵趣分野についてはあまり積極的には行っていませんでした。そういった意味では不慣れな点も多く、当館も至らない部分もあるかと思いますが、この「スタンペックスジャパン」を2回、3回と毎年回を重ねることで、新たな競争展として皆様に愛されるように、努力していきたいと思っております。



スタンペックスジャパン2020審査委員長 佐藤 浩一

2021年には10年ぶりに切手発行150周年を記念して世界切手展 PHILANIPPON 2021 が開催されます。出品して収集仲間と楽しみたいと考えておられる収集家も多いものと思われませんが、国内展での高評価にも拘わらず思いがけない結果に落胆された経験をお持ちの方もおられるのではないのでしょうか？出品されるのであればそのような失望を防ぐ意味でも世界切手展基準の作品を準備したいものです。

「スタンペックス2020」は国際郵趣連盟（FIP）の認可を受けた登録審査員だけが審査を担当し、FIP ルールに基づく世界切手展基準で審査する初めての全国規模の切手展です。PHILANIPPON 2021 に出品をお考えの方には、審査員との対話・講評を通して作品のまとめ方などをご理解いただける絶好の機会となりますので、PHILANIPPON 2021 への作品作りにぜひこの機会をご利用ください。



スタンペックスジャパン2020実行委員長 行徳 国宏 (特定非営利活動法人 郵趣振興協会 代表理事)

『30年後の郵趣人口の確保』を目的とするスタンペディアプロジェクトから公益部分を切り出し設立された当協会は、2017年より『郵博特別切手コレクション展』の開催を開始し、今年で3年目を迎えました。どの郵趣団体に加盟しているかに関わらず、フィラテリーの収集成果を発表する機会を非競争展として確保することは、冒頭の目的の達成の為に重要な一要素だと考えていた為でした。

幸い、この3年間に切手展開催ノウハウを貯めた中で、郵政博物館から企画展示室における展覧会開催の機会を頂戴しました。PHILANIPPON2021をはじめとして、多くの世界切手展に日本人が進出する中、展示マテリアルでなく展示技術（作品の展開や規則の理解も含む）で苦戦する作品が多い現実を知り、今度は日本のエグジビター（展示者）の水準をあげる展覧会を開催し、あわせて国際展の規則や運用を知らない国内展の審査員を減らすことが『30年後の郵趣人口の確保』の一要素になることを認識しました。

展覧会ならびに FIP 審査員をはじめとする皆様のセミナーの開催を通じて、一人でも多くの出品者が、未来の国際切手展で笑顔で喜ぶ日を迎えることができれば、主催者として最上の喜びです。



今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性がございます。
ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しく下さい。

スタンプボックスジャパン2020の 展示作品一覧

No	部門	Fr.	出品作品名称	出品者名	過去の賞歴
1	伝統郵趣	8	France 1849-1862	有吉伸人	Indonesia2017-G
2		5	新昭和切手	飯澤達男	全日展 2017-LV
3		5	Japan Definitives 1899-1908	内海省一	JAPEX2019-V
4		5	Ryukyu Dollar Currency Conversion Provisional Series 1958	木戸裕介	全日展 2019-V
5		5	手彫切手	瀧川忠	JAPEX2019-LV
6		8	Japan Definitive Issues 1914-1925	丹羽昭夫	SINGAPORE2019-G
7		8	昭和切手 1937-1945	林国博	SINGAPORE2015-LV
8	郵便史	5	菊切手の郵便使用	饗場利明	(初出品)
9		8	Early Cancellations of MIMASAKA, BIZEN, BICCYU-Han in OKAYAMA prefecture	安藤源成	PHILAKOREA2014-LV
10		8	Foreign Mail in Nagasaki 1875-1905	伊藤純英	CHINA2019-LV
11		5	青島のドイツ・日本・中国による郵便史 1898-1949 ～郵便印・遞送路の研究～	福田真三	全日展 2019-LV
12		5	税済印を使用した明治時代の郵便制度	永富功	JAPEX2019-LV
13		5	郵便の自動化（自動取り揃え押印機の開発）	水谷行秀	全日展 2019-G
14		5	POSTAL CARDS OF JAPAN 1873-1874	斎享	MACAO2018-G
15	ステーショナリー	5	JAPAN - Postal Stationery 1898-1908	古家美和	(初出品)
16		5	Postal Stationery of Japanese Occupation Naval Occupied Area	守川環	JAPEX2019-LG
17		5	二つ折り葉書	吉田敬	(初出品)

なお、延期に伴い、当初予定されていた、ジャパンフィラテリストサミット（授賞式）やディーラーブース、セミナーは中止となりましたが、展示・審査・クリティークといった、本展覧会の趣旨を体現する催事については延期日程でも開催予定です。

また、競争出品 17 作品 100 フレームに加えて、後援企業であるカルトール社から、日本記念切手の分色シートが特別展示されるほか、郵政博物館による、戦前のコイル切手自動販売機を始めとする収蔵品の特別展示も合わせて行われる予定です。

ただし、新型コロナウイルス感染の状況に伴い、更なる「中止」「延期」の決定がないとは言えません。万一変更がある場合は、ホームページなどで適宜お伝えいたします。

展示予定作品について、一作品あたり 4 ページを割いて紹介している「公式ガイドブック」の PDF は、2/22 よりマイスタンプメディア でダウンロード提供中です。



2月22日に発行された公式ガイドブック

編集部お勧めの一般切手展 向こう3ヶ月の注目の展覧会

これまでフィラテリストマガジンでは、毎号向こう3ヶ月間の「郵博特別切手コレクション展」についてご案内して参りました。「郵博特別切手コレクション展」は、我が国のフィラテリー等に関するナショナル・ミュージアムである郵政博物館で開催される切手コレクションの展覧会で、展示内容も厳選されている為でしたが、今後は、他の会場で開催される切手展で編集部としてお勧めしたい一般切手展（FIP 競争展以外の切手展）についてご案内して参りたいと思います。

2/22-4/5 世界切手展

郵政博物館が開催する展覧会で全体を3部に分けて、3つの展覧会となっています。最終部（3日間）は「スタンプボックスジャパン2020」ですが、別ページで詳細をご案内しておりますので、合わせてご覧ください。

残り二部につきましては、2020年夏に東京五輪があることからスポーツに関する展覧会を開催するもので、フィラテリーに関するマテリアルはもちろん、非郵趣の五輪関連マテリアルも展示されますので、オープン郵趣の観点から是非ご参観ください。（新型コロナウイルス感染症の影響でスケジュールが一部変更となりました。）

- | | | |
|----------|-------------------|-----------------|
| 2/22-3/1 | スポーツ切手展 | [無事、終了しました(写真)] |
| 4/1-5 | from 1896 to 2016 | [会期が変更となりました] |
| 4/3-5 | スタンプボックスジャパン 2020 | [会期が変更となりました] |



今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性がございます。ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。

4/17-19 郷土の郵便の歴史展

郵博特別切手コレクション展では、毎年、スタンプショウの時期に、本格的なフィラテリーの展示を行っております。

本年は、ベテラン収集家にも人気の高い地方郵便印に関する展覧会を郵趣振興協会の主催で開催することとなりました。

出品募集にあたり、小判振舞処（長田伊玖雄氏主宰）にご相談申し上げ、同会の会員の皆様を中心とするご出品が集まりました。

一般の方のご来場も多い郵政博物館の特性をご考慮いただき、フィラテリスト以外にもお楽しみいただける作品作りを意図されるご出品者も多いと伺っております。

5/16-17 郵便制度史展2020

2015年より開催されていた郵便制度史展ですが、遅れていた本年の開催日が決定しました。展示一覧は、決定次第、郵趣振興協会HPで公開予定です。

作品名称	F	作品オーナー
国立銀行	1	近辻 喜一
横浜の抹消印・証示印	1	城野 隆三
明治初期、上野国より差し出された、書留、金子入使用例（明治5年～明治21年9月まで）	3	設楽 光弘
千葉県の丸一印の集め方	1	永冨 功
八王子の消印	1	長野 行洋
群馬県の鉄道郵便印（停車場印～丸一型印）	2	森下 幹夫
甲斐国 二重丸型日付印 アラカルト	1	穴戸 俊介
明治の東京・深川郵便局ぶらり散歩	3	鎌倉 達敏
不統一印を愉しむ	2	立山 一郎
伊賀国消印	1	須谷 伸宏
三河国岡崎－飛脚と郵便	1	祖父江 義信
豊後国の郵便路線の発達と初期郵便	1	桑原 康雄
U小判切手と二重丸型印	1	平尾 勉
静岡・アラカルト（明治10年～39年）	1	長田 伊玖雄
練馬	2	吉田 敬

上記は予定であり、変更されることがあります。

5/29-31 菊・田沢 MINIPEX 2020

切手の博物館で開催されるミニベックスの中では、かなり高いレベル作品を毎年多数展示している、JPS 菊・田沢切手研究会による展覧会。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症に伴い、3/13-15の展示は延期となりましたが、より完成度の高い展示を5月末にみることはできると思えば儲け物。

ジャパNSTAMPオークションとぶつかりますが、今からの展示作品の観賞が楽しみな展覧会の一つです。

作品名称	F	作品オーナー
小判切手	4	千葉晋一
菊切手	5	内海省一
菊切手2銭の郵便	2	安村康繁
田沢8銭	1	吉田敬
新大正毛紙切手の多数貼りカバー	1	長竹一彦
ふるさと切手・47都道府県の花	1	丹羽昭夫
連刷・国体	2	長野行洋
日本の航空書簡	3	山口充
青島のドイツ・日本・中国による郵便史1898～1949（郵便印、遞送路の研究）	5	福田真三

（次ページに続く）



作品名称	F	作品オーナー
19世紀末～20世紀初頭 日本からアジアへ	2	天野安治
外地及び樺太からの年賀状	3	藤波誠治
青島局・大正7年の郵便印	1	柳川英幸
満蒙開拓青少年義勇軍	2	福田隆男
物品書留	1	中世古誠
通貨価格表記から現金書留	1	石川勝己
相模の郵便印	2	鎌倉達敏
鉱山局の消印（明治時代）	1	永富功
戦争と年賀状	1	和田進
押印機（和文機械印）による封書への消印（大正8年～昭和41年）	5	横山裕三
高崎の標語機械印	2	森下幹夫
明治の電報	5	板橋祐己

6/13-14 スタンプショウ = ヒロシマ 2020

西日本最大の切手展を標榜するスタンプショウ = ヒロシマは、ジャパNSTAMP社によるドラフト販売で有名ですが、展示に力を入れていることでも有名です。

今年も、昨年、内外の競走展で展示された話題の作品を、日本中から集めて展示予定です。（右表は編集部による抜粋）

作品名称	F	作品オーナー
オリンピックと日本	5	犬飼英明
東京五輪 1964～2020	2	長野行洋
龍文切手	1	千葉晋一
旧小判切手	5	村上信和
U・新小判切手	8	井上和幸
新大正毛紙切手の多数貼りカバー使用例関係	1	長竹一彦
田沢 8 銭	1	吉田敬
藤原鎌足 5 円	1	池田健三郎
日本普通切手 1980 - 1988	5	須谷伸宏
日本の航空書簡	3	山口充
ルーマニア付加税切手	5	板橋祐己
米国平版印刷 1 セント切手	1	奥山昭彦
ポストホルン切手の新時代	4	井上龍太郎
三河岡崎 — 飛脚と初期郵便印 —	3	祖父江義信
19世紀末～20世紀初頭 アジアへ	2	天野安治
樺太の消印	1	長野行洋
ツクサ亜綱	5	石田徹
フランス美術切手シリーズ	2	江村清
服飾の歴史と髪飾り	2	今井節子

6/6-7 第3回南方占領地のフィラテリー展

スタンプショウ=ヒロシマの一週間前に開催される上記展覧会については、次ページ以降で、展示団体によるアピール記事がございますので、合わせてご覧下さい。

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性がございます。ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。

毎年6月は南方切手展！

第3回南方占領地のフィラテリー展

南方占領地切手コレクターズクラブ

『南方占領地のフィラテリー展』は、南方占領地切手コレクターズクラブが、2017年から毎年テーマを決めて開催している展覧会です。

南方占領地切手は、『よくわからない』『偽物ばかりでしょ？』『展覧会でも賞が取れないでしょ』と誤解されがちです。そこで、(1)一般のフィラテリストに魅力をアピールすると共に、(2)フィラテリスト以外へのアピールを通じてフィラテリー自体に興味を持ってもらうことを目的に、一般の方の来場も多い郵政博物館で、郵趣振興協会にご協力いただき、毎年6月に開催しています。

今年のテーマは、昨年逝去された、南方占領地切手ゼネラルの大コレクター橋本道弘氏のコレクションの抜粋展示に決定しました。同氏のコレクションは、必ずしも全てがリーフに整理されていなかった為、有志が手分けして、アルバムリーフに整理し、展示を行う予定です(39フレーム、右表)。

展示予定リーフの大半は作品集にまとめて販売を予定していますが、全ページの掲載ではない予定で、また紙面上は縮小表示になりますので、是非ご来場いただければと思います。(開催やご来場は、コロナウイルス次第ではありますが・・・)

なお、毎年同展覧会では、有志による南方占領地切手のブース販売が開設されるほか、南方占領地切手コレクターズクラブ会員による展示解説が行われておりますが、本年の催事については、コロナウイルスの状況を睨みつつ、直前に決定いたします。

本稿では、展示予定マテリアルをご紹介します。

取扱地域	F
ビルマ	5
マライ	5
北ボルネオ	3
スマトラ	6
ジャワ	3
海軍	5
フィリピン	3
昭和	3
アングマンニコバル	1
香港	1
軍事	1
仏印	1
正刷葉書	1
天長節発行の切手	1



アングマン・ニコバル 5/1A
Port Blair → Port Blair, 5 AP



アンダマン・ニコバルへの書留書状 (未達)
名古屋・矢田→ Port Blair, 19 2 22 (1944)



海軍担当地区
検閲済 / シンカラジャ局



記念葉書の持ち込み (フィラテリック)
BEKOK / 24 JA (ジョホール州)



昭和切手 4 枚貼り KUALA LUMPUR to Kuala Lumpur, 1 8 2603 (1943) 23c = 8+15 書留書状



仏印 ハノイ 1945/5/19 → Saigon 6/30 → ニャチャン NhaTrang 7/12 書留書状



昭和切手貼り書状

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性があります。
ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。



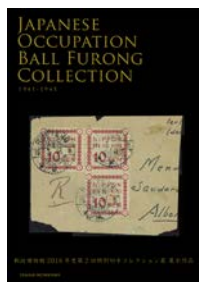
北ボルネオ 1944 3行加刷 8c 2枚貼り
クチン中央→ブルネイ、27 3? 2605 (1945)



海軍担当地区正刷 10c 単貼り
大日本/マカッサル 検閲印付き



北ボルネオ 1942 1行加刷 8c 8枚貼りワンピース
カピト / 14 10 2603 (1943) / 北ボルネオ、シブ宛て



既刊本のご案内

南方占領地のフィラテリー 玉芙蓉コレクション

2018年の南方占領地のフィラテリー展で展示された「玉芙蓉」コレクションの大半を掲載した A4 カラー 156 ページの単行本です。(2,000 円)

本年の展示も同様の書籍にまとめて発行を計画しています。

第4回南方占領地のフィラテリー展（郵政博物館）出品作品募集

開催時期は、郵趣振興協会と今後相談しますが、2021年6月開催を第一希望にしています。2019年同様ノンテーマで、個人出品を募集予定です。

今年最初の世界切手展 LONDON 2020

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会は、活動の一環として、国際切手展情報の充実に注力しています。LONDON 2020について、主催団体が発表した展示作品より、日本関連の出品を抜粋してお伝えいたします。

展覧会名称：LONDON 2020

会場：Business Design Center（英、ロンドン）

会期：2020/5/2-5/9

日本からの出品

部門	作品名	F	作品オーナー
チャンピオン	L. v. Beethoven - His Life in a Historical Context and his Legacy	8	Yukio Onuma
郵便史	German Inflation 1922-1923	8	Fumihisa Ito
	Advertised Postmarks in Japan	1	Tomoyuki Iwasaki
	Indian Campaigns	8	Akihiko Koiwa
伝統郵趣	France 1849-1862	8	Nobuto Ariyoshi
	Private Printing Period in Victoria 1850-1859	8	Masayasu Nagai
	Austria and Lombardy-Venetia the 1850 issues	8	Tamaki Saito
	Japan Definitives 1913-1937	8	Yuji Yamada
	Japan Definitives 1952-1959	5	Takashi Yoshida
印紙	The Hand-Etched Documentary Revenue Stamps of Japan 1873-1874	8	Stephen Hasegawa
ステーションナリ	Aerogrammes of Ethiopia 1951-1974	5	Kazuyuki Inoue
テーマティク	A History of the Telephone	8	Akinori Katsui
	"Entry of the Crusaders in Constantinople" by Eugene Delacroix. The client's purpose and the painter's expression	1	Masaru Kawabe
文献	Japanese Stamp Specialized Catalogue Vol.1, Vol.2, Vol.3		Japan Philatelic Society, Foundation
	Gems On Paper		Yukihiko Shoda
	Modernest Stamp		Taro Yamazaki
	Stampedia		Takashi Yoshida

日本以外からの日本関係の出品物

部門	作品名	F	作品オーナー	国
郵便史	Treaty Ports Cancellations of Br. P.O. in China & Japan on Hong Kong Stamps 1862-1930	8	Charles Chan	香港
	Japanese Post Offices In Korea : 1876-1910	8	Ilho Shong	韓国
	Japan's Wars, 1894-1911	5	Myron Palay	米国
伝統郵趣	Australia - The BCOF Japan 1946-1949 Overprint Issues	1	Malcolm Price	英国
オープン	Japanese Conquest and Defeat in WWII	5	Ian Sadler	豪

[コラム] LONDON2020 のホームページ

吉田 敬

ロンドン2020 展のホームページは充実しており、絞り込み機能付きの作品一覧が準備されています。この作品一覧のさらに優れたところは、タイトルページのダウンロードができることです。



Exhibits

The filter on "Description" and "Intro Page" does not work due to a software restriction.
Hover mouse over "Hover" in Description column to see description (n/a to mobiles and tablets).
Half refers to whether displayed Sat to Tues (1st) or Wed to Sat (2nd)

[Click to view Classes](#)

Filters

Frame No. Half Name Country Exhibit Title Description

1 Class Intro Page

02-Postal History

Search: postmark]

Frame	No.	Half	Name	Country	Exhibit Title	Description	Class	Intro Page
02-0201	1	1st	Christakis Ioannou	Cyprus	The Postmarks Used At The Post Offices Of The Cyprus Government Railway 21.10.1905 - 31.12.1951.	Hover	02-Postal History	Link
02-0511	1	1st	Tomoyuki Iwasaki	Japan	Advertised Postmarks in Japan	n/a	02-Postal History	Link
02-0697	1	1st	Branko Morenčič	Slovenia	Italian Railway Postmarks in Slovene Littoral	Hover	02-Postal History	Link

Showing 1 to 3 of 3 entries (filtered from 909 total entries)

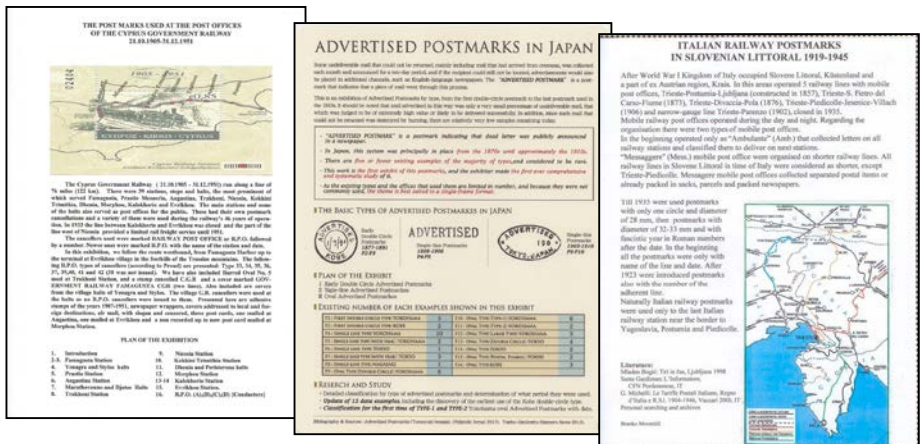
[Previous](#) [Next](#)

[Administration](#)

©2020 - London 2020 International Stamp Exhibition

[Weaver Xtreme Theme](#)

作品一覧から「ワンフレーム」「郵便史作品」「タイトルに postmark を含む物」を絞り込んだところ



上記一覧の右の「Link」ボタンを押すと作品のタイトルページがダウンロードできた！！

ひょっとしたら、作品一覧にタイトルページのダウンロードリンクを設けた事への称賛は、そのような機能を提供できない切手展の実行委員会が「リンクをつけただけでしょ？」と言ってしまいがちな事なのかもしれません。

しかし、参観者に有益であるだけでなく、現地に残念ながら赴くことができないフィラテリストにとっても、タイトルページを学ぶことができるこのような「コロブスの卵」的なアイディアは、明らかにイノベーションです。同様のサービスの提供にあたっては、IT への理解がそれなりである人が居ないとリンク漏れが多数生じて目も当てられないだろうな、と推測されます。

このように、ロンドン 2020 展は実に Well organized な展覧会です。昨年 5 月にスウェーデンのストックホルムで開催された Stockholmia 2019 が、インターネットや雑誌上の情報発信に優れ、実際の運営も優れていたのを彷彿とさせますが、それもそのはず。LONDON 2020 の運営には、Stockholmia 関係者もかなり多く参加しているのです。

それに比べると、2019 年にアジアで開催された国際切手展の内、China2019 と Singapore2019 は、展示作品リストすら事前にホームページで公開せず、運営水準、中でも IT リテラシーの低さを痛感させた展覧会でした。

ひょっとすると IT リテラシーのある人材が居たとしても、会場で目録を入手するまでどのような作品が展示されるか一般人に知る方法が無いことが、フィラテリーのプロモーションにとってどれだけマイナスかを想像できるセンスの人が主催者のリーダーにならない限りは、こういう問題はずっと解決されないのかもしれません。

話を元に戻しますが、国際展への出品を念頭にしている人で、「タイトルページの作り方がわからない」「英語の書き方がわからない」という人には、是非 LONDON2020 のホームページで自分と同じ部門に出品する外国人の作るタイトルページを見ることをお勧めします。

<http://www.london2020.co/>

例えば「手彫切手」を集めている人であれば、伝統郵便部門に出品された他国のクラシック切手コレクションのタイトルリーフを見ると参考になると思います。

何故、外国人の作るタイトルページを見るべきかというと、日本人のフィラテリストよりも国際展ルールを勉強し、ネイティブに近い英語で作成しているタイトルリーフが多いからです。

「手彫切手」のタイトルリーフを作るにあたり、過去に日本人がフィラニッポンに出品したタイトルリーフを参考にする人は多いと思いますが、フィラニッポンの日本部門は日本人審査員が多いのですから、日本人が参加する国際展としては異例であり、通常の国際展における「手彫切手」の審査は、他国のクラシック切手と同様に審査されるからです。

もっとも外国人の作ったコレクションならどれでもお手本になるかと言えば、そんなことはありません。5/8 には LONDON 展の受賞結果が発表されますので、そこで大金賞など高位の賞を獲得した作品に絞ってみるというのも一つの手ではないかと思います。

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性がございます。
ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報（ホームページや代表電話）を確認の上、お越しください。

第 37 回アジア展 NZ 2020

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会は、活動の一環として、国際切手展情報の充実に注力しています。NZ 2020 について、主催団体が発表した展示作品より、日本関連の出品を抜粋してお伝えいたします。

展覧会名称：NZ 2020

会場：Ellerslie Event Centre (ニュージーランド、オークランド)

会期：2020/3/19-3/22

日本からの出品

部門	作品名	F	作品オーナー
チャンピオン	Japan Definitives 1883-1892	8	Inoue, Kazuyuki
伝統郵趣	Ryukyu Air Mail Stamps 1950-60	5	Ishizawa, Tsukasa
	Imperial Korea 1884-1905	5	Iwasaki, Zenta
	Japan Definitive Issues 1914-1925	8	Niwa, Akio
	Japan Definitives 1922-1937	8	Yoshida, Takashi
	Romania "King Ferdinand I" Series 1920-1926	8	Itabashi, Yuki
郵便史	Mails between Japan and USA Until 1941	5	Komiyama, Satoshi
	Austrian Inflation 1921-1925	5	Ito, Fumihisa
ステーションナリ	Commemorative Postal Cards of Japan	5	Sudani, Nobuhiro
テーマチック	The Development Story of Floriculture	5	Kanomi, Satoko
	Following the Tracks on City Roads ...	8	Enosawa, Yuichi
オープン	Tonga Tin Can Mail History 1882-1947	8	Inoue, Kazuyuki
文献	How to Make Your Exhibit for JAPEX	0	Enosawa, Yuichi
	Gems on Paper	0	Shoda, Yukihiko
	Japanese Stamp Specialized Catalogue Vol.1, Vol.2 and Vol.3	0	Japan Philatelic Society Foundation

日本以外からの日本関係の出品物

部門	作品名	F	作品オーナー	国
伝統郵趣	Japanese Occupation of British Territories of South East Asia During WWII	5	Gosse, Tom	豪
郵便史	China: The Chinese Military Postal History During Second Sino-Japanese War	5	Chiu, Shih-Hsing	台湾
	China: The Military Postal History of Sino-Japanese War 1937-1945	5	Chung, I Chuan	台湾
	Postal Routes for International Mail of China During the Sino-Japanese War of 1937-1945	5	Cheung, Albert	豪
	Prisoner of War Correspondence, Japanese Occupation of the Far East, WWII 1942-45	8	Chitty, Lindsay	乳

おことわり

3/14 夕方、NZ2020 実行委員会は、同国政府による 2 週間の外国人入国者に対する隔離義務制限発表を受け、同展をアジア展として開催することを断念し、同国国内展として開催することを発表しました。本誌校了後に入ってきたニュースの為、追記で情報をお知らせいたします。

第 38 回アジア国際切手展への出品応募方法

TAIPEI 2020

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

本稿は、同展覧会コミッショナーの池田健三郎さんからの情報により編集いたしました（編集部）

1. 開催情報

- (1) 2020 年 10 月 23 日から 27 日までの 5 日間にわたり、台湾・台北市の Taipei World Trade Centre Hall 1 に お い て、The Chinese Taipei Philatelic Federation、Chunghwa Post Co., Ltd お よ び Taiwan External Trade Development Council の 三 者 か ら な る 組 織 委 員 会 主 催 に よ り、FIAP の patronage および FIP の recognition の下で第 38 回アジア国際切手展< TAIPEI 2020 >が開催されます。
- (2) 本展の特別規則から、出品に関する事項を抜粋しました。正式な規則類や書式等は、必ず同展のウェブサイト等（本日時点で未開設のため、開設あり次第お知らせいたします）でご確認ください（この記載はあくまで便宜上のもので、英文が正規のものとなります）。
- (3) 出品申込書への署名は TAIPEI2020 特別規則に承諾したと見なされます。

2. 日本国ナショナル・コミッショナーについて

（一社）全日本郵趣連合理事会の議を経て以下の通り決定されました。

- ・ 氏名：池田健三郎（イケダ・ケンザブロウ / IKEDA, Kenzaburo）
- ・ 連絡用電子メール： kenzaburo@jipp.jp
- ・ 作品送付先：〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 7- 3 3- 2- 3 F

3. 日本国内からの出品受付について

- (1) 2020 年 4 月 10 日（金）より 4 月 20 日（日）（必着）までの国内エントリー期間内にコミッショナー（池田）宛に出品申込書とイントロダクトリーページ（タイトルページ）を送付してください（すべて英文）。
- (2) 特段の事由なき限り、全てのご連絡は上記の電子メールあてでお願いいたします（必要書類はスキャンしたものを pdf ファイル等でメールに添付してください）。
- (3) 以前の出品作品のタイトルを変更して出品する場合は、必ず、以前のタイトルを出品申込書に記載してください。
- (4) いただいたご連絡にはすべて「Re:」でご返信いたしますが、送信から 3 日経っても当方からの折り返しがない場合はメール不達事故等の可能性がありますので、至急ご連絡ください。
- (5) 組織委員会からの出品可否の通知は 2020 年 7 月初頃を予定。
- (6) 日本からの出品資格は、全日本切手展、JAPEX、スタンペックスジャパンのいずれかにおいて金銀賞（75 ポイント）以上を得た作品です。

4. 出品料について

出品料は以下の通りです。

- (1) ユース、文献、ワン・フレームを除く部門：1 フレームにつき 50 米ドル
- (2) ユースは無料
- (3) 文献は 1 件につき 50 米ドル
- (4) ワン・フレーム作品は 1 作品 75 米ドル

5. 作品搬入の方法について

- (1) フレーム出品：コミッショナーが全作品を会期前日までに自ら持ち込むことが要求されています。よって出品者には原則として、所定のコミッショナー運搬手数料 [1 フレーム当たり 4,000 円] を申し受けます。また、航空会社から超過料金等を請求された場合には、別途、応分のご負担をお願いする可能性があります。※当該超過料金を抑制し、出品者のご負担を軽減する意味からも、コミッショナーに帯同いただける方は、事前にお申し出頂けますと幸いです。

- (2) 文献作品：2020 年 8 月 15 日必着で、各 2 点ずつお送りください。（注：作品受理の連絡前に、絶対に送付しないでください）

6. TAIPEI2020 の出品クラスについて

(1) 競争出品の区分

Class 1 : FIAP チャンピオンシップ・クラス
(2010 - 2019 年の 10 年間に FIP/FIAP 展において 3 回以上 LG 受賞の作品)

Class 2 : 伝統郵趣

- (A) Qing Dynasty (清朝) および中国郵政
- (B) アジア・豪州
- (C) その他の地域

Class 3 : 郵便史

- (A) Qing Dynasty (清朝) および中国郵政
- (B) アジア・豪州
- (C) その他の地域

Class 4 : ステーショナリー

Class 5 : 航空郵趣

Class 6 : 宇宙郵趣

Class 7 : テーマティク

- (A) 自然
- (B) 文化
- (C) 科学技術

Class 8 : マキシマフィリー

Class 9 : 印紙

Class 10 : 現代郵趣 (1980 年以降)

- (A) 伝統、(B) 郵便史、(C) ステーショナリーの各分野

*現代郵趣クラスに作品が受理されることは、他のクラスの受理を妨げない。

Class 11 : 実験クラス=絵葉書

Class 12 : ユース

(A) 2020 年 1 月 1 日時点で 15 歳まで

(B) 同 16 歳から 18 歳

(C) 同 19 歳から 21 歳

*年齢区分の他に、伝統・郵便史・航空郵趣・テーマ等、どの部門に出品するかを申込書に明示すること。

Class 13 : 郵趣文献

通常の出品申込書に加え、文献用の情報フォームを記入すること。

(A) 郵趣書籍・パンフレット・研究書 (2015 年 1 月 1 日以降刊行のもの)

(B) 雑誌・定期刊行物 (全冊が 2018 年 1 月 1 日以降刊行のもの)

(C) 切手カタログ (2018 年 1 月 1 日以降刊行のもの)

*出品申込書にサブクラスを明示すること。

Class 14 ワン・フレーム (1 フレーム出品)

このクラスの作品はマルチフレームからの抜粋された 1 フレームではなく、ワン・フレーム作品にふさわしい狭い範囲の主題を取り扱っていなければなりません。点数 (60-100 点) が記載された賞状のみ授与され、メダルはありません。出品申込書には、以下の A-H のどのサブクラスに該当するか、ご記入ください。

(A) 伝統郵趣

(B) 郵便史

(C) ポスタル・ステーショナリー

(D) 航空郵趣

(E) 宇宙郵趣

(F) テーマティク

(G) マキシマフィリー

(H) 印紙

2) リーフの大きさ

以下が FIP による推奨サイズです (標準サイズの場合、1 フレームの構成は 4x4=16 頁となります [A4 判で問題ありません])

①標準サイズ (各頁 21 x 29.7 cm 又は 23 x 29 cm で、一段に 4 頁配置)

②ダブル・サイズ (各頁 42 x 29 cm 又は 46 x 29 cm で、一段に 2 頁配置)

③中間サイズ (各頁 31 x 29 cm で、一段に 3 頁配置)

(3) フレーム数

以下の通りです。

Class 1 8 フレーム

Class 2 - 11 過去の受賞歴により

(a) FIP / FIAP 展で大金銀賞以上 : 8 フレーム

(b) FIP / FIAP 展で金銀賞以下 : 5 フレーム

Class 12A 1-3 フレーム

Class 12B 2-4 フレーム

Class 12C 3-5 フレーム

Class 13 郵趣文献は組織委員会宛に「2 部」送付

Class 14 ワン・フレームクラスは 1 フレーム

(4) 作品の取扱い等

・出品者は組織委員会により割り当てられたフレーム数を変更できません。

・リーフは保護ラップに入れ、表面の左下にリーフ番号を記入のうえ、組織委員会より支給される専用封筒に収納すること。

・組織委員会は会期中、善管注意義務を果たすが、事故については責任を負わない。

今後予定されている催事は、季節・時期・地域を問わず急遽中止・変更される可能性があります。ご来場にあたっては、各主催者が提供する一次情報 (ホームページや代表電話) を確認の上、お越しください。

公式ガイドブック（A5 判カラー 90 ページ）は、2020 年 2 月 25 日より PDF 配信を開始しました。

STAMP JAPANE 2020X



日本郵便 NIPPON 日本万国博覧会

STAMPEX JAPAN 2020

6TH- 10TH MARCH
NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION

公式ガイドブック



郵政博物館
POSTAL MUSEUM JAPAN

郵趣振興協会のロゴ



郵趣振興協会
Society for
Promoting Philately

ご来場者（先着 1000 名）には、公式ガイドブック（A5 判カラー 90 ページ）が進呈されます。

寄稿記事・郵趣論文

私の発見・私の報告 速達郵便に関する2つの初日

私の発見・私の報告 5厘小判葉書の記番印の使用局

連載 クラシック切手 (7) ニューサウスウェールズ・シドニービュース 吉田 敬

連載 クラシック切手 (8) スペイン・イザベラⅡ世・6クワルタ黒 吉田 敬

南方占領地のフィラテリー (12) 昭南管理下のリオ群島の郵便 守川 環

ブラジル 1861 年 430 レイス切手 最大マルチプル貼使用例の報告 正田 幸弘

小判切手に見られる外信印について (5) 20ミリ欧文日付印 (抹消使用) 小寺 雅弘

戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (3) KOBE 局～ KUCHINOTSU 局 杉山 幸比古

戦後の欧文櫛型印 (3) C 欄 NIPPON グループ (下) 神宝 浩

的一滴 (コラム) 違反郵便物 安藤 源成

日本の UPU 加盟日と公的資料について 山本 勉

富士鹿切手の大型マルチプルから分析する 1920 年代以降の凸版平台製造技術の推移 吉田 敬

日華連絡線 (上海丸・長崎丸) 船内局引き受けの内地宛速達郵便 横山 裕三

南方占領地マライ ペナンローマ字暫定加刷切手の加刷原版の研究 吉田 敬

戦後の市内特別郵便 行徳 国宏

和欧文機械印トピックス 水谷 行秀

第 54 回 欧文記載変化

第 55 回 中央局一斉昇格

第 56 回 改元 (昭和→平成)

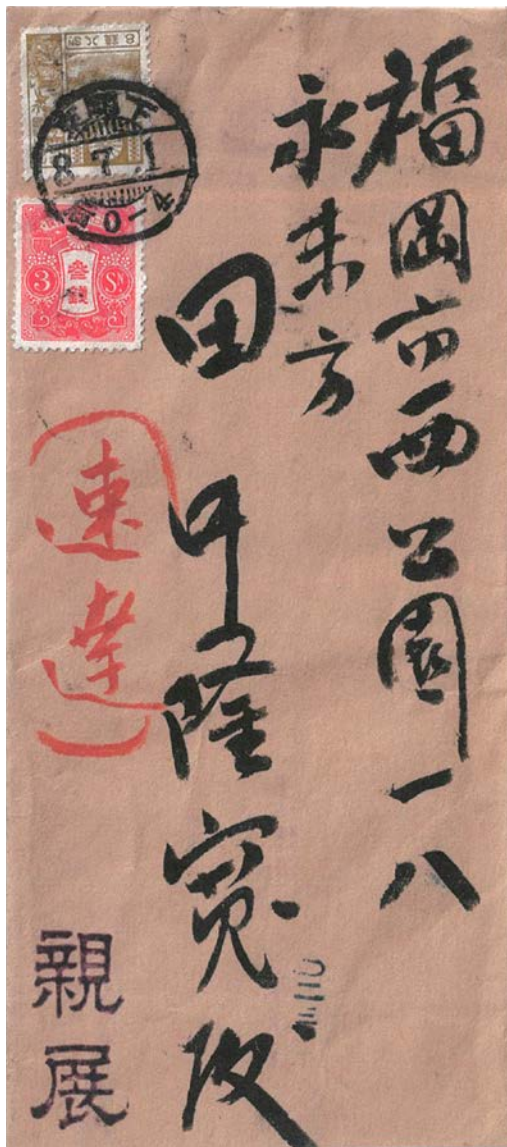
第 57 回 改元時の混乱

私の発見・私の報告

速達郵便に関する2つの初日

岡藤 政人

図を御覧下さい。山口県の下関市（長府町）から福岡市に宛てられた速達郵便です。



それ以外のデータは、次の通りです。

貼付切手

富士鹿 改色新版 8 銭、田沢 新大正毛紙 3 銭

消印

下関東 昭和 8 年 7 月 1 日 后 0-4

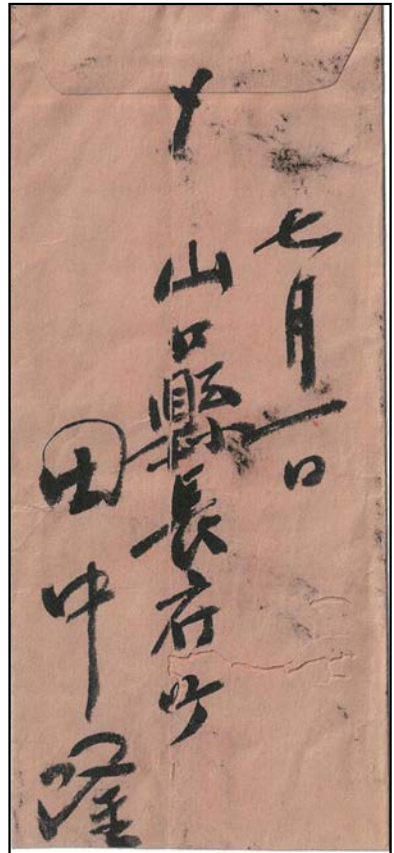
到着印は見られません。封筒の下部がかなりカットされているので、カットされた部分に到着印があったのかもしれませんが。

「0二三」のナンバーリングが押されていますが、速達の管理番号です。

昭和 8 年 7 月 1 日に、速達料金の改正が実施されました。その結果、この日からそれまでの 6 銭から 8 銭へと 2 銭値上げされました。図は、その料金改正初日の使用例です。

この日、速達郵便に関してもう一つの変化がありました。下関と北九州・福岡間でも速達郵便の取り扱いが開始されたのです。ですから、図はその初日便でもあります。以上の 2 点から、この記事の表題を「2 つの初日」としました。

参考文献『速達郵便史』（平成 6 年 本池悟 鳴美）



私の発見・私の報告

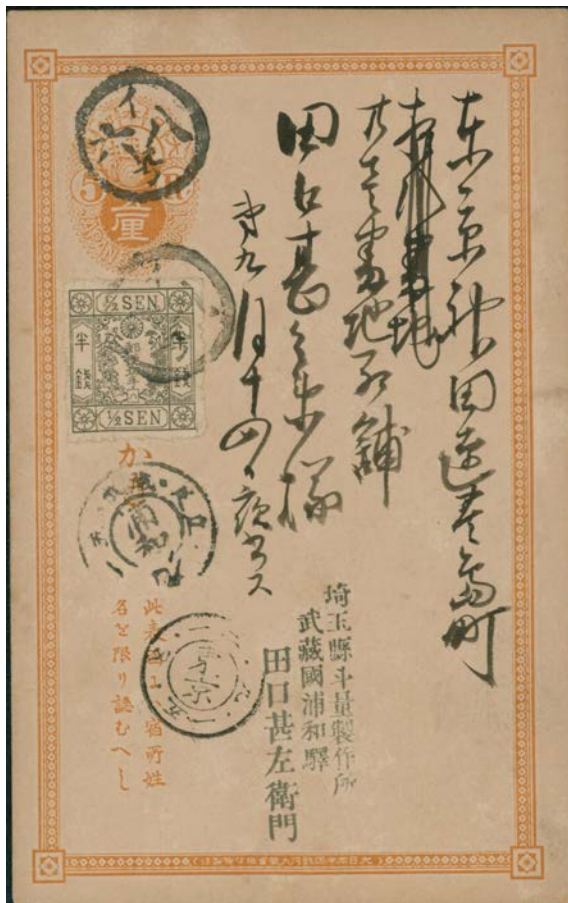
5 厘小判葉書の記番印の使用局

明治 9 年から 15 年にかけて発売された「5 厘小判葉書」に押される消印の内、記番印は使用局が限られ、珍重されている消印です。当誌では第 21 号以来、使用局一覧を取りまとめています。

今回はまず、鯛道治さんより「記号入番号消印カタログ (1991, サンフィラテリックセンター)」に、図版はないものの当時までに発表された 31 局が掲載されている旨、ご報告をいただきました。

丁度、ジャパNSTAMPオークションに同文献が出品されていたので、それを買い求め調べたところ、掲載の半数に当たる 15 局が、現在まとめている一覧にリストアップされていませんでしたので追加しました。今回一気に 16 局を追加しましたので、合計局数は 37 局となりました。

これとは別に、浦和局 (イ 68 号) の報告がありましたので、以下にご紹介します。



浦和 (イ 68 号)
(12).6.15
→東京

引き続き、5 厘小判葉書 の記番印の使用局のデータを募集中です。また一覧表に掲載されていて図版「なし」のマテリアルの画像も募集しております。お手元にお持ちの方は、編集部までご連絡ください。なお、編集部への連絡方法は、目次 (P.5) に記載しております。

記番印	旧国名	局名	郵便料金	図版	発見者・出典 *1
イ 68 号	武蔵	浦和	1 銭		吉田敬 NEW!
ハ 6 号	下総	結城		なし	日本切手名鑑
ル 7 号	三河	岡崎		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
カ 14 号	伊勢	津		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
タ 1 号	山城	西京		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
タ 7 号	山城	榎原	1.5 銭		吉田敬 (本誌 23 号)
タ 10 号	山城	紫竹大門	1 銭		吉田敬 (本誌 23 号)
タ 15 号	山城	富野		なし	日本切手名鑑
タ 18 号	山城	郷ノ口		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
レ 1 号	大和	奈良	1 銭, 5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)、郵趣反古集 P.298 にて報告
ソ 3 号	河内	八尾		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
子 1 2 号	摂津	尼崎	5 厘		安藤源成 (本誌 22 号)
子 3 8 号	摂津	梶原	1 銭		城野隆三 (本誌 24 号)
ラ 7 号	美濃	大井	5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)
ラ 9 号	美濃	岩村		なし	日本切手名鑑
キ 3 号	越前	武生	1 銭		山崎文雄 (本誌 23 号)
ヒ 1 号	丹波	亀岡		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
ヒ 3 号	丹波	篠山	1 銭	なし	日本切手名鑑
ヒ 14 号	丹波	上佐々木		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
モ 1 号	丹後	宮津		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
モ 3 号	丹後	舞鶴		なし	記号入番号消印カタログ NEW!
イハ 1 号	出雲	松江	5 厘		吉田敬 (本誌 21 号)
イヘ 1 号	播磨	姫路	1 銭		吉田敬 (本誌 21 号)
イヘ 2 号	播磨	明石	5 厘	なし	郵趣反古集 P.298 にて報告
イト 1 号	美作	津山	5 厘		安藤源成 (本誌 25 号)
イチ 1 号	備前	岡山	1 銭		安藤源成 (本誌 22 号)
イリ 6 号	備中	笠岡	1 銭		安藤源成 (本誌 24 号)
イリ 7 号	備中	玉島		なし	日本切手名鑑
イル 1 号	安芸			なし	記号入番号消印カタログ NEW!
イカ 1 号	紀伊	和歌山	1 銭		ジャパンスタンプオークション 第107回 #777 (本誌 23 号)
イカ 8 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ NEW!
イカ 9 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ NEW!
イカ 21 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ NEW!
イカ 24 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ NEW!
イヨ 2 号	紀伊			なし	記号入番号消印カタログ NEW!
イソ 17 号	伊予	松山		なし	日本切手名鑑
イノ 1 号	肥後	熊本	1 銭		日本切手名鑑

*1 発見者名不明の場合は、出典のみ明記

連載 クラシック切手（7）

ニューサウスウェールズ・シドニービュース

吉田 敬

1850.1.1 一番切手シリーズ（3額面）発行

英国で切手の発行が始まって十年も経つと、英国人が渡航した先の植民地から本国への通信手段として近代郵便制度がない不便を解消する為に、徐々に植民地で近代郵便制度の導入ならびに切手の発行が開始されます。

オーストラリアの南東部に位置するニューサウスウェールズは、シドニーを擁する大きな植民地で、1849年に郵便法（1850.1.1 施行）が制定され、郵便料金が制定され、前納手段としての切手の発行が決定されます。

郵便物の料金は原則 2d（ペニー）でしたが、シドニー市内便や新聞には半額の 1d が適用された為、1d 切手と 2d 切手が発行される事になります。またシップレター向けに 3d 切手も準備されました。ただ、今回の記事の製造面解説は 1d のみとします。

切手は手彫切手として準備される事になり、3額面がそれぞれ別々の彫刻家に発注されました。1d 切手は、ロバート・クレイトンという彫刻家に発注され、横5枚5列の25枚を彫刻した銅版が納品されてきました。手彫切手ですので、当然ながら、ポジションにより違いがあり、区別はとても容易です。3枚ほど並べてみますので、大いなる違いをお楽しみください。これを見ると、日本の手彫切手における複製技術は、（エッチングではあったものの、）なかなか高かったのだなとわかります。



2d 青



3d 緑



なお、全てのポジションで意匠中央部の塔の周りに何も描かれておらず、真っ白な状態となっています（右図）が、これが最初の版である Plate 1 の特徴です。

1850年7月以降は Plate 2 による印刷が始まり、その特徴は、空に雲がある事です（下図）。

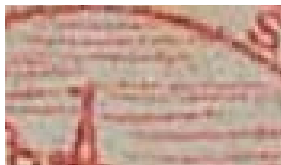




Plate 1



Ship letter 使用例

シドニー→ LONDON, 1850.3.15

3d はあくまで NSW 現地郵便局の受け取り手数料で、船による運搬、英国における配達の料金は含まれておらず、受取人に 8d が請求された。

連載 クラシック切手 (8)

スペイン・イザベラII世・6クワルタ黒

吉田 敬

1850.1.1 かつての大国、英仏の影響を受け3額面を発行

19世紀のスペインは、18世紀までの版図を徐々に減らし、普通の国に変遷していく時期にありました。規模が小さくなるにも関わらず、国家機関はそれに応じて敏捷にスリム化しませんでした。郵便税の前納制度の導入や前納方法手段としての郵便切手の発明を早くから知る地理的位置にしながら、導入に至るには、10年を要しました。

最終的には、隣国のフランスが、前年1849年1月1日に前納郵便と切手を導入したことが決断を迫らせたと推測され、その一年後の1850年1月1日に、6クワルタ、5レアル、6レアルの3額面が発行されました。

額面	レアル換算	発行目的
6クワルタ	¾レアル	書状基本料金
5レアル		書留書状

なお、スコットカタログでは一番切手シリーズに5額面が掲載され、これ以外に12クワルタ(書状・重量使用)、10レアル切手(重量便書留用)も掲載されていますが、これら2額面は同年3月に重量使用に追加発行されたものです。もっとも重量便は基本料金よりも使用頻度が少なく、特に重量便書留用の10レアル切手の使用例は希少です。

さて、この一番切手シリーズの中で、6クワルタ黒はなかなか人気の切手です。ペニーブラックと似たところがあり、書状基本料金であり、刷色が黒であり、また短期間しか発行されなかった(一年間)点がまず同じです。それに加えてプレーティングができることが、この切手の人気を高めており、国際オークションにも時々、プレーティングされた6クワルタ黒を見かけます。

この切手はマドリッドのスペイン政府印刷工場で石版印刷により製造されましたが、石版の実用版は6版あり、Type 1の原版によるセットが2つ、Type 2の原版によるセットが4つ存在し区別できることがわかっています(右表)。

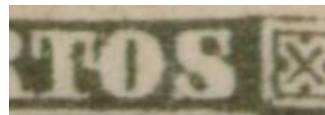
Type 1の原版は24面構成、Type 2の原版は40面構成ですが、シート構成が255面(横15×縦17)である為、その転写にあたっては、24面構成の原版(あるいは40面構成の原版)全部を転写するだけでなく、その一部のみを転写するという製造過程を通じて、実用版が作られました。

このような研究がされており、専門収集では、6つの実用版全てについて、リコンストラクションを作ることが流行っていますが、カタログ価格が\$16と安価(eBayでは500円程度で購入できる)であり、リコンストラクションについては、消印の色や種類について揃えるなどの努力が、競争展示における高評価には求められます。

#	原版	Composition
1	Type 1	A
2		B
3	Type 2	A
4		B
5		C
6		D

リコンストラクションまで行かないまでも、Type 1とType 2は簡単に分類できますので、是非覚えてください。

着目点は、上部の通貨表示『CUARTOS』の『T』と『O』で、これがくっついていなければType 1(右図上)、くっついていればType 2(右図下)です。





未使用 Type 2



単貼り書状使用例
面白い形の抹消印は
Octopus cancellation
と呼ばれ、テーマティ
クでも人気

南方占領地のフィラテリー (12)

昭南管理下のリオ群島の郵便

守川 環

戦前、オランダの統治下にあったリオ群島はおよそ 3200 の島々からなり、最も大きなビンタン島はシンガポールの約 2 倍の大きさがあり、付近にはボーキサイトの資源があることから戦前よりその開発が盛んでした。

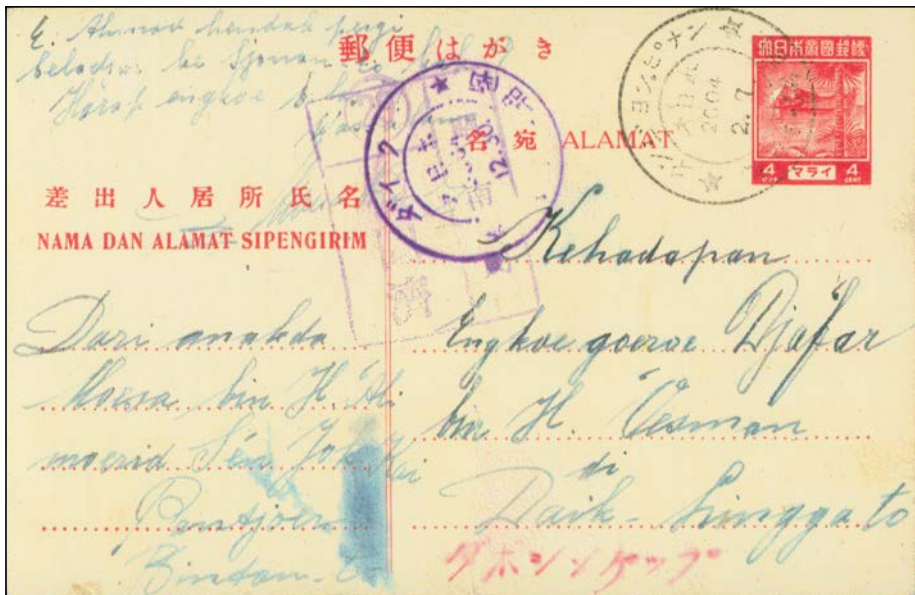
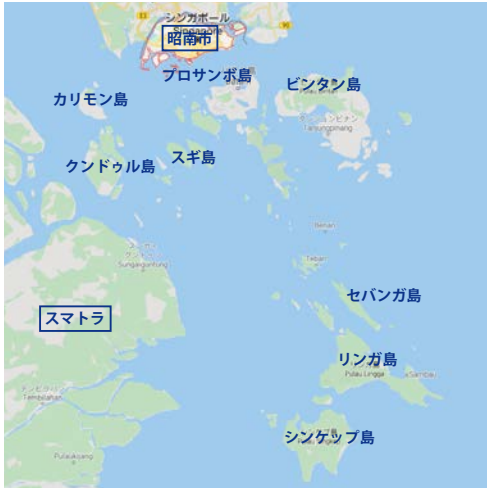


図1 タンジョンピナン/大日本/2604/2.7 (1944)、ダイク宛て。台：マライ正刷葉書タイプI

日本軍占領後は昭南特別市の管理下に置き、昭南特別市に編入しました。戦時月報によると下表のような開局日が記されていますが、モロ、スナヤン、プヌーパは未確認です。また、タンジョンバト（図3）は戦時月報には未記載ですが、確認されています。

郵便局名	ヨミ	開局日	所在地	図
TANJONG PINANG	タンジョンピナン	1942年6月17日	ピンタン島	図1
DABO SINGKEP	ダボシンケップ	1942年8月24日	シンケップ島	
TANDJONGBALEI KARIMON	タンジョンバレ カリモン	1942年11月20日	大カリモン島	図7
PULOE SAMBOE	プロサンボ	1942年12月10日	プロサンボ島	図3
MORO	モロ	1943年7月1日	スギ島	
DAIK	ダイク	1943年9月15日	リング島	図2
SENAYANG	スナヤン	1943年9月15日	セバング島	
PONOEBA	プヌーパ	1943年9月15日	シンケップ島	
TEREMPA	テレンパ	1944年1月1日	テレンパ島	図6
TANJONG BATOE	タンジョンバト	1943年6月12日	クンドゥル島	図4

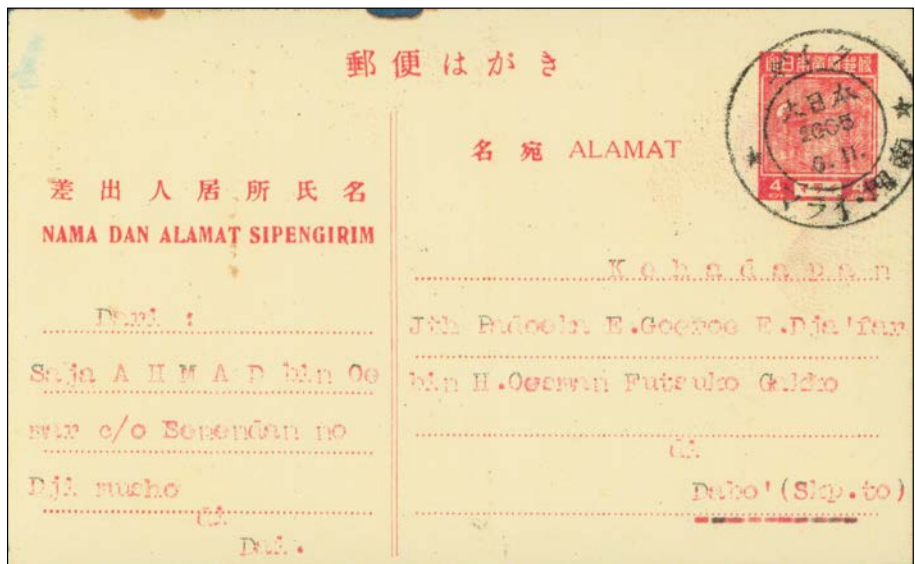


図2 ダイク / 大日本 / 2605 / 5.11 (1945)、ダボンシケップ宛て。台：マライ正刷葉書タイプ III



現在のピンタン島は、リゾート地として人気です

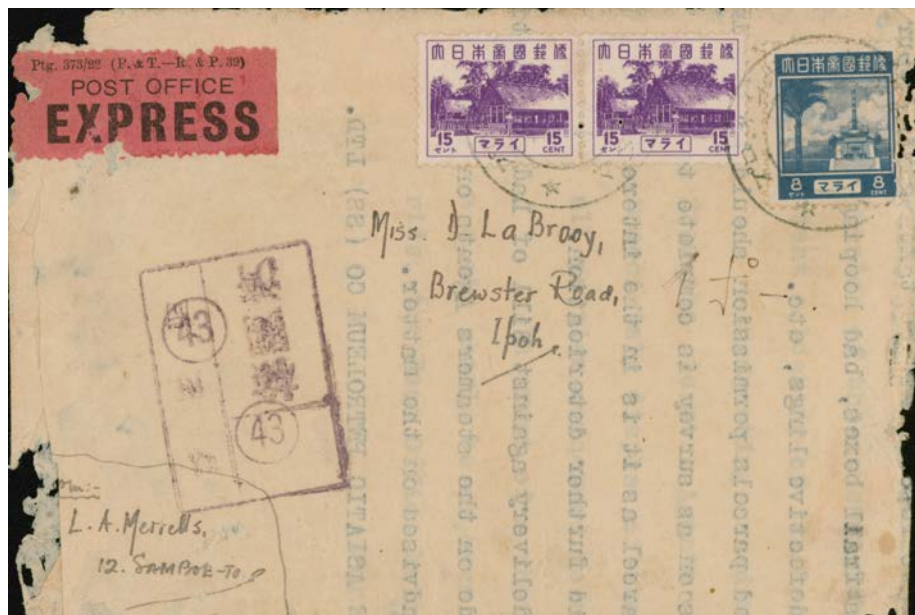


図3 プロサンボ/大日本/2605/5.11 (1945)、ペラー州イポー宛て。
38c = 8 + 30 = 速達書状。昭南島経由で配達された。

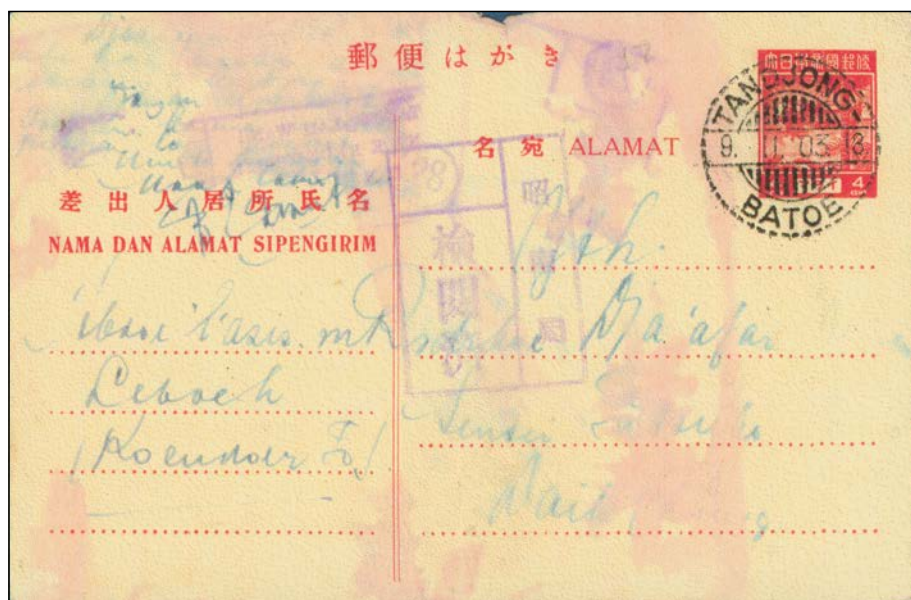


図4 TANJONG/9.11.03/BATOE (タンジョンバト 2603=1943)、ダイク宛て。
台：マライ正刷葉書タイプI

使用された切手類は全て昭南島より持ち込まれたもので蘭印時代のものは使われていませんが、後期になって蘭領時代の書留ラベルがタンジョンピナン（図5）にて使われていることが確認されています。

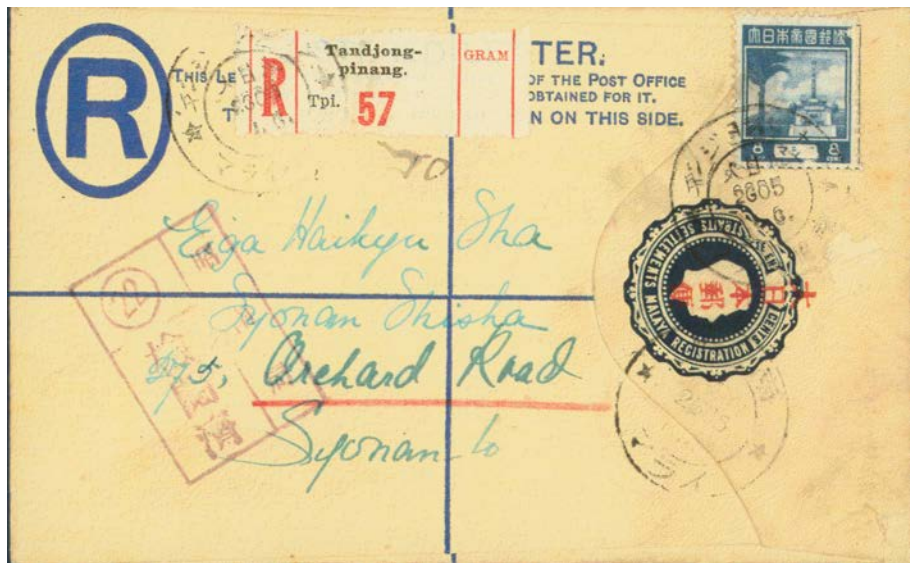


図5 タンジョンピナン/大日本/2605/5.11（1945）、昭南島 Orchard Road 宛て。
台：海峡植民地 15c 書留封筒に漢字加刷

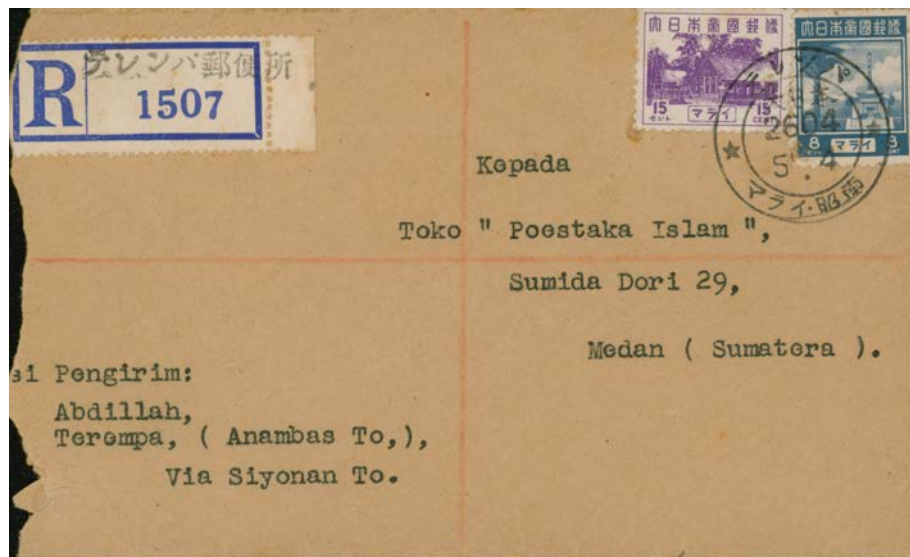


図6 テレンバ/大日本/2604/5.4（1944）/マライ・昭南、スマトラ MEDAN 宛て
23c = 8 + 15 = 書留書状。昭南島經由（5/16 中継）で配達（5/27 到着）された。

リオ群島で使用された切手類については、下記が確認されています。

単枠軍政印加刷

海峡植民地切手	2c, 3c, 8c, 15c, \$1
MPU 不足料切手	4c
海峡植民地はがき	2c

漢字加刷

海峡植民地切手	8c
ペラー州切手	5c
セランゴール州切手	1c, 3c, 6c/5c, 15c, \$1/10c
海峡植民地書留封筒	15c

ローマ字加刷

海峡植民地切手	2c
ネグリセンビラン州切手	3c, 8c
ペラー州切手	3c, 8c
MPU 不足料切手	4c, 8c
ネグリセンビラン州はがき	2c

正刷切手

全種類
正刷葉書

昭和切手

1銭、3銭、5銭、8銭、25銭

この中で、昭和切手4種については、全貼りの大東亜戦争一周年記念カバーも確認されています(図7)

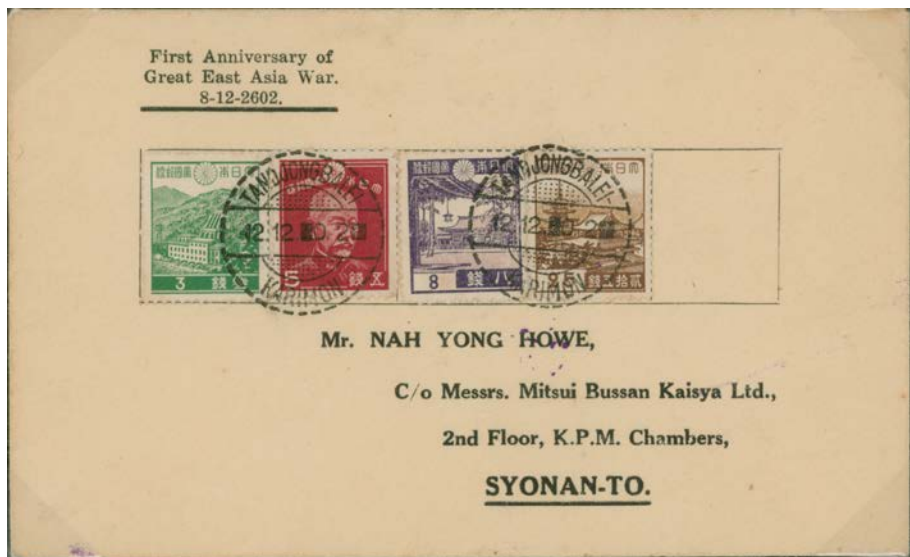


図7 TANJONGBALEI/ 12.12.■0.2■ (2602=1942) / KARIMON、昭南島三井物産宛て。
現地で発売された昭和切手4種貼り

ブラジル 1861 年 430 レイス切手 最大マルチプル貼使用例の報告

正田 幸弘

ブラジル初期切手は「牛の目」から始まって、1844 年シリーズ、1850 年シリーズと黒一色で刷られている。1854 年に新聞料金用に作られたといわれている 10 レイス切手と 30 レイス切手が青で刷られた。1860 年 10 月、フランスとの郵便交換条約によってブラジル切手が外国宛にも使用できるようになると、フランス宛基本料金の 280 レイスが赤で、他のヨーロッパ諸国宛基本料金の 430 レイスが黄で刷られて、翌年の 11 月か 12 月ころに発行され、外国宛に使用された。

1987 年 11 月チューリッヒで Habsburg,Feldman S.A. によって “The Amazon Collection” と名付けられたセールがあった。1980 年のロンドン展でグランプリ・ドヌールを獲得した Reynaldo Bruno Pracchia (1906-1997) のコレクションで、ガッターを含む「牛の目」30 レイス田型がオークション誌（文献 1）の表紙を飾っていた。その Lot60310 が本品【図 1】で、その後 1991 年 11 月の Phila Nippon'91 で同様にグランプリ・ドヌールを取った Angelo Lima (1934-) 収集の最後を飾っていた。文献 2 の写真図版でわかる通り、ダブル・リーフであるが説明書きがほとんどなかった。【図 2】

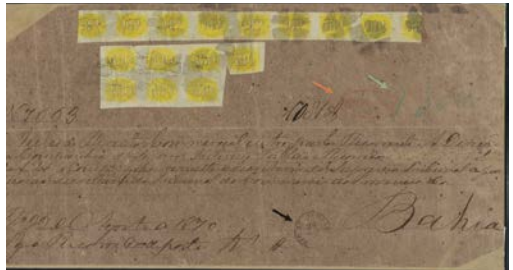
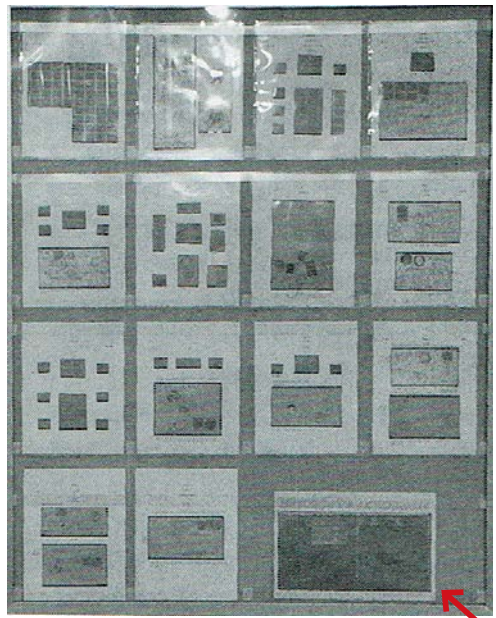


図 1（次ページに拡大図を掲載）



図 2 最終フレームを右に拡大
最終リーフに図 1 を展示



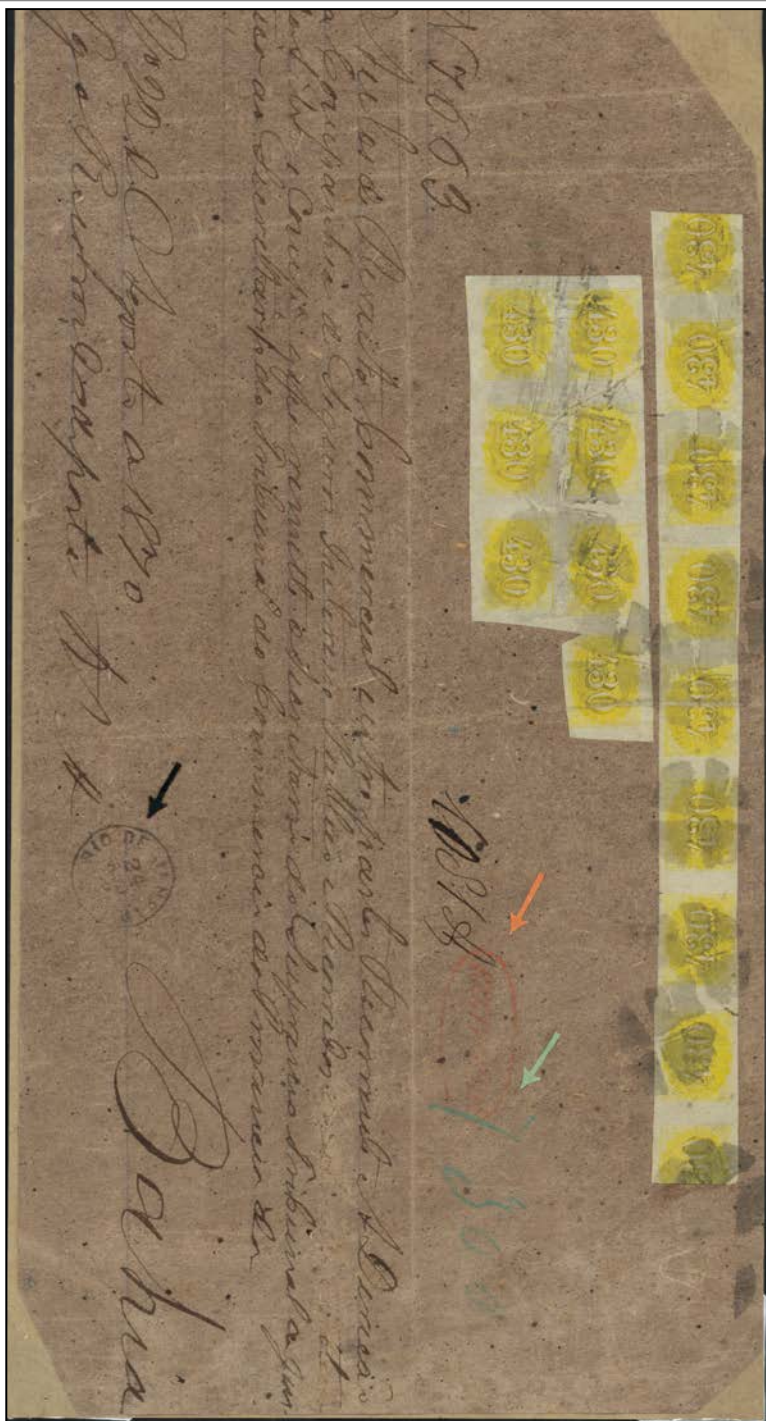


図 1

1993 年 11 月 David Feldman が行ったリマ・コレクションのセールではこのカバーは含まれていなかったが、その後 2003 年 5 月の All World セール等、何度かオークションに登場している。しかし、なかなか買い手がつかなかったようである。オークション誌では、430 レイス切手 2 枚と 60 レイス切手 1 枚の脱落と書いてあるが【図 3】、筆者の入手に際してつけてもらった鑑定書【図 4】では 430 レイス切手 1 枚の脱落となっている。



図 3 description3 行目に「a 60r and two 430r detached」と記載

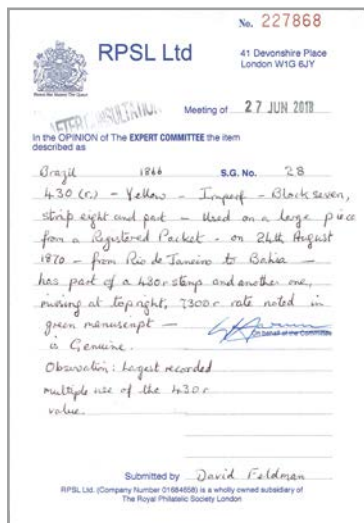


図 4
Brasil 1866 SG No.28 430
Yellow Imperf Block Seven,
strip eight and part used on a
large piece from a Registered
Packet on 24th August 1870
from Rio de Janeiro to Bahia
- has part of a 430 r stamp
and another one, ????? at top
right, 7300 r rate noted in
green manuscript - i Genuine.
Observation: largest
recorded multiple use of the
430 r value.

リオデジャネイロ在住の Klerman Wanderley Lopes 氏の協力を得て、筆者が到達したこのカバーの解析結果を記録したい。

1. リオデジャネイロ 1870 年 8 月 24 日の日付印付きのパイア宛書留便のフロントカバー
2. 430 レイス 7 枚ストリップと 9 枚ブロックが貼られており、6880 レイス分の料金支払いがわかる。
3. 430 レイス 9 枚ストリップの右端の切手は半分ちぎれており、またその右には無声印の痕跡が 2 か所あり、切手 1 枚 + α 分の脱落が考えられる。
4. 封筒上の 3 種類の手書き数字。左の No 7633 はリオ局の書留番号。中央の 1081 (赤矢印) は裁判所の記録番号。緑色の 7300 は郵便料金を示したと思われる。
5. 裁判所発信の郵便物はブラジル最初の切手発行を規定する 1842 年 11 月 29 日付けの勅令 254 号によって、通常の書状に比べ低額 (陸上便の 4 分の 1、船便の 2 分の 1) の料金が適用される。(文献 3)
6. 1865 年 4 月 12 日付けの勅令 3443 号 11 条、1866 年 6 月 27 付の勅令 3675 号 1 条によって導入された新郵便規則で 15 グラム以下 100 レイスの書状基本料金となった。それより重い書状は 30 グラム以下 200 レイス、60 グラム以下 400 レイス、のように 30 グラム毎に 200 レイスが加算された。
7. 1865 年 4 月 12 日付けの勅令 3443 号 15 条によると書留郵便料金は 200 レイスで、通常料金に追加する。書留郵便は記録され、配達後に送り主に受領証を交付する。
8. 郵便料金 7300 レイスからカバー上にある切手 6880 レイスを引くと 420 レイスとなる。430 レイス 1 枚の脱落と考えると、7310 レイスの支払いで 10 レイスの超過払いではあるが、不自然な多額ではない。7300 レイスから書留料金 200 レイスを引くと 7100 レイスで、2130 グラム以下の裁判所送達書類だったと推定できる。
9. オークション誌の解説記事では、2190 グラムと書いてあるが、書留料金は手書きの 7300 レイスに含まれていないと考えれば、2190 グラム以下の重量となる。ただ、同時に 430 レイス 2 枚、60 レイス 1 枚の脱落と書いてある。合計 920 レイス分の脱落との推定であるが、 $6880 + 920 = 7800$ となり、書留料金 500 レイスの計算であろうか？
10. 現物のフロントカバーを見る限り、切手 1 枚分の脱落は確かだが、3 枚分の脱落は確認できない。
11. 2018 年 6 月の英国ロイヤル・フィラテリック・ソサエティ鑑定委員会が郵便料金の検討をしたのか否かはわからないが、カバー現物の観察から切手 1 枚分の脱落と判断したのであろう。

以上のように私は考えており、2100~2130 グラムの大型重量郵便物で、通常の料金なら 1 万 4200 レイスだが、裁判所差し立てなので半額の 7100 レイスとなり、それに書留料金 200 レイスを加算した合計 7300 レイスの郵便料金。その支払いを 430 レイス切手 17 枚つまり 7310 レイス分支払った (10 レイス超過) が、その後切手 1 枚脱落したと想像している。

オークション誌の記載の通り、① 430 レイス切手最大マルチプルのカバーである。② これだけの高額カバーは他になく、少なくともブラジルクラシック時代の最高額使用例である。さらに③ 430 レイス切手の唯一の国内使用例である。

③ はロベス氏の指摘によるものであるが、280 レイスと 430 レイス切手は外国郵便料金用に作られた切手で、特に国内郵便に使用禁止等の規則はないが、国内郵便に貼付された例は知られていないそうである。

なお1987年のPracchiaコレクションでの最高額は「牛の目」30レイス、ガッターをまたぐ田型で20万フランの見積もりが22万フランのハンマー価で売れた。

カバーでの最高額は「牛の目」30レイス6枚ブロックのカバーで、5万フランの見積もりが4万4000フランのハンマー価。本品はカバーとしては4番目に高い1万5000フランとなっている。344ロット合計で106万1130フラン、15%の手数料込で約122万フラン（当時1スイス・フランが0.67ドルや95円）のセールだった。

（文献1）Habsburg, Feldman S.A. "BRAZIL The Amazon Collection" Zurich, Nov.1987

（文献2）正田幸弘「FIP チャンピオンクラス・グランプリ Lima コレクション紹介」『スタンプ・レーダー』396号日本国際切手展'91特集号II pp5-9

（文献3）正田幸弘「ブラジル 1844年シリーズ高額切手の使用例」Stampedia Philatelic Journal 2017, pp71-80

小判切手に見られる外信印について

第5回（最終回） 20ミリ欧文日付印（抹消使用）

小寺 雅弘

20ミリ欧文日付印は1882年から証示印として使用されていますが、ここでは抹消に使用された1888年以降を対象としています。

1887年以前の日付を持つ単片の抹消は注文消か証示印が切手上にかかったものと思われます。注文消は抹消使用と同等の難易度で良いと思います。

一方、証示印が切手上にかかったものは残存数が圧倒的に少ないでしょうから、難易度はかなり高くなります。しかしながら本来の使われ方をしたものではないのでここでは対象外としました。

西野本記載事項から新たに確認している事項については以下の通りです。併せて西野本P109-124もご参照ください。

尚、本消印には西野本に記載ない単片の京都が1点のみ知られていますが、残存数が少なすぎますからここでは対象外としました。真偽は私では判断できませんが、偽印と断定されていない以上、20ミリ欧文印最高の難易度で良いと思います。

京都があるなら大阪も存在した可能性があります。いつか発見の報に接することができることを期待しています。

横浜ゴム茶印 使用確認日の追加

1889年3月1日、2日、5月25日、31日、6月5日の使用が確認されました。なお、5月27日、28日が西野本に記載済みです。



長崎（下部 P.&T.O.）の最新データを更新

1891.9.1（従前は 1891.8.31）



神戸初期データを更新

大型欧文印の最終日は本データと同一の 1882 年 8 月 8 日（従前は 8 月 11 日）で、この日が神戸 20ミリの初日と推定されますが、印の不鮮明さから鑑みるともう少し遡る可能性もあると思われます。



KOBE 8 AUG 1882 → YOKOHAMA 11 AUG 1882 → England

神戸（下部 JAPAN）抹消のカバーを確認

1888.12.27、切手貼付、国外宛は私が知る限り現存1点です。



KOBE 27 DEC 1888 → YOKOHAMA 28 DEC 1888 → Rotterdam / Holland (The Netherlands)

	下部表示			刷色		補足事項
	JAPAN	POST	P.&T.O.	黒	茶	
横浜	①	②	-	○	○	POST が押された額面は意外と少ない
神戸	③	①	①	○		下部 JAPAN のカバーは希少
長崎	①	-	①	○	○	
東京	①	-	-		○	
函館	②	-	②	○	○	E 抜け「HAKODAT」④

20ミリ欧文日付印抹消使用（硬質印）国内 丸数字は難易度①～⑤

	表示			刷色		補足事項
	I.J.P.A. 上	I.J.P.A. 下	他	黒	他	
上海	①	①	-	○		I.J.P.A. 下が若干難易度が高い
元山	-	-	④	○		
芝罘	-	-	⑤	○	○	他印色は赤印⑤

20ミリ欧文日付印抹消使用（硬質印）在外局 丸数字は難易度①～⑤

	下部表示	印色			書体		補足事項
		黒	茶	紫	ローマ字体	サンセリフ体	
横浜	JAPAN	①	②	①	①	①	サンセリフ体の方が若干難易度が高い
上海	I.J.P.A. 上	-	-	③	-	-	

20ミリ欧文日付印抹消使用（ゴム印）丸数字は難易度①～⑤

カバーについては紫印を除く上海、函館、神戸下部 JAPAN を除く国内局はどのタイプも旧小判 10 銭、U 小判 5 銭、新小判 10 銭の 1 枚貼りの入手はさほど難しくない。

又、U 小判 1 銭と 2 銭の混貼、U 小判 5 銭及び新小判 10 銭の複数貼りも比較的見かける。

しかしその他の組み合わせや 10 銭以外の旧小判、15 銭以上の新小判の貼付はたとえ横浜であってまかなり少ないと感じる。

	表示等	額面区分						補足事項
		旧小判			U 小判		新小判	
		I	II	III	1・2	5	全	
横浜	JAPAN	②	③	④	②	①	①	
	POST	②	③	④	②	①	③	思いの外難しい（下欄※参照）
	ゴム黒	②	③	⑤	①	①	①	U・新茶印は難易度 1 ラック UP
神戸	JAPAN	③	④	⑤	③	③	④	
	POST	②	③	⑤	①	①	①	
	P.&T.O.	×	×	×	①	①	①	
長崎	JAPAN	②	②	④	①	①	①	ヤフオクにて下部 JAPAN のゴム印が売りに出されたが、ニセ印であった
	P.&T.O.	×	×	×	①	①	①	
東京	JAPAN	②	②	④	①	①	①	
函館	JAPAN	②	④	④	②	②	⑤	
	P.&T.O.	×	×	×	②	②	②	
上海	I.J.P.A. 上	②	③	④	②	①	②	ゴム紫印は難易度 2 ラック UP
	I.J.P.A. 下	②	③	④	②	①	②	
元山	POST	③	④	⑤	④	③	⑤	
芝罘		×	×	×	—	⑤	⑤	U 5、新 10 銭以外は未見

20ミリ欧文日付印抹消使用単片 旧・U・新小判の難易度①～⑤

旧小判額面区分

- I 4 銭、10 銭
- II 3 銭、8 銭、15 銭、20 銭、50 銭
- III 上記以外

「×」は旧小判使用禁止後の使用で、若干数が存在する局もあるが対象外とした。

※横浜／POST は一見駄物と思われるかも知れないが、使用期間は 1888.11.14-1889.2.27 の僅か 3 ヶ月半しかない。新小判に押されたものは 10 銭以外驚くほど少ない。

補記 中型年号4字印

前回の記事に追加するデータ更新がありましたので以下に記します。

函館局 最初期使用データ更新

秋元本で1891.9.21だった最初期データを 1891.9.16に更新いたしました。



函館局 最後期使用データ更新

秋元本で1894.8.18だった最後期データを1894.8.25に更新いたしました。



※局名が薄いですが函館で間違いないと思います。

連載を終えるにあたって

欧文日付印の難易度が解りづらいので目安となる記事を書いて欲しい、とのお声がけをジャパンスタンプのオークション会場で吉田敬さんから頂きました。

ブログで好き勝手に書き殴るものとは違いますので雑誌の品位を損ねても、とお断りをしたかったのですが、「断ることは許さない」オーラに屈し、試しに年号2字国内局でざっくりと書いて方向性が良いか読んで頂きました。

幸いにもOKがいただけましたので連載の形でスタートさせて頂くことにしました。

折角記事を書かせて頂くなら単に局名、材質、表示形式、印色による難易度だけではなく、発売から35年が経過している「外信印ハンドブック」、通称西野本に記載のないものやデータの更新なども自身の所有品を基に併せて記載させていただくことにしました。しかし「補助資料として」などと大層なタイトルを付けた割には追加できる事は少なく、お恥ずかしい限りです。それだけ西野本の完成度が高かった、という証拠かと思いますので、どうぞご容赦願います。

連載は古い方に遡る形で年号2字印から20ミリ印までを対象としましたが、年号2字印の在外局と希少局は記事にできていません。理由は記事に出来るほど自分の収集が進んでいない為です。加えて年号2字の在外局は菊切手が主となりますから、小判切手が主戦場の私には無理なことはご理解頂けると思います。

抹消印につきましては西野本に補足できることも若干あるのですが、抹消印のタイプ別難易度をつけることはなかなか困難と感じています。

何はともあれ、長らくおつきあい頂きまして誠にありがとうございました。機会を下さった吉田さんはじめ、レイアウトを整えるなどご協力頂きましたスタッフの方々にも深謝申し上げます。

まだまだ不十分な事が多いと思いますので、これを基にデータ更新や書式、印色など新しい情報がありましたら公開頂けますと幸いです。

小寺 雅弘さんによる『小判切手に見られる外信印について』連載のまとめ

回数	内容	掲載号
1	中型年号2字印の国内主要局	22
2	二重丸明治印の国内局	23
3	二重丸明治印の在外局	24
4	中型年号4字印	25
5	20ミリ欧文日付印（抹消使用）	26

戦前の欧文櫛型 JAPAN 印 (3)

KOBE 局～ KUCHINOTSU 局

杉山 幸比古

7. KOBE 局

神戸は横浜と並ぶ重要な外国郵便交換局であり、多くの外国郵便物を扱ってきた。そのため、内外の政治情勢等の影響を多く受け、複雑な経過を辿っている。なお、神戸に関連する局として SANNOMIYA、KOBE ONOYE、KOBE CT があるが、これらは非郵便・電信局の項で扱うこととし、郵便印であった SANNOMIYA KOBE については S の項で後述する。

1) KOBE ゴム印 (図1、2)

大局では普通、ゴム印と金属印の両方が揃っているが、不思議なことに神戸では金属印が報告されていない。最古例としては、ハンドブックに 1906.2.3 があるが、これを更新する 1906.1.18 の紫中継印を確認した。(※1) 最新例は最終日の 1934.4.19 である。ただし、その間のある時期、KOBE 印の担っていた役割のほとんどを後述する KOBE 2 印が代替していた時期が存在し、しかもその期間でも細々と KOBE 印も並行して使用されたという。



図1 KOBE 前期 1908年(明治41)12月12日

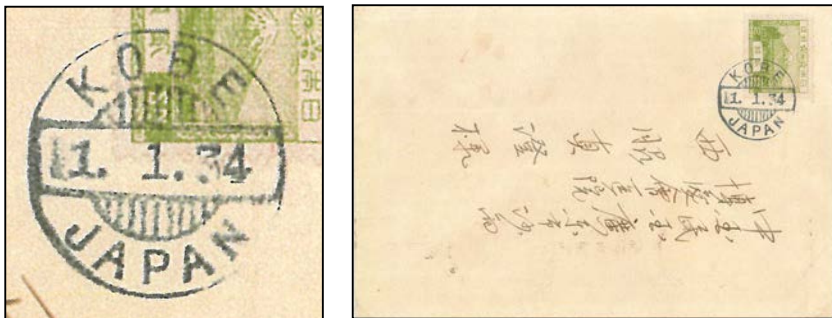


図2 KOBE 後期 1934年(昭和8)1月1日

2) KOSE 印

KOBE 印の初期のバラエティーとして「B」の活字の一部が欠けて「S」または「5」のように見える印が1910年（明治43）の短い期間、使用された。（図3、4）

この印については ISJP 機関誌 Japanese Philately にデータの集積があり（*2）、それによれば最古例が1910.1.18で最新例が1910.4.19である。約3ヶ月間の使用であるが、時折オークションに出現しており、また注意して探せば駄物の束から拾うことも可能であろう。



図3 KOSE 印 1910年（明治43）2月23日



図4 KOSE 印 中継印 1910年（明治43）4月4日

3) KOBE 2 印

この印については、これまで様々な報告がされ、その役割や経緯について論じられてきた。ここでは代表的な最近の2論文（※3、4）の内容を簡単にまとめて述べる。

KOBE 印は神戸市の中心部にあった神戸本局の印で、一方この KOBE 2 印は当時、三宮局と同じ局舎にあった分局の神戸局外国郵便課にあった印であるという。（※3）

石川氏によれば、第一次世界大戦やロシア革命によるシベリア経由途絶が原因で、ヨーロッパ宛郵便物をアメリカ経由で運ぶ必要がおき、このため神戸での郵便量増加となり、これに対応する形で神戸局外国郵便課（神戸港に近い三宮局内）を強化し、KOBE 2 印を新設し頻用したという。（※3）

一方丹下氏によれば、第一次世界大戦の開始により、ヨーロッパから日本を經由して海路運ばれるロシア宛の郵便物が増加、これに対応するため長崎局、神戸局の業務機能拡充が図られ、1917年（大正6）10月、三宮局が国直轄局に格上げされ、1918年（大正7）4月頃から KOBE 2 印が使われ始めたという。（※4）

丹下氏は SHIMONOSEKI 2 印に注目し、KOBE と KOBE 2 との関係は、下関における関係と同様なのではないかと推論されている。すなわち、神戸局は市内の中心に位置し、一方 KOBE 2 印のあった三宮局は港に近く、こういった地理的要因の存在も考えられるとのことである。

サンプルを図5に示す。KOBE 2 印は時期的なことから震災切手上にも多く見られることは皆様ご存知の通りである。

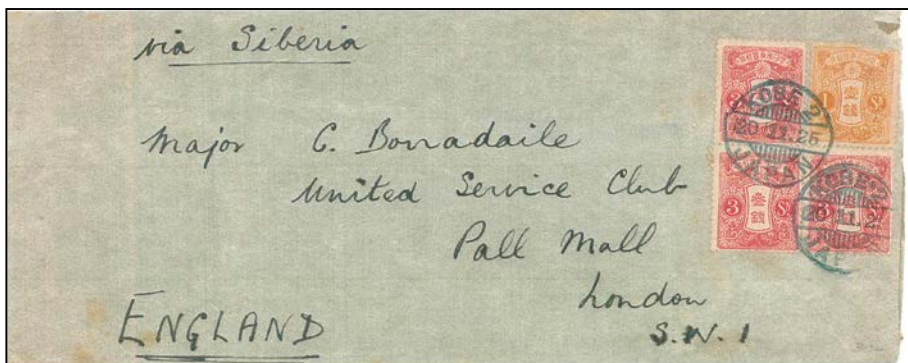


図5 KOBE2印 1925年（大正15）11月20日

これまでのハンドブック、鳴美本に加えて先の ISJP 機関誌のモノグラフを加えて検討すると、最古、最新共に ISJP モノグラフのデータとなり、最古 1918.4.5、最新 1927.1.14 となる。しかしながら、最近鶴重氏により最古例 1918.3.27 の報告がされている。(※5)

なお、前述したように KOBE 2 使用期間においては、多くの外国郵便物が三宮局の KOBE 2 で処理されたが、この間でも神戸本局に差し出された郵便物には「KOBE」が使用されたのだという。(図6) KOBE 2 印の運命だが、1925年(大正14)1月にソ連との国交が回復し、シベリアルートが復活すると神戸への負荷が解消され、KOBE 2 印は廃止され元の KOBE 印使用に戻ったという。

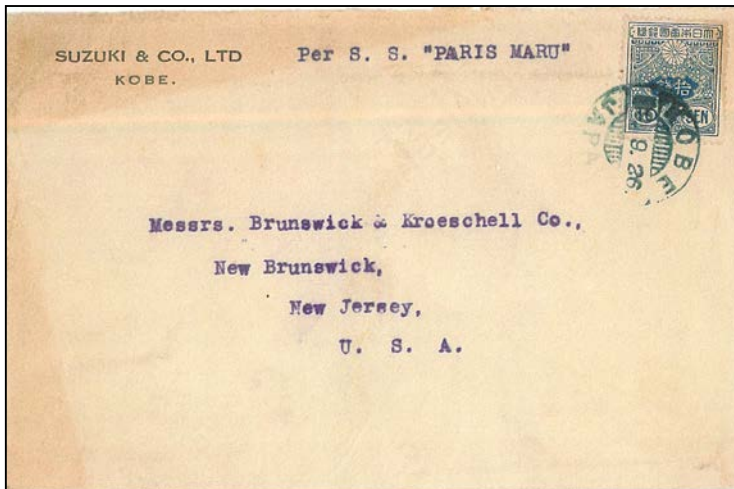


図6 KOBE 1926年(昭和2)9月19日。
9月頃から KOBE 印、すなわち神戸本局引き受けのエンタエアが見られるようになるという

4) KOBE 2 の「2」削り印

この際、大変興味深い事件が起きた。KOBE 2 が不要になった時点で、日本人特有の「もったいない精神」のためか、「2」を削って空欄とした「KOBE」印がしばらく用いられたのである。この印については「2」が完全に消えているものと、削り跡が残る印とがあると従来言われてきた。ハンドブックでも削り跡あり印と無し印に区別して記載されている。

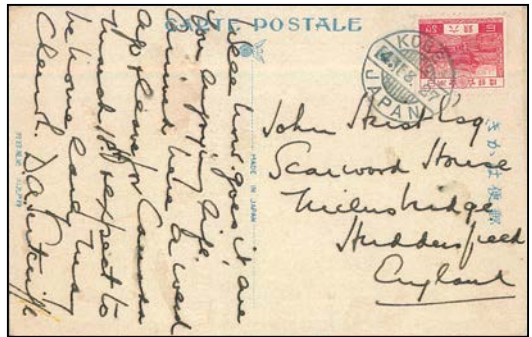
しかしながら筆者は以前からこれについては違和感を覚えてきた。すなわちこの印を幾つか揃えてみると、「跡あり」でも様々な程度のバリエーションがあることがわかった。このことから筆者は、削り跡の部分に圧がかかって捺印されると「跡あり」となり、KOBE の活字側に圧がかかると「跡無し」になるのではないかと、すなわち押し印の仕方による差であり2つの印が存在したわけではないのではないか、このように考えた。

最近、これに対する Experiment of Nature というべき実例を発見した。吉田敏氏の「富士鹿・風景」作品集にある富士鹿4銭多数貼りカバーである。(*6) このカバー上の6つの KOBE2 の「2」削り印を見てみると、削り跡の完全なものと少しあるもの、かなりあるものが見事に混在しており（追加図 A）、筆者の仮説を支持するカバーではないかと考える。この仮説が正しいとしてハンドブックのデータをまとめてみると、最古 1927.2.3, 最新 1928.11.15 となる。

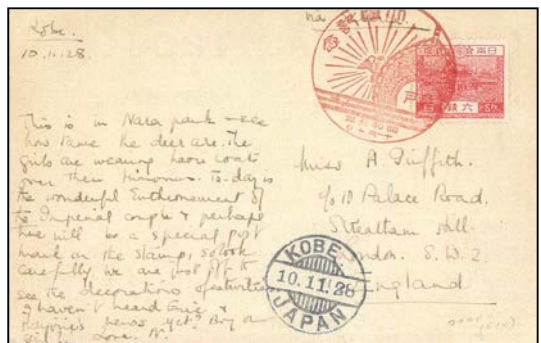


追加図 A KOBE 2 の削り跡の完全なものと少しあるものの混在するカバー
（カバー図をご提供いただいた吉田敏氏に深謝する。）

問題点としては「2」削りの KOBE 印と通常の KOBE 印が平行使用されたのかどうかという点と、この削り印はどこで使われたのか、という点であろうか。



(1927年3月4日)



8年11月10日)

5) KOBE 赤印 (ゴム)

波乱万々な KOBE 印の最後の話題として、ゴムの赤印（1915.6.22）をあげておく。田沢 3 銭縦ペアに押されたものがオークション誌にある。（＊7）

KOBE 局	最古	最新
ゴム印	1906.1.18	1934.4.19 ^{*,**}
KOSE 印	1910.1.18 ^{***}	1910.4.19 ^{***}
KOBE 2 印	1918.3.27	1927.1.14 ^{***}
KOBE 2 の「2」 削り	1927.1.24	1928.11.15 ^{**}

神戸局のまとめ

* 鳴美本 ** ハンドブック ***|SJP モノグラフ

8. KUCHINOTSU 局

極めて希少な印として有名なゴム印である。(図9)

口之津(図10)ときいて、地元の方以外でその正確な場所を指摘できる人はあまりいないであろう。

しかしながら、九州島原半島先端の町、口之津は港町として有史以来3度、全国的に名を知られたことがあるという。1度目は今から約440年前に、大名有馬氏の統治下で大航海時代のポルトガル船が入港し、キリシタンの西欧文化を受け入れる門戸となって栄えた。2度目が本稿の欧文印と関連する事項で、明治時代後半、三井の三池石炭の海外向け積み出し港として栄えた時代。3度目は大正昭和時代の「外航船の船員の町」として知られた時であるという。



図10 口之津局の丸一印

口之津は長崎県の島原半島南端に位置する港町であり、古くから天然の良港として機能してきた。明治22年に口之津港は特別輸出港に指定され、明治27年10月には従来からあった上海航路に加えて香港航路も開設された。当時、福岡の三池炭鉱などで採掘された石炭は、大型船が三池港に接岸できなかった為、小舟でまず口之津まで運ばれ、そこで大型船に積み替えられて外国へ輸出されたという。明治38年後半には外国船が月に10隻ほども入港し、外国との往来が極めて盛んであったという。(※8)

こういった状況を受けて、1908年(明治41年)12月16日、口之津郵便局は外国郵便交換事務を開始し、欧文印の使用がスタートしたと考えられる。しかし、この頃すでに三井物産は大牟田に三池築港を整備し始め、1909年(明治42年)4月には完成し、これまで口之津港に入港していた石炭関連の外国船は漸次、三池港に入港することとなった。その為、口之津はあっという間に往時の繁栄を失い、一寒村となったという。そして同時に欧文印も姿を消したのである。このように KUCHINOTSU 印は極めてドラマチックな運命をたどった欧文印である。



図9 KUCHINOTSU 1909年(明治42)5月14日 英国宛

現在までに4通のカバーのみが知られており、単片やカット上の印影などは未報告である。

- | | | | |
|-----------|-------|-----|--------------------|
| 1. 香港切手貼 | 日本宛葉書 | 到着印 | 1909.2.2 (最古データ) |
| 2. 菊切手4銭貼 | 英国宛葉書 | | 1909.5.14 (図9) |
| 3. 同上 | 米国宛葉書 | | 1909.6.24 |
| 4. 同上 | 米国宛葉書 | | 1909.10.27 (最新データ) |

KUCHINOTSU 局	最古	最新
ゴム印	1909.2.2	1909.10.27

口之津局のまとめ

<文献>

- (＊1) Japan Stamp オークション。フロアー第105回(2018年12月) ロット2544
- (＊2) Vorhis D.G. Four months in 1910 when KOBE became KOSE or KO5E. Japanese Philately 59(1):8; 2004
- (＊3) 石川勝己。KOBE2 印とその使用例について。フィラテリストマガジン No.7:105-113,2015
- (＊4) 丹下甲一。第一次世界大戦時の郵便検閲印 新確認2種と「KOBE2」印使用の背景等。郵趣研究 4(65号):12-18,2005
- (＊5) 鶴重仁志。私の発見・私の報告 フィラテリストマガジン No.4:87-89,2014
- (＊6) 吉田敬。「富士鹿・風景切手」作品集。スタンペディア社、pp 29、2017
- (＊7) MSA オークション スペシャル 1985年6月、ロット39
- (＊8) 大谷陽彦。KUCHINOTSU 郵便局楕形欧文印。フィラテリスト 13(8):178-179,1981

戦後の欧文櫛型印（3）

C欄NIPPONグループ（下）

神宝 浩

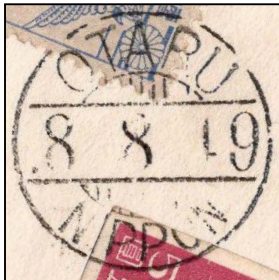
前回の連載（第25号）では、C欄NIPPONグループのうちTOKYOなどの4つの大局を取り上げましたので、今回はその他の局を北から順にみていくことにします。

以下、「ハンドブック」とあるのは、「日本郵便印ハンドブック」（日本郵趣協会、2007.9）のことです。

OTARU

OTARU局のC欄NIPPON印は金属印です。「ハンドブック」によれば、最古データは、1949年になってからの「1949. 2. 17」とC欄NIPPON印としてはかなり遅く、仮に今後これより古い使用例が見つかるとしても、他の局にくらべて遅い使用開始であったことは間違いないようです。図1は、1949年8月の使用例です。

使用開始が遅かったことと関係があるのか、OTARU/NIPPON印は、C欄NIPPON印としては例外的にかなり遅くまで使われていて、1951年の使用例が珍しくありません。図2は使用時期が1951年4月ですが、これより遅い例も存在します。1951年11月にC欄JAPANの欧文櫛型印が全国的に配備されますが、OTARU/NIPPON印がそのときまで使われ続けた可能性もあるように思います。



【図1】 OTARU
1949. 8. 8



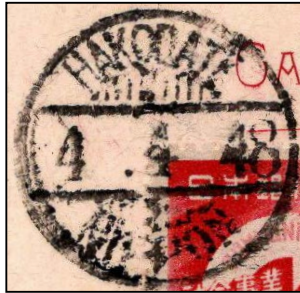
【図2】 OTARU
1951. 4. 13



HAKODATE

HAKODATE局のC欄NIPPON印も金属印です。「ハンドブック」では最古例として1946年の使用が記されており、比較的早期に使用開始となったようです。

図3は、50銭の連合葉書に記念切手と普通切手を貼り足した外信はがき（2円料金）に対して、HAKODATE/NIPPON印が使われたものです。



【図3】 HAKODATE
1948.4.4



KIOTO

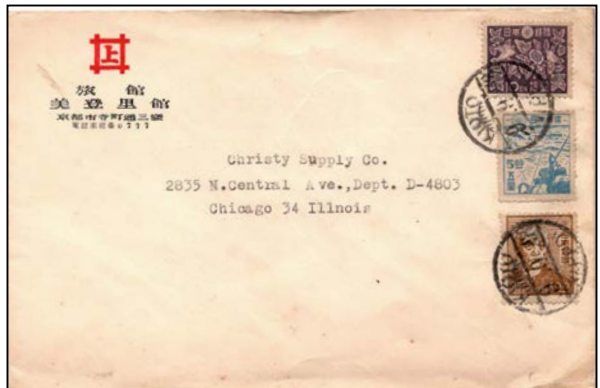
KIOTO局でもC欄NIPPONの金属印を使用しました。

図4は、KIOTO/NIPPON印が外信書状（料金16円）に押された例で、使用時期は1948年です。

このKIOTO局（「京都郵便局」）は、このあと1949年（昭和24年）2月1日に「中京郵便局」に改称されましたので、KIOTO/NIPPON印の使用は、局名改称前の1949年1月までであったものと思われます。



【図4】 KIOTO 1948.9.9



MOJI

MOJI（門司）局では、C欄NIPPONのゴム印を使用しました。

図5は、普通切手と記念切手を貼り合わせた外信書状（料金4円）に、MOJI／NIPPONの紫のゴム印が鮮明に押されたものです。よく見ると、同じMOJI局の薄い黒のゴム印が押された跡があり、最初に黒ゴム印で抹消したものの不鮮明であったので、あとから紫のゴム印を押し直したように見受けられます。

金属印の方は「ハンドブック」に1点だけデータが記されていますが、具体的な印影や使用状況がはっきりしていないようで、今後調査が必要かと思えます。

なお、2013年に都内のオークションに、金属印で局名が「MOZI」となっているエンタイプが登場したことがあります。「MOZI」の綴りは戦前のタイプ（内閣訓令式）で、あるいは戦前の印類を例外的に使ったものかもしれません。



【図5】 MOJI 1948.7.13



HAKATA

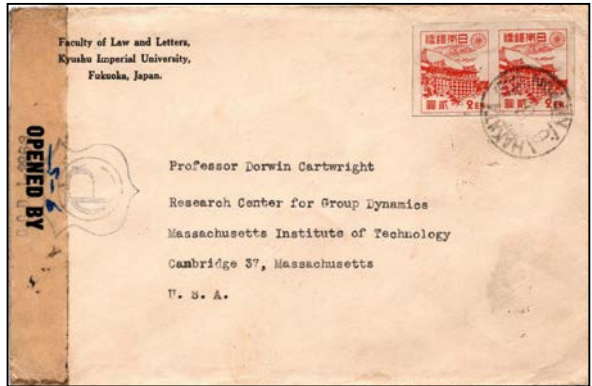
HAKATA局のC欄NIPPON印には金属印とゴム印の両方があります。

図6は金属印で、外国郵便再開の翌年の1947年5月と、比較的早期の使用例です。

一方、図7はゴム印の使用例で、文化人・野口の3枚貼に青黒のゴム印が押されたものです。HAKATA局の場合、一般に金属印が比較的早期に使用されているのに対し、ゴム印は1949年を過ぎても使われていて、筆者は1950年7月の使用を確認しています。



【図6】 HAKATA
1947.5.6



【図7】 HAKATA
1949.12.3



KUMAMOTO

KUMAMOTO / NIPPON 印は大変珍しく、金属印の使用例が1点だけ知られています。図8がそれで、清水寺2円ペアを貼ったハワイ宛書状に KUMAMOTO の金属印が押されたものです。現在のところ、このカバーが確認された唯一の KUMAMOTO / NIPPON 消のエンタィアで、「ハンドブック」にもデータが掲載されています。



【図8】 KUMAMOTO
1948.1.20



NAGASAKI

NAGASAKI 局では金属印の使用が確認されています。図9は、各種切手を貼り合わせた米国宛書状（料金16円）に NAGASAKI / NIPPON 印が押された例です。

一方ゴム印については、「ハンドブック」にはデータの記載がありますが、使用例が少ないようで、なかなか実物のエンタィアを見かけることがありません。ゴム印については、C 欄の「NIPPON」の末尾の「N」が鏡字になったエラー印が報告されています。



【図9】 NAGASAKI
1948.11.17



的一滴 (コラム)

違反郵便物

安藤 源成

この封筒は小学校高学年か中学生の女生徒が先生に現金を送った書状。

表面に朱書きで「現金同封」と記して普通郵便で差し立て、119条違反で左は差立局「福山」で「付箋」を付け、右は配達局で「一一九条違反」と朱で記して配達した。

119条違反は差出人に還付する事と成っているが差出人の住所が無い時は受取人から違反料金を徴収した。



1976 観音 (緑) 50 円

福山 和欧文機械印

「郵便番号は / ハッキリと」 55.3.27.12-18.

→ 福山・田尻町

付箋 福山 55.3.28.0-8

1976 観音 (緑) 50 円

福山 和欧文機械印

「郵便番号は / ハッキリと」 55.3.27.12-18.

→ 福山・田尻町

一一九条違反 広島・鞆 55.3.28.8-12.

日本の UPU 加盟日と公的資料について

山本 勉

フィラテリスト・マガジン誌No.25(2019年) pp.83-90で『1883年の小判切手の改色根拠』に関して」という記事を投稿しましたが、その記事に関連して気になる事実を「発見」しました。日本がUPUに加盟した日付が文献によって異なるのです。結論を先に申し上げると、日本のUPU加盟は1877年(明治10年)6月1日であり、それに伴う外国郵便料金表の実施が1877年(明治10年)6月20日からであるということです。その理由などについて述べることにいたします。

①「JPS 日本普通切手専門カタログ第3巻」の記述

まず、最近の文献を見てみましょう。2018年に発刊された表題のカタログは副題に「郵便史・郵便印編」とありますので、今回のテーマにふさわしいと考えました。しかし、(図1)を見ると、日本のUPU加盟が2月19日なのか6月20日なのか少しあいまいです。

次に(図2)を見ると、2月19日に加盟したと書かれています。しかし、その下の変遷表(図3)を見ると6月20日となっています。これでは読み手が迷ってしまいます。結局のところ、この本では1877年(明治10年)6月20日説をとっているようですが、それは間違いです。

万国郵便連合への加盟

明治7年(1874)10月9日、22カ国の参加でUPU条約が締結され、万国郵便連合(UPU)が発足した。日本も郵便の基礎が確立したためUPU加盟を申し入れ、明治10年(1877)2月19日加盟が承認された。政府は、6月19日万国郵便条約(ベルン締結)を布告し、6月20日より施行した。これにより加盟国に差出される郵便物は同一種類均一料金となり、加盟国あての郵便物には日本切手を貼ればよくなった。

(図1): p.11

(2)日本の郵便局取扱時代

[明治8(1875).1.1以降]

明治6年(1873)8月アメリカとの間に日米郵便条約を締結し、明治8年(1875)1月1日から実施した。ヨーロッパ諸国宛の郵便物は、アメリカ経由で送られていた。その後、明治10年(1877)2月19日に万国郵便連合に加盟し、この結果イギリス、フランスの在日外国郵便局も廃止され、郵便の国権は回復した。

(図2): p.90

(2)日本の郵便局取扱時代/制度と料金の変遷

年月日	内容	料金等	関係法令公示等
明治8(1875).1.1	外国郵便業務を横浜、神戸、長崎郵便局で開始	別表2(要録)	明治7.12.23布告135号
明治8(1875).7.1	新聞、商品見本の料金改定		駅遞寮申渡、布告109号
明治8(1875).9.10	外国郵便税表改正		布告139号
明治9(1876).1.1	外国郵便税表改正		布告197号
明治9(1876).4.1	外国郵便税表改正	別表3、4(要録)	明治9.4.12布告47号
明治10(1877).4.15	外国郵便税表改正		布告36号
明治10(1877).6.20	万国郵便連合加盟		布告46号
明治11(1878).10.21	外国郵便税表改正		達調2860号
明治12(1879).4.1	外国郵便税表改正		明治12.3.28内務省局出

(図3): p.90

②「外国郵便の一世紀」の記述

次に、外国郵便関係でよく引用される山口修氏の表題の名著(昭和54年刊)を見てみましょう。(図3)も(図4)も、日本のUPU加盟は1877年(明治10年)6月1日であると、まず書いています。しかし、「加盟を6月20日から実施する」という紛らわしい表現も見られます。

また、日本国内に関しては6月20日に実現したことを「改めて連合総理局に通知されなかったため、UPU本部における日本加盟の日付は、依然として6月1日となっている」と言っています。

まるで、通知していれば6月20日になったかのような書き方です。でも、一旦UPUと取り決め、各国に告知した後に加盟日を変更することなどできるとは思えません。すでに他国ではそのつもりで対応済みなのです。このあいまいな表現が後進の誤解を生んだのではないのでしょうか。「UPUの加盟日」と「新外国郵便料金の実施日」が別のものであることを明示すべきだったと思います。

この規定にもとづいて、日本が加盟を申し出ると、スイス国大統領は、まず米国の意向を打診した。米國郵政省は、もちろん異存のないことを回答する。よってスイス政府は、一八七七年(明治十年)一月八日付をもって、連合各国に日本の加盟について異議の有無を問う書簡を發した。 条約の規定による六週間の期限、すなわち二月十九日に至つても、日本(おまひ他)の加盟について異議を申し立てる国はなかった。そこで日本は「加入ヲ許可セシモノト看做」されたのである。さらに条約の手續にしたがつて、日本の全權はスイス全權との間に、加盟を決定する条約を結ばねばならない。その調印が行われたのは、三月三日であつた。	瑞西國郵便總理局ヨリ一八七七年一月八日ノ回章ヲ以テ、……日本帝國ヲ万国郵便連合ニ加入スルヲ認可スベキヲ連合ノ諸國ニ商議シ、而シテ此議ニ對シ……六週間ノ期限内、更ニ異論ヲ發セシ者ナキヨリ、該事務ノ履行ニ付全權ヲ有スル下記署名人ハ、此外交文書ヲ以テ、一八七七年六月一日ヨリ、帝國日本政府ハ一八七四年十月九日「ベルヌ」ニ於テ締結セル万国郵便連合ノ創立ニ關スル條約、並右條約施行ノ為メ取極メタル細則ノ條款ニ加入スルヲ確定承認スルヲ明証セリ 伯林府ニ於テ一八七七年三月三日 帝國日本ノ為メ 日耳曼帝國在留特命全權公使 青木周藏 日耳曼帝國在留特命全權公使 ア・ロツツ	瑞西連邦ノ為メ連合諸員ニ代リ 日耳曼帝國在留特命全權公使 こうして日本のUPU加盟は確定した。すなわち三月三日、日本の加盟は公式に承認され、加盟の日付は六月一日とすることも決定されたのである。連合総理局においても、日本の加盟を「一八七七年六月一日」として、正式に登録したのである。	なお明治十年(一七八)一月十一日には、日本において官制の改革が行われ、各省の諸寮は廃止されて、局と改称された。ここに駅通寮も、駅通局と改めた。前島は駅通局長のまま内務少輔に昇格した。その駅通局に対して、UPU加盟に関する外交文書の到着するのが遅れたのである。条約書その他が、外務省をへて駅通局に届けられたのは、正式加盟の日である六月一日の直前であつた(と伝えられる)。よって加盟を「期日通り実施相成カタクハ不得止次第」となり、六月二十日から実施することとなつたのであつた。	政府は明治十年六月十九日、ベルヌ締結の「万国郵便条約」および「外国郵便税表」の改正を公布し、翌二十日から施行した。したがってUPU加盟は、改めて連合総理局に通知されなかったため、UPU本部における日本加盟の日付は、依然として六月一日となっている。
---	---	--	---	--

(図3) : pp.52-54

明治10 1877	6. 1 UPUに正式加盟	53
	6.19 万国郵便条約 布告	53
	6.20 万国郵便条約 施行	53
	11.20 UPU端書(三五六) 発行	58

(図4) : 年表 p.2

この中では正しく「6月1日正式加盟」と書かれています。しかし、6月20日は条約の施行日ではなく「同条約に伴う新外国郵便料金の施行日」です。

③「法規分類大全第5巻」の記述

1978年に日本郵趣出版から出されたこの本は、たぶん一番信頼できる資料です。日本の初期郵便の研究には欠かせません。

少し異なる部分もありますが、趣旨はほぼ前述の山口本と同じです。これを見ても日本の UPU 加盟は 1877 年 (明治 10 年) 6 月 1 日であることは明らかです。そして、注目してほしいのは欄外上の注釈です (図 5)。

- ・ 甲号は前に掲げる第 45 号布告 (= 第 1 回万国郵便連合条約)
- ・ 乙号は 10 年 6 月第 46 号布告 (= UPU 加盟に伴う新外国郵便料金表)
- ・ 丙号は外務卿への通知

内務省伺のなかで「乙号の儀本月 20 日より施行」とあり、その通りになったのですが、よく見てください。「甲号、乙号」とは書かれていません。

乙号すなわち外国郵便料金の施行だけが 20 日になったのです。

甲号、すなわち万国郵便連合条約そのものは (世界的に見ても) すでに 6 月 1 日に発効しているのです。

そんなことはないと思いますが、例えば UPU の分担金の日割りであれば 6 月 1 日分から支払う必要があります。また、各種の継越料も 6 月 1 日からは UPU 加盟国並みの料金になっているはずですし、作成義務のある日計表も 6 月 20 日からではなく 6 月 1 日から、などなど付随する権利義務は 6 月 1 日から動いているはず。ただ、日本の国内事情で外国あて郵便料金の変更だけが 6 月 20 日にずれたという意味ではないでしょう。

(図 5): p.93

青木公使ノ電報下ニ載ス
甲號ハ前ニ掲ケル第四十五號布告ト同文ナリ
乙號ハ十年六月第四十六號ヲ以テ布告ス外國郵便稅ノ條ニ載ス

丙 瑞 西 國 萬 國 郵 便 總 局 ヨリ 千 八 百 七 十 六 年 十 月 二 十 日 ノ 回 章 ニ 因 リ 佛 朗 西 屬 地 及 ヒ 英 領 印 度 國 ト 同 一
ノ 條 約 即 チ 千 八 百 七 十 六 年 一 月 二 十 七 日 ベルヌ 府 ニ 於 テ 調 印 シ タル 條 約 ニ 照 準 シ 帝 國 日 本 府 會 盟 中 ニ
加 入 ス ル ヲ 認 可 ス ヘ キ ヲ 聯 合 諸 邦 ニ 商 議 シ 而 シ テ 此 議 ニ 對 シ 千 八 百 七 十 四 年 十 月 九 日 同 府 ニ 於 テ 締 結
セ ル 條 約 中 第 十 七 條 第 六 節 ニ 掲 ケ ル 所 ノ 六 週 間 ノ 定 期 内 更 ニ 異 論 ヲ 發 セ シ 者 ナ キ ヲ 以 テ 千 八 百 七 十 七 年 六 月 一
日 ヲ 爲 メ 成 規 ニ 照 シ タル 許 可 ヲ 得 シ 所 ノ 左 ニ 記 名 ス ル 者 ハ 此 公 ケ ノ 約 書 ヲ 以 テ 千 八 百 七 十 七 年 六 月 一
日 ヲ 日 本 政 府 ハ 千 八 百 七 十 四 年 十 月 九 日 ベルヌ 府 ニ 於 テ 締 結 セ ル 萬 國 郵 便 聯 合 創 立 ニ 關 ス ル 條 約 并
ニ 右 條 約 實 行 ノ 爲 メ 取 極 メ タル 細 目 規 則 ノ 條 款 ヲ 確 然 承 認 ス ル ヲ 明 證 セ リ
ベルヌ 府 ニ 於 テ 千 八 百 七 十 七 年 三 月 三 日
瑞 西 聯 邦 政 府 ノ 爲 メ 郵 便 總 會 員 ニ 代 リ 日 耳 曼 國 在 留 特 命 全 權 公 使
ア ロ ッ ト 手 記

内務省伺 十年六月十六日
先般在獨乙青木全權公使ヨリノ電報ヲ以テ及上申置候萬國郵便聯合條約本月一日ヨリ實施可相成趣今
般西政府副統領外一名ヨリ丙號ノ通外務卿へ通知有之候ニ就テハ甲乙兩號ノ通御布告相成度依之御
布告案相添此段相伺候也
追テ本文通知邊延候ヨリ期日通り實施相成カタクハ不得止次第ニ候間乙號ノ儀本月二十日ヨリ施行
相成候様イタシ度此段副テ相伺候也 元老院檢視内務省へ通牒

帝國日本政府ノ爲メ
日耳曼帝國在留特命全權公使
青木周藏
アロツト手記

④他国の文献の記述

日本の UPU 加盟日が他国の文献ではどのように書かれているかを調べました。一つは、「1883 年小判切手の改色根拠」の際にも参照した UPU に関して書かれたドイツの文献 (図 6) で、もう一つはアメリカで発刊された国際郵便料金に関する文献 (図 7)、そして最後に手元にあるミッヘル世界カタログ (図 8) です。

ご覧のように (図 6)(図 7) とも日本の UPU 加盟は 1877 年 6 月 1 日であると書いています。参考のため日本の前後も含めて抜粋コピーしました。内容の違いを示すためです。ジャマイカを例に挙げると、ドイツの文献 (図 6) は最終的な加盟日だけが書かれていますが、アメリカの文献 (図 7) は経過も書かれた詳しいものなのです。アメリカの文献によると、ジャマイカは 1877 年 4 月 1 日にイギリス植民地として加盟し、その後 1963 年 8 月 29 日に独立国として加盟国となったことが分かります。ちなみに現在の UPU のサイトを見ても (図 6) 同様の最終的な加盟日しか書かれていません。経過まで書かれた文献はなかなか無いのです。しかし、最後のミッヘルカタログ (図 8) では「6 月 20 日」と書かれています。これはおそらく日本の文献に影響されたのでしょう。

Jamaika (29.8.1963)
Japan (1.6.1877)
Haschemitisches Königreich Jordanien (7.6.1951)

(図 6) : 「Die UPU-Studie, Philatelistische Belege zum Thema Weltpostverein」(Hans Paikert 著/1979 年刊)、p.65

Jamaica	Apr. 1, 1877 Aug. 29, 1963	British Colony Independent member
Japan	June 1, 1877	Member
Johore	July 1, 1928 Jan. 17, 1958	British Colony Part of independent member Malaya, now Malaysia

(図 7) : 「U.S. International Postal Rates, 1872-1996」(Anthony S. Wawrukiewicz, Henry W. Beecher 共著/1996 年刊)、p.375

Japan

(Nippon, Nihon)

日本郵便

Inselgruppe vor Ostasien. Hauptinseln: Honshū, Hokkaidō, Kyūshū, Shikoku

Konstitutionelle Monarchie. Hauptstadt: Tokio

Währung: 1 Sen (S) = 100 Mon (M) (1871), 1 Yen (Y) = 100 Sen, 1 Sen = 10 Rin

Fremde Postanstalten:

Hongkong-Filialpostamt: In Yokohama (Y 1), später in Nagasaki (N 2), Hiogo (D 30) (1859-1879).

Vereinigten Staaten von Nordamerika: Yokohama (1867-1874) (Unionsmarken, stumme Stempel), Nagasaki, Hiogo, Hakodate (Stumme und Datumsstempel).

Frankreich: Yokohama, Nummernstempel 5118 (3 Ausführungen, 1865-1876), ferner: Doppelkreisstempel BAU FRANÇAIS (1865-1880), YOKOHAMA JAPON (1876-1880). Französische Militärpost (1875) ähnliche Stempel, Inschrift CORR. D. ARMÉES-YOKOHAMA.

Deutsches Reich: Yokohama-Marinelazarett (1897-1911). Entwertung: Datum-Einkreis-Stempel wie Marineschiffsposten, jedoch zusätzlich Ortsangabe YOKOHAMA.

Eintritt in den Weltpostverein: 20. Juni 1877.

(図 8) : ミッヘルカタログ海外版 (2003 年版)

次に、外国が日本をどのように見ていたかを示すため、ドイツの郵便料金表を一例として紹介します。抜粋コピーしたのは「Auslandstarife für die Brief- und Paketpost 1875-1900」(Werner Steven 著 /1986 年刊) です (図 9)。1876 年 7 月にインドなどの遠隔地が UPU に加盟したために、同じ UPU 加盟国宛でも遠隔の地にある国あては少し高い料金が設定されました。これを「B」料金表と呼びます。(図 9) の上に示したのはその「B」料金表で、前納書状は 15g ごとに 40 ペニヒ、未納書状は 15g ごとに 60 ペニヒ、郵便ハガキは 20 ペニヒ、印刷物・商品見本・業務用書類は 50g ごとに 10 ペニヒとなっています。

下の表は日本に関する部分で、1877 年 6 月 1 日から「B」表を適用する、となっています。つまり、このときから日本を UPU 加盟国であると認めているのです。そして、おそらく多くの国でドイツと同様の対応をしていると思われます。日本の郵便史は日本だけで完結するものではありません。日本側からのみではなく、もっとグローバルに見るべきではないでしょうか。

ついでながら、1877 年 7 月 17 日には、ロシア経由で中国の Urga、Kalgan、北京、天津あての通常郵便物はロシアあての UPU 料金を適用するとか、1877 年 7 月 1 日 (= ブラジルの UPU 加盟日) にブラジルも日本同様に「B」料金表が適用されるなど、この抜粋だけを見ても興味深いことが書かれています。

蛇足ですが、ドイツの文献の見やすさにもご注目ください。日本やアメリカのだらだら文と違って空白をうまく使っています。読み手の利便性を高めるためには空白の使用を厭わないのです。「休符も音符である」と言ったベートーベン (?) の言葉が思い出されます。

01.07.1876	Einführung des Tarifs "B"	48/146/76
Der Tarif "B" wurde eingeführt um den überseeischen Ländern den Beitritt zu ermöglichen.		
Porto:		
	Briefe, frankiert	40 Pfg. je 15 gr.
	unfrankiert	60 Pfg. je 15 gr.
	Postkarten	20 Pfg.
	Drucksachen, Warenproben,	
	Geschäftspapiere	10 Pfg. je 50 gr.
Fernado Po, Anabom, Corisco, Cuba, Portorico, Philippinen		
01.06.1877	Japan	Tarif "B" 32/104/77
17.07.1877	Für Briefpost nach den Chinesischen Orten Urga Kalgan, Peking und Tien-Tsin auf dem Weg über Rußland kam das Vereinsporto wie nach Rußland zur Anwendung.	37/123/77
01.07.1877	Brasilien	Tarif "B" 39/132/77

(図 9) : pp.4-5 / ドイツの郵便料金表から

⑤公的文書もときには間違ふ

以前からどこかで書こうと思っていたことです。そう、官報を含め公的な文書といえども、たまには誤植や間違いがあるのです。

訂正されることもあります。官報の訂正欄は一定の場所ではなく関連場所に掲載されるため、全部を隅から隅まで見なければならず、当然見落とします。

たとえば各号の最終ページに記載する等のルールを作っておけば、このような見落としはかなり防げます。厳しいことを言えば、読み手を無視した編集側の怠慢です。というわけで、今回の話も訂正を見落としているかもしれない、と前もっておことわりしておきます (実は、見落としがあった場合の言い訳…(笑))。

まずは第1回万国郵便連合条約第3条から見てみましょう。郵趣家にとっては極めて大切な、書状の料金を規定する条文です。「法規分類大全」では(図10、図11)のようになっています。赤線の部分に注目してください。

日本語訳では、前払いの信書1通の料金は25サンチームを原則とし、増減させる場合は20サンチームから「35サンチーム」の範囲である意味のことが書かれています。しかし、p.108の仏文・英訳では上限を「32」サンチームとしています。たまたま独文が手元にありましたので傍証としてそれも示します(図12)。いずれも「32」ですから、明らかに日本語の「35」は間違いです。

ARTICLE III.	ARTICLE III.
La taxe générale de l'Union est fixée à 25 centimes pour la lettre simple affranchie.	The general Union rate of postage is fixed at 25 centimes for the single prepaid letter.
Toutefois, comme mesure de transition, il est réservé à chaque pays, pour tenir compte de ses convenances monétaires ou autres, la faculté de percevoir une taxe supérieure ou inférieure à ce chiffre, moyennant qu'elle ne dépasse pas 32 centimes et ne descende pas au-dessous de 20 centimes.	Nevertheless, as a temporary measure the option is reserved to each country, in order to suit its monetary or other requirements, of levying a rate higher or lower than this charge, provided that it does not exceed <u>32 centimes</u> or go below 20 centimes.

(図11): p.108 / 仏文・英訳

Art. 3.
Das allgemeine Vereinsporto für den einfachen frankirten Brief beträgt 25 Centimen.
Als Uebergangs-Maßregel ist jedoch jedem Lande vorbehalten, mit Rücksicht auf seine Münz- oder sonstigen Verhältnisse, einen höheren oder niedrigeren, als den bezeichneten Portosatz zu erheben, vorausgesetzt, daß derselbe nicht mehr als <u>32 Centimen</u> und nicht weniger als 20 Centimen beträgt.

(図12): 独訳

第三條 聯合疆内ニ於テ拂ハシムヘキ郵便税ハ前拂ニテ信書一通二十五センチムヲ一釐九モニ當ルス
ト定ム可シ然レモ通貨其他計算上ノ異同ヲ調理セン爲メ右定税ヲ多少増減スルハ各國其自由ニ任ス
ヘシ尤モ此増減ハ三十五センチムヨリ過超セサルヘク二十五センチムヨリ減少セサルヘシ

(図10): p.87

お次は同条約第 20 条です。同条約の批准期限に関する条文ですが、(図 13) の日本語では赤線の部分が「三箇年」となっています。しかし、仏文・英訳・独訳 (図 14、図 15) では「3 カ月」となっています。「月」を「年」と間違えているのです。ついではながら、英訳にも間違いが見られます。最後から 2 行目は「1877」年となっていますが、「1874」年が正しいのです。

なお、ここではコピーを省略しましたが、同条約実施細目規則にもミスがあります。第 17 条「計算の事」は日本語訳では第 1 項から第 4 項までしかありません。なんと、本来あるべき第 5 項と第 6 項そのものが脱落しているのです。また、第 19 条のみだしは「閉囊郵便物継越運送賃に関する統計の事」となっていますが、「開囊…」が正しいのです。両方とも「法規分類大全」の p.116 です (仏文・英訳は pp.157-58)。

新しいところでは、2018 年に郵研社から発刊された「国際郵便事務必携 (2018 年 1 月 1 日現行)」にも誤植があります。もちろん、それ以前の官報などにも気になる部分が多々見られます。

ARTICLE XX.	ARTICLE XX.
Sont abrogées, à partir du jour de la mise à exécution du présent Traité, toutes les dispositions des Traités spéciaux conclus entre les divers pays et Administrations, pour autant qu'elles ne seraient pas conciliables avec les termes du présent Traité et sans préjudice des dispositions de l'art. 14. Le présent Traité sera ratifié aussitôt que faire se pourra et, au plus tard, trois mois avant la date de sa mise à exécution. Les actes de ratification seront échangés à Berne. En foi de quoi les plénipotentiaires des Gouvernements des pays ci-dessus énumérés l'ont signé à Berne, le 9 Octobre, 1874. Pour les Etats-Unis d'Amérique:	From the date on which the present treaty comes into effect, all the stipulations of the special treaties concluded between the various countries and Administrations, in so far as they may be at variance with the terms of the present treaty, and without prejudice to the stipulations of Article XIV, are abrogated. The present treaty shall be ratified as soon as possible, and, at the latest, three months previous to the date on which it is to come into force. The acts of ratification shall be exchanged at Berne. In faith of which the plenipotentiaries of the Governments of the countries above enumerated have signed it at Berne, the 9th October, 1874. For the United States of America:

(図 14) : p.99 / 仏文・英訳

Art. 20.
Mit dem Tage der Ausführung des gegenwärtigen Vertrages treten alle Bestimmungen der zwischen den einzelnen Ländern und Verwaltungen abgeschlossenen besonderen Verträge insoweit außer Kraft, als sie mit den Festsetzungen dieses Vertrages nicht im Einklang stehen und unbeschadet der im Artikel 14 enthaltenen Bestimmungen. Der gegenwärtige Vertrag soll sobald als möglich und spätestens <u>drei Monate</u> vor dem Ausführungstermine ratifiziert werden. Die Auswechslung der Ratifikations-Urkunden soll zu Bern stattfinden.

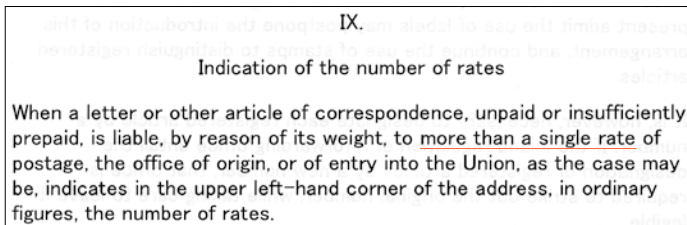
(図 15) : 独訳

第二十條 此條約實施ノ日ヨリ是迄各國及ヒ各局ノ間ニ取結タル別種ノ條約中此條約ノ箇條ニ抵觸スルモノ及ヒ第十四條ノ節目ヲ妨害セサルモノハ總テ廢止スヘシ
此條約ハ成丈ケ速カニ批准ヲ要スヘシ其最モ遲延ニ至ルモ實施前三箇年ヲ出ヘカラス但シ批准ノ交換ハベルン府ニ於テ執行フヘシ下ニ掲ケタル各國政府ノ全權公使ハ此條約ヲ證セン爲メ千八百七十四年即チ明治七年第十月九日ベルン府ニ於テ手書記名スルモノ也

(図 13) : pp.92-93

そこで、今度は官報の間違いです。(図16)は明治31年12月22日の官報第4645号、逓信省告示第330号「(第5回)万国郵便条約の施行細則」の第9条です。未納・不足郵便物で重量オーバーを理由とするものは、郵便物の表面左上隅に何倍重量に相当するか、その数字を書くことになっています。

(図16)では「1通分以上の」となっていますが、(図17)の英訳では「more than a single rate」と書かれています。「more than」=「以上」と考えているのです。しかし、日本語の「以上」はその数を含みますが、英語の「more than」は厳密に言えばその数を含みません。例えば「more than 5」は自然数で言えば「6, 7, 8, 9....」なのです。日本語で言えば「超」に当たります。ですから「more than a single rate」は「1通分を超過する...」、あるいは自然数ですから「2通分以上の」と訳さねばならなかったのです。なお、第6回の規則では「其の重量の為一通分を超過する郵便料を徴収すべきものなるときは...」と正しく訳されています。余談ですが、ドイツをはじめ多くの国では、切手発行以前から左上隅に重量を書く習慣があります。その習慣がその後長らく UPU に受け継がれていったのです(図18)。



(図17): 英訳

「2」は2倍重量を示している



(図18): (図16)と時期は異なりますが、そのような一例

第九條 通數ノ記入
未納料若ハ不足料ノ信書又ハ總テ其ノ他ノ郵便物ニシテ重量一通分以上ノ郵便料ヲ課セラルヘキモノアルトキハ場合ニ依リ差出國郵政廳若ハ該郵便物ノ聯合内ニ到著セシ國ノ郵政廳ニ於テ通常ノ數字ヲ以テ表記ノ上部左隅ニ其ノ通數ヲ記載スヘシ

(図16): 官報

⑥あいまいな条文は英訳を見よう

表題に「英訳」としましたが、英語に限りません。特に、郵便関係ではフランス語が分かる方はフランス語版をご覧ください。とにかく、日本語以外の言語で見ることでより理解が進む場合があるのです。

例えば、記念切手が国際便では使えない時期があったことはご存知でしょう。(図 19) は 1899 年 (明治 32 年) 1 月 1 日施行の第 5 回 UPU 条約第 11 条です。「一時の効力を有する記念郵便切手の如きものは之を万国郵便事務に使用するを許さず」となっています。

日本語のニュアンスだと、記念切手にも「一時の効力を有するもの」と「効力に期限が無いもの」の 2 種があり、前者は国際郵便には使えないが、後者は使える、とも解釈できそうです。少しあいまいなのです。

このような場合は英文を参照してみましょう (図 20)。「such as the so-called commemorative postage stamps of temporary validity」(いわゆる一時の効力を有する記念切手のようなもの) は、コンマで区切られており、「postage stamps produced with an object special and peculiar to the country of issue」(発行国にとって特別・特殊の目的をもって製造された郵便切手) を説明するための単なる例示であり、付け足しに過ぎません。

つまり、一時的な効力の有無など問題にしていないのです。このように、別の言語を見ることで条文の理解が深まる場合があるのです。ただし、このことと、日本語訳を見た日本の郵政職員がどのように解釈したかは別の問題です。なお、この件に関しては片山七三雄氏の「明治時代の記念切手の使用禁止期間に関する考察」(「郵便史研究」誌第 46 号/2018 年 9 月刊) に詳しく書かれていますので興味のある方はご覧ください。

第十一條
一 一個人ノ郵便物ハ其ノ種類ニ拘ラス差出国ニ於テ効力ヲ有スル郵便切手ニアラサレハ其ノ郵便料ヲ前払スルコトヲ得ス然レトモ特殊ノ目的ヲ以テ発行セシ郵便切手例ヘハ一時ノ効力ヲ有スル記念郵便切手ノ如キモノハ之ヲ万国郵便事務ニ使用スルヲ許サス

(図 19) : 日本語条文 / 「郵政 100 年資料」から

Article XI

1. Prepayment of postage on every description of article can be effected only by means of postage stamps valid in the country of origin for the correspondence of private individuals. It is not, however, permitted to make use, in the international service, of postage stamps produced with an object special and peculiar to the country of issue, such as the so-called commemorative postage stamps of temporary validity.

(図 20) : 英訳

もう一つ具体的な例を挙げます。第1回万国郵便連合条約の実施細目規則第27条「総理局の事」の第12項(図21)に書かれている「一般の」という言葉の意味が私には理解できませんでした。そこで、英訳を見ました。すると「一般の」は「all」(すべての)の訳だったのです。さらに「the solution of a question」を「議題」と訳していることも分かりました。より正確には「問題の解決策」です。つまり、「連合各国一般の承諾を得て決定すべき議題」とは「全加盟国の承諾を必要とする問題の解決策」

だったのです。総理局がそのような解決策を送って4ヶ月経っても返事が無ければ了承したものと見なす、という意味だということがようやく明確になりました。

最後に、(図23)をご覧ください。同じ第27条の第6項にUPUへの分担金の等級が書かれています。しかし、国名がすべて漢字です。何とか読めないことはありませんが、英訳(図24)を見るほうがはるかに楽です。英訳はこのような場合にも役立ちます。また、Google翻訳は英語⇄日本語は苦手とはいえ、候文を読むより英訳をGoogle翻訳にかけた方が分かりやすい場合もあるでしょう。

日本がいつUPUに加盟したのか、そのようなことは実際の切手収集にはほとんど役立ちません。収集家の目に見えるのは外国郵便料金ですから、そこに関心が向くのは当然です。けれど、このようなことも知ろうとするのが郵趣家ではないかと…。

12) Whenever the International Bureau submits to the Administration the solution of a question which requires the assent of all the members of the Union, those Administrations which shall not have sent in their reply within the delay of four months shall be considered as consenting.

(図22): p.151 / 英訳

6) The contracting countries are classified as follows, as regards the division of the charges:
1st class: Germany, Austria-Hungary, United States of America, France, Great Britain, Italy, Russia, Turkey;
2nd „ Spain;
3rd „ Belgium, Egypt, Netherlands, Roumania, Sweden;
4th „ Denmark, Norway, Portugal, Switzerland;
5th „ Greece, Servia;
6th „ Luxemburg.

(図24): p.152 / 英訳

十二	六
總理局ヨリ聯合各國一般ノ承諾ヲ得テ決定スヘキ議題ヲ各驛遞局ヘ送付スルニ當リ四ヶ月以内ニ回答ナキハ異存ナキモノト看做スヘシ	經費賦課ノ爲メ締盟諸國ヲ左ノ如ク區分ス
	第一等
	第二等
	第三等
	第四等
	第五等
	第六等
	日耳曼 墺地利 洪易利 亞米利加 衆國 法蘭西 大不列顛 伊太利 露西亞 土耳其
	西班牙
	白爾義 埃及 和蘭 羅馬尼亞 瑞典
	丁抹 那威 葡萄牙 瑞西
	希臘 塞爾維
	歷山堡

(図23): p.119

(図21): p.120

富士鹿切手の大型マルチプルから分析する 1920 年代以降の凸版平台製造技術の推移

吉田 敬

富士鹿切手は、カタログ価が高く、シートの残存数が少ない事もあり、製造面の研究がこれまでほとんど進んでいませんでした。

しかし、関東大震災(1923)で印刷版を焼失した為に導入された、有名な白耳の新しい印刷版(1924)を含む、1920 年代の印刷版の変遷を追うことにより、1920 年代から 1935 年頃にかけて、凸版平台製造技術が大きく推移したことが以下の表のように推定されます。

製造開始	罫線	銘版	外部罫線	トンボ	2 次原版	裏糊塗布	備考
1921	あり	内閣 なし	未確認	穿孔用 2 点	10 面	印刷後	初日分 発売量少なく印刷回数少ない
1924	なし		確認	(未調査)	10 面	印刷前	通称「白耳」外部罫線の復活
1925	復活		確認	穿孔用 4 点	10 面	印刷前	3 期 罫線復活しても外部罫線消えない
1926	あり	内閣 あり	未確認	穿孔用 4 点	25 面?	印刷前	4 期 2 次原版は 25 面構成のみ確認
1929	あり		未確認	トンボ 2 つ	25 面	印刷前	改色 4 期と異なる版の導入を推定
1930	あり		未確認	トンボ 2 つ	25 面	印刷前	原版変更。
1935	あり		未確認	トンボ 4 つ	25 面	印刷前	この頃から製造方法が変更される。

幸い、ここ 5 年ほどで、富士鹿切手の大型マルチプルを入手する機会に恵まれましたので、この仮説を検証したいと思います。ただし、筆者は田沢切手の製造面に詳しくない為、ご専門の方からの訂正のご指摘を是非お願いしたいと思います。

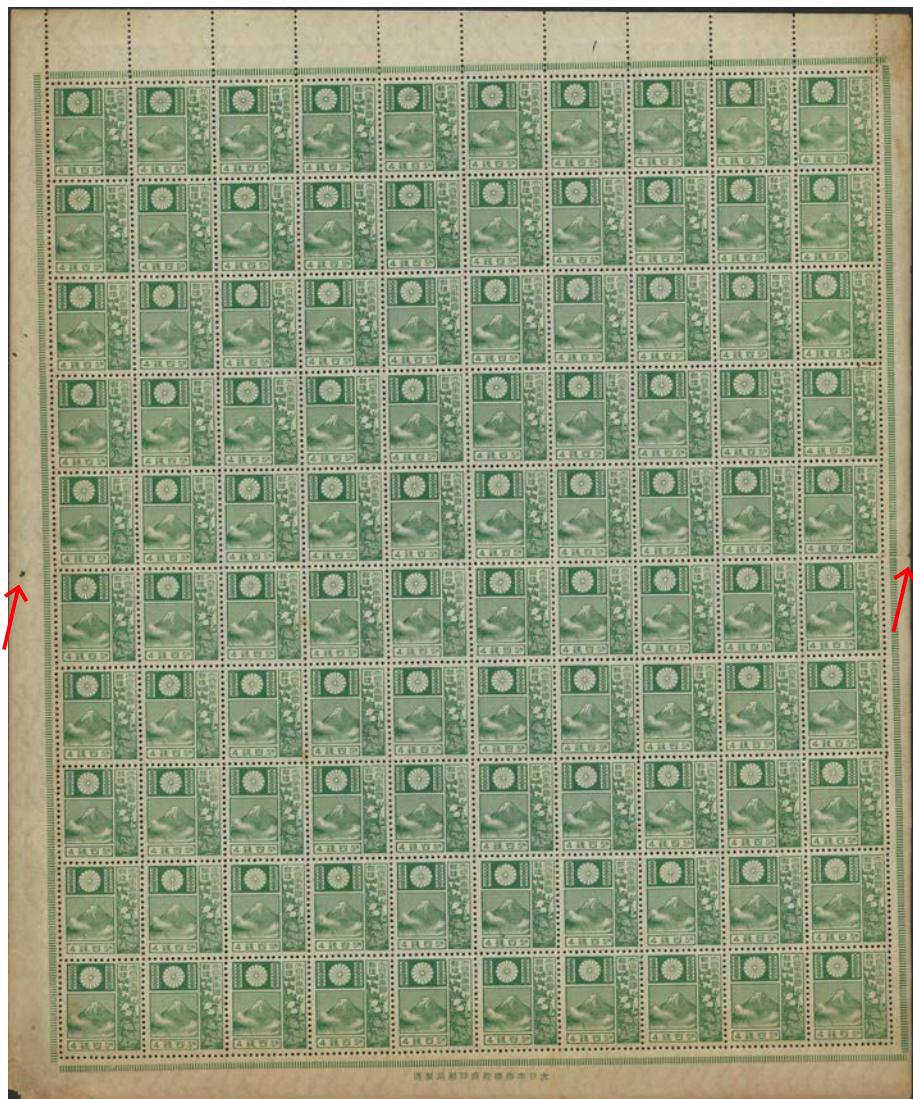
1921 製造開始分

各額面で 1 シートずつ発見されています(次ページ)。確認できたシートの裏面最上部(耳紙部分)に裏糊がない(次ページ下、サンプルは 8 銭)為、裏糊塗布は印刷後と考えています。

Pos.41/51 の左と Pos.50/60 の右に一つずつドットがありますが、これはシートをまとめて穿孔するときの針穴ではないかと考えています。あくまでも穿孔の為の針穴であり、裁断は目分量で行われた為、余白が狭かったり広かったりすることが多いのも、この時期の製造分の特徴です。

1924 製造開始分

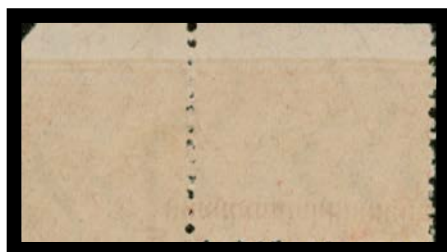
富士鹿切手についてはシートはもちろん、田型を超えるマルチプルも発見されていません。残された未使用切手の中に、上耳付きがあり、裏面最上部(耳紙部分)まで裏糊がある為、印刷前に裏糊塗布された用紙を使用したと考えられます。



1922年シリーズ 第1期製造分4銭シート（現存1点）

裏糊なし

裏糊あり



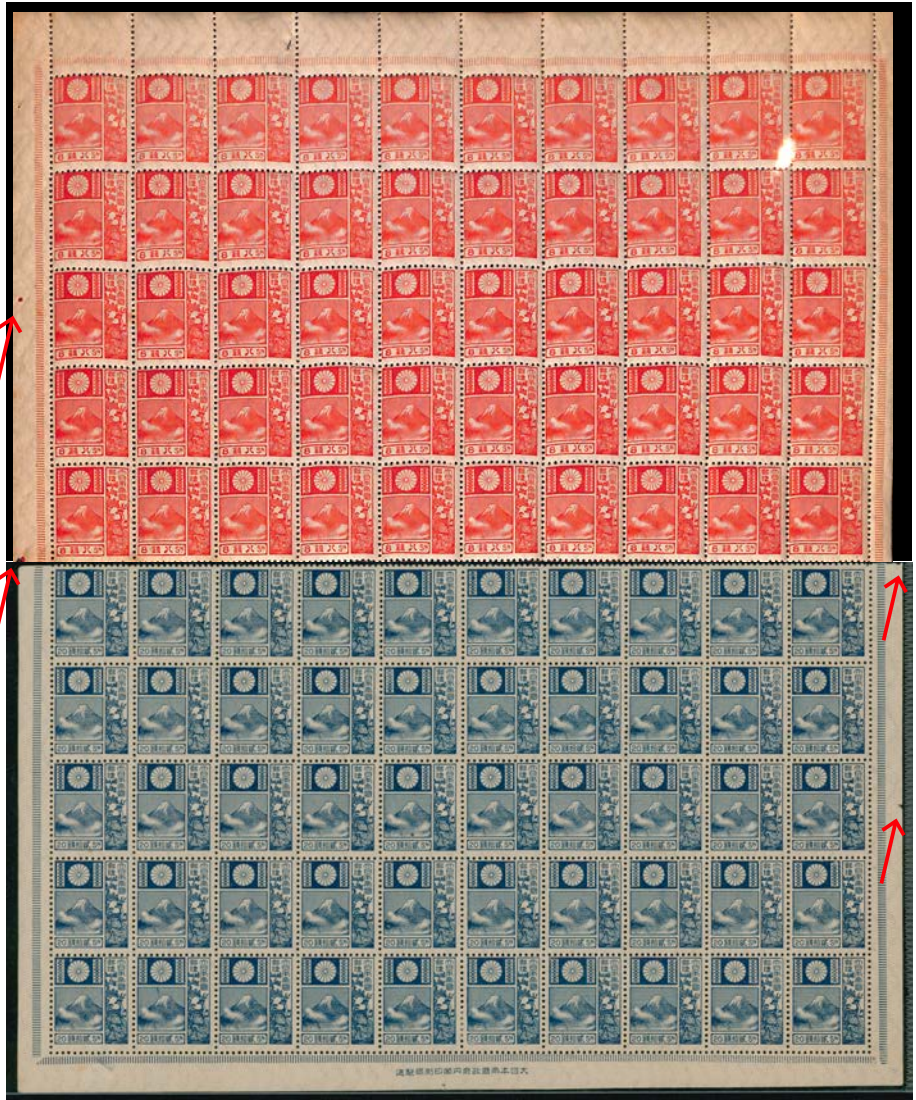
1922年シリーズ 第1期
製造分8銭 Pos.10 裏面

1925 製造開始分

シートが発見されていない上に大型マルチプルもほとんどなかったのですが、ここ数年で、8 銭の上部 50 枚と 20 銭の下部 50 枚が入手できた為、シートの姿を予想できるようになりました。

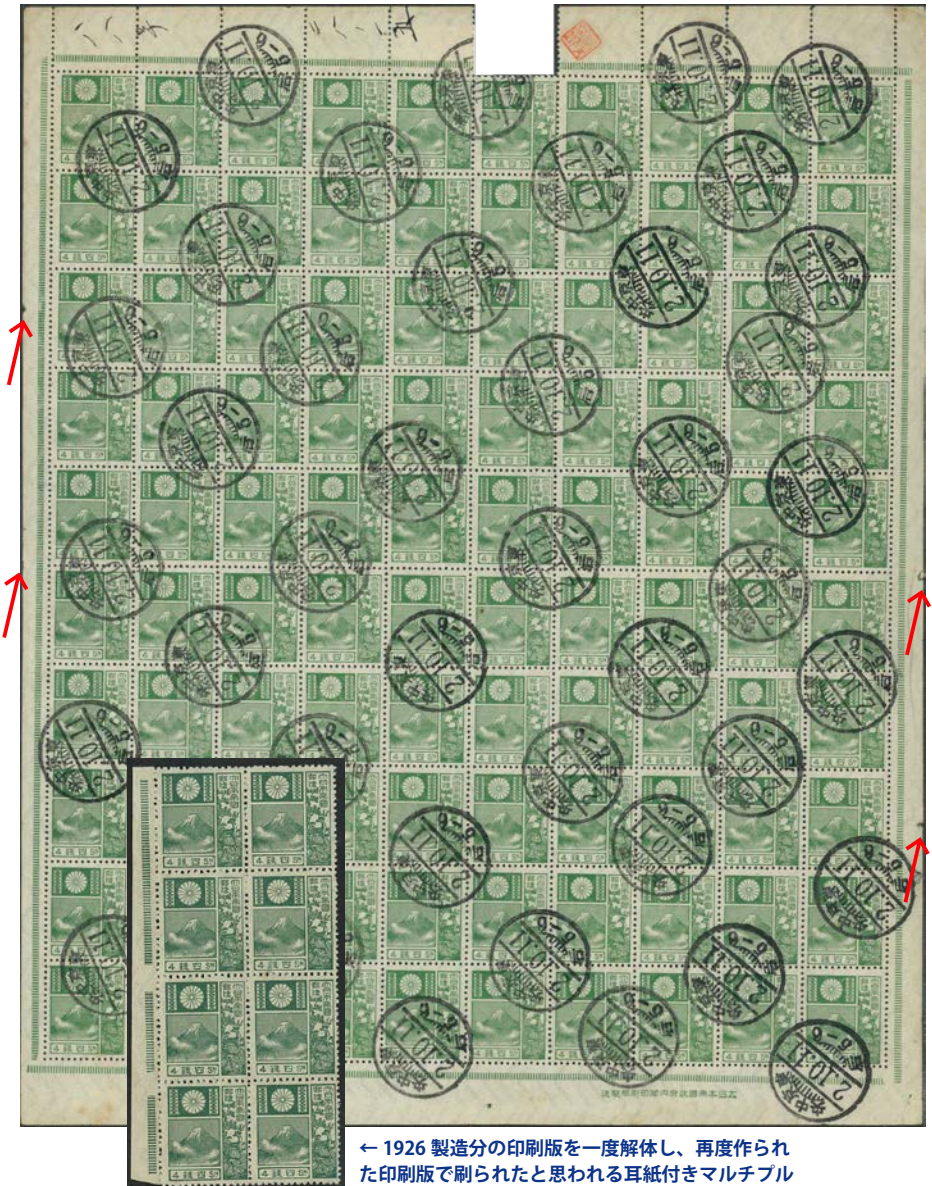
これを見ると、穿孔用のドットの位置が 1922 製造分のニヶ所に加えて、pos.21 の左と pos.80 の右のニヶ所にもあることがわかります。

なお、1924 製造開始分のドット調査ができていない為、この変化は、1924 製造開始分からの変化である可能性もあります。この辺りは、田沢切手白耳シートのドット調査をすることにより、より正解に近づくことが可能ではないかと思います。



1926 製造開始分

4 銭切手が、数シート、別納使用済の形で残されています（図）。その内、確認できる全ての二次原版が 25 面であると判断できる為、この時期は銘版の変更だけでなく、二次原版の変更の時期だったと推定しています。また、この印刷版を一度解体し、再度作られた印刷版と思われる耳紙付きマルチプルが存在しており（図下）、少なくとも 4 銭切手については、印刷版は 1929 製造開始分には流用されなかったと考えています。



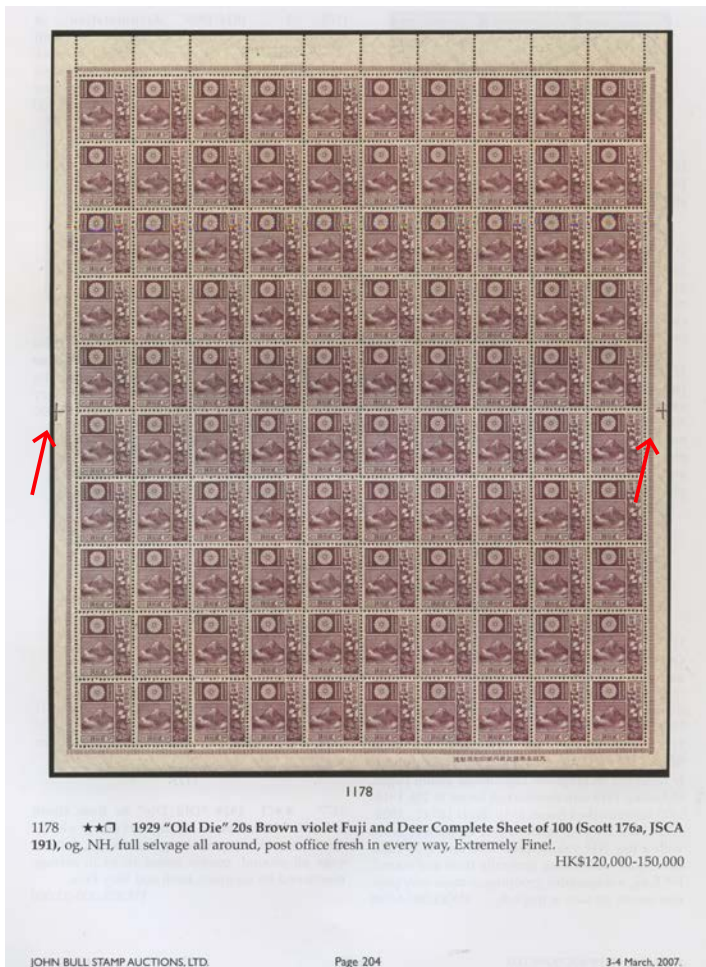
← 1926 製造分の印刷版を一度解体し、再度作られた印刷版で刷られたと思われる耳紙付きマルチプル

1929 製造開始分

1929 年シリーズ DIE I (旧版改色) はどの額面もシートが残されていません。ただ、2007 年 3 月に香港で開催されたセールで販売された 20 銭紫のシート (図、その後日本に輸出されてバラされたと言われている) には、pos.41,51 の左と pos.50,60 の右に、十字のトンボがニヶ所ついており、1926 年製造開始分の 4 銭印刷版とは異なります。

従って、いわゆる旧版改色の製造にあたっては、既存の印刷版は流用されず新しい版が作られたというのが、私の見解です。そして、こればかりは田沢切手に類例がない為、富士鹿切手・旧版のみで調べていかなければなりません。

ちなみに 1922 年シリーズは、第 1 期製造分から第 4 期製造分まで全てについて耳紙の幅の広すぎる切手が存在しますが、1929 年シリーズ以降はほとんど見かけません。これはトンボを導入し裁断精度の向上を狙った施策が奏功したということです。

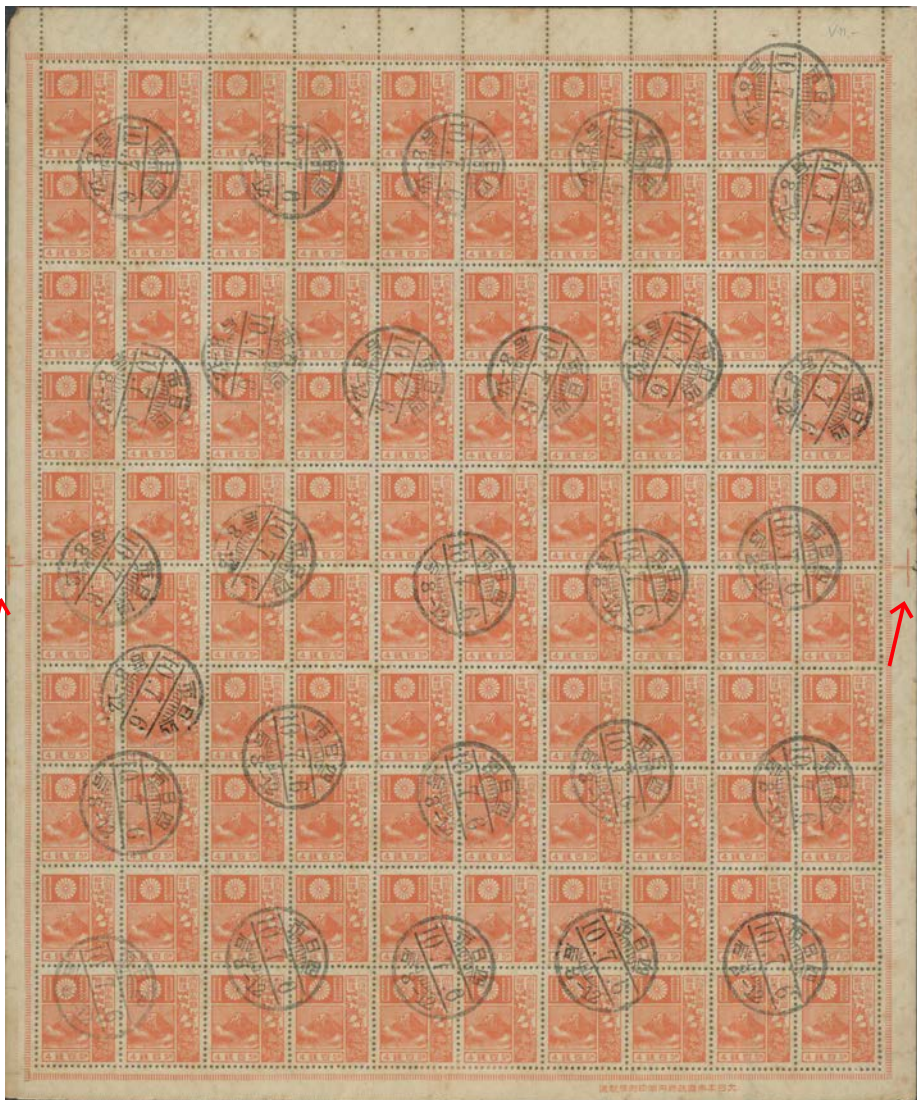


1929 年シリーズ DIE I 20 銭シート (未使用) 香港 JOHN BULL 2007.3 月オークション 12 万香港ドル ->UNSOLD

1930 製造開始分

DIE が変更されますので、当然のことながら印刷版は作りかえられますが、トンボ位置が同じであり、シートとして見ると、一見同じ印刷版に見えます。

なお、この印刷版が使用されたのはいつまでなのかは不明ですが、1935 年の別納使用例が残っています（下図）ので、その頃まで使われたのかな、と思いますが、時期を判定するには材料不足です。



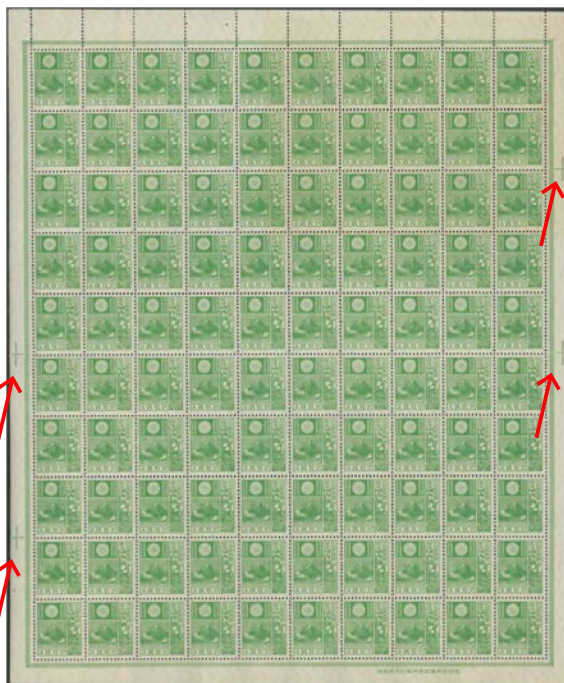
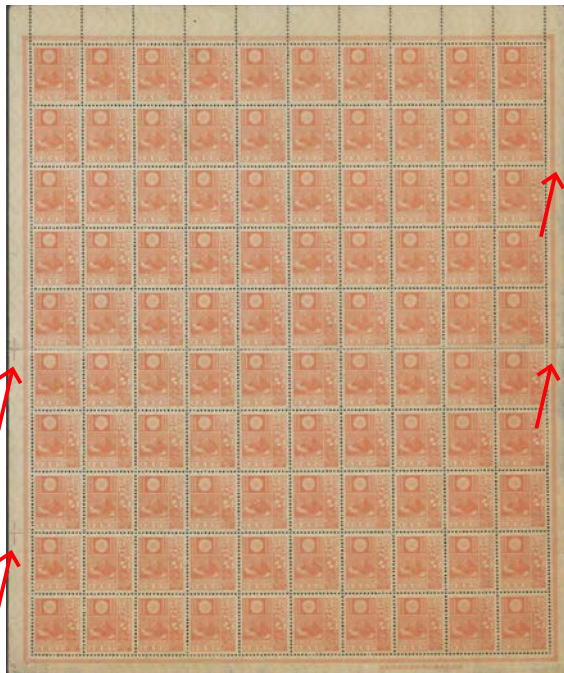
1935 頃製造開始分

前項で説明の通り、この製造分には「頃」が付き、開始時期はアバウトです。

トンボ位置が、1929 製造開始分でセットされたニヶ所に加えて、pos.20,30 の右と pos.71, 81 の左の合計4ヶ所となります(図上)。

この最後の印刷版は、その後、1937 年の改色や用紙変更を経ても変わらず使用された(図下)ことがシートの比較により考えられています。

なお印刷版は、1 面構成ではなく、最大 4 面構成が可能ですので、どの製造時期であれ、複数のペーン(=100 面シートの意)の存在の可能性があります。従って、それらの分類については、今後区別方法を探していきたいと考えています。



記事末に『山田コレスポンデンスの上海差出郵便物一覧』付き 日華連絡線（上海丸・長崎丸）船内局引き受けの内地宛速達郵便

横山 裕三

本稿は、いづみ 377 号に投稿された安藤源成さんの『船内郵便局差立て「速達」』の記事に触発されて、同誌の 378 号に投稿したものを、加筆修正したものである。同誌の購読者の皆様には一部重複しますがご容赦願いたい。

このマテリアルについて、筆者は、一連のヤフオク出品物を「山田コレスポンデンス」と名付けてずっとウォッチし、入札にも参加したのであるが、安藤さんのような強敵に阻まれて苦杯を舐めること数知れず。

また、これらは、ある一人の出品者によるものが殆どで、この方の話では、知り合いの解体屋さんのところに置いてあったものとのことだが、他の方による出品のものも若干あったので、独占された訳ではなさそうだ。

さて本題の山田コレスポンデンスは、主に「山田一男」と父の社龍（社竜）、妹の勝枝との往復書簡で、そこに後に妻となる堀金春子も加わる。（手紙での登場人物の敬称は省略する。）

本稿の主題は船内局引受の速達郵便であるが、2020 年 3 月現在で私が追うことができた山田一男の上海差立ての郵便物（速達のほかに航空便と普通便も含む）に限って一覧表にしたのが、本稿末の表-1 である。昭和 12 年から 14 年に集中しており、この中の速達便 5 通が安藤さんのもの、青色で網掛けしたものが筆者の入手したものである。この表を眺みながら、資料などに基づいて船内局引受けの速達便誕生の背景を考察してみる。



（一例）SHANGHAI-MARU→東京, 7639（昭和 14）一覧表（P.100-103 掲載）リスト 76 のマテリアル

1. 「山田一男」のプロファイリング

表にリストしたものの以外の前後の郵便物も参考にして、「山田一男」の人物像を推測してみる。

昭和4年3月には東京市内芝区白金に住居があり(図-1)、父や妹が住む実家は渋谷区豊澤町にあった。大学を出て、日本橋にあった「東京産火災保険」(後に大東京火災海上、現あいおい損害保険)に勤務していた模様。雰囲気として、裕福な環境にあったものと思われる。山田本人の年齢は不詳であるが、昭和12年頃は、30歳ぐらいではないかと推定する。

昭和12年10月に近衛師団近衛歩兵第四連隊に入隊(図-2)。陸軍輜重兵特務二等兵(後に上等兵まで昇進)(注1))として第三中隊加藤隊に属す。加藤隊とは近衛師団第十四陸上輸卒隊(注2)のことで、その隊長が陸軍歩兵中尉加藤正毅であった。

日中戦争開戦により上海増派が決まると、近衛師団の第十一から第十五までの5個の陸上輸卒隊は、10月20日付で第一船舶輸送司令官(注3)の指揮下に入り、8月に上海に上陸した第六碇泊場司令部(注4)が第一船舶輸送司令官の指揮下に入ると、山田のいる第十四陸上輸卒隊(加藤隊)は第六碇泊場に配置され、11月には上海に移動。この第六碇泊場の司令官が北澤貞次郎陸軍大佐であった。したがって、多くの手紙の差出住所として書かれている上海派遣軍北澤部隊加藤隊とは、上海派遣軍第一船舶輸送司令官所属第六碇泊場第十四陸上輸卒隊という意になる。

加藤隊は10月、広島にて渡航準備中で、この時から山田は「本部付」となり、隊長付書記として常に加藤隊長の傍にいて陣中日誌の作成などの記録業務に従事することになった。上海においては、船舶から荷受けなどの輸送任務にあたっていた部隊の本部付という立場は、日華連絡船との接触にはかなり有利な立場だったものと思われる。

山田の部隊は、昭和15、16年頃に哈爾濱に移動し満州勤務となったため、山田は上海から手紙を差出す機会を失ったが、そこでも手紙を軍事郵便の航空便を利用して交換している。そして山田自身は、終戦とともに一早く復員でき、目黒区中目黒に居を構えたようである。

(注1) 陸軍輜重兵

戦闘行動に際して重要な兵站業務において、食料、武器弾薬などの物資の輸送を行う雑卒である輜重輸卒(のちに特務輜重兵と改称)を警備、管理、監督する兵隊。但し、旧陸軍内部でも「輜重兵」と「輜重輸卒」は明確に区別されていなかった。後方任務に就いていたので武装は軽装備だった。

(注2) 陸上輸卒隊

陸上において輜重輸送に携わる輜重輸卒の部隊。師団ごとに編成されていた。

(注3) 第一船舶輸送司令官

日中戦争開戦により昭和12年8月に組織された陸軍の船舶と鉄道による輸送業務を担当する有事の組織。海運基地であった広島県宇品に司令部が設置された。

(注4) 第六碇泊場司令部

碇泊場は、その地の船舶輸送業務を実施するため、外地の主な港湾を海運主地として設けた組織。日中戦争初期において、上海、南京等の中支には、第二、第四、第五、第六、第七、第十、第十四、第十七及び第二十の碇泊場司令部が配置された。

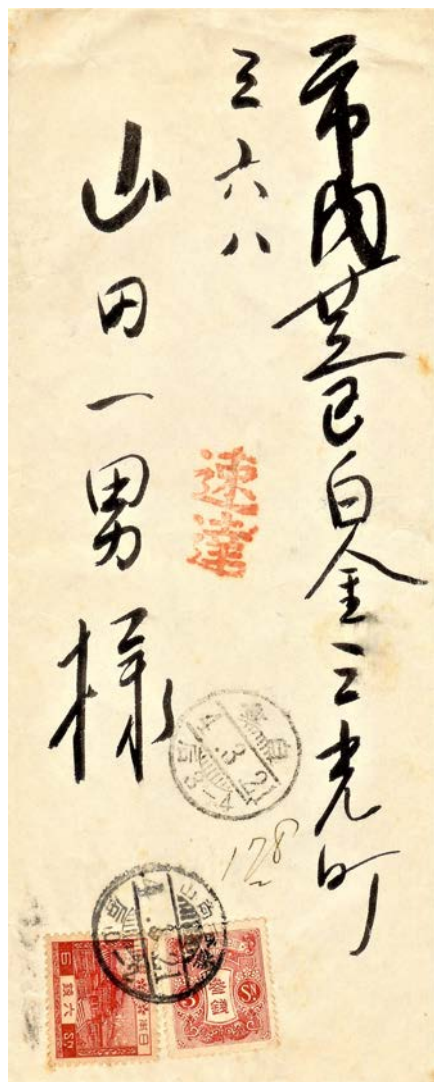


図-1 芝居白金に居住時期の山田宛速達便
渋谷向山 昭和4年3月21日 后0-2
→ 白金 昭和4年3月21日 后3-4

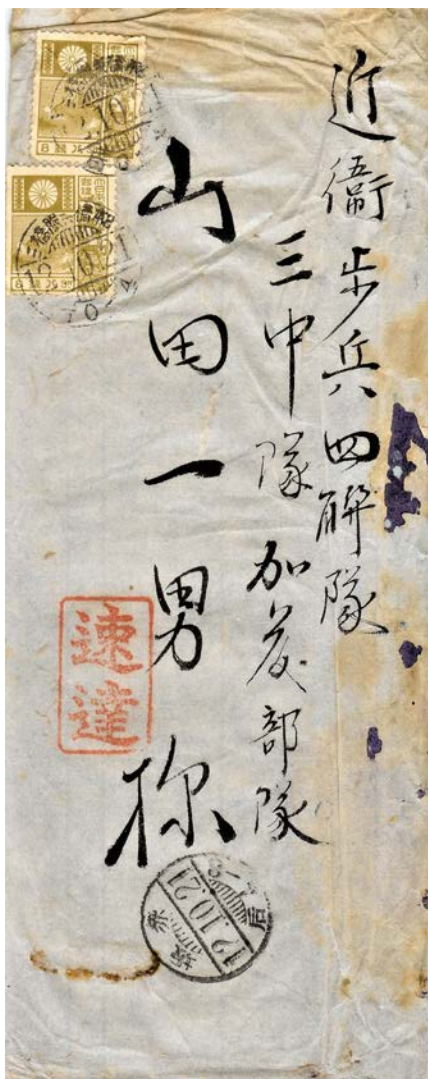


図-2 近衛歩兵連隊に応召直後の山田宛速達便
日本橋呉服橋 昭和12年10月21日 后0-4
→ 赤坂 昭和12年10月21日 后4-8

2. 日華（日支）連絡船

日華連絡船は、日本郵船の長崎丸と上海丸（注5）が、長崎と上海間を定期的に交互就航する定期航路で、大正12（1923）年2月11日に長崎から上海に向かって出港した長崎丸を第一便として始まった。翌年から昭和13（1938）年までは神戸港を起点として4日に一回の運行であったが、日中戦争開戦により上海から引き揚げる日本人の乗船が増えたため、昭和13（1938）年3月に長崎を起点とすることに変更され、神戸・長崎間は休止となった。また、昭和14（1939）年8月に国策会社である東亜海運が設立されると、航路は日本郵船から東亜海運に移管され、船は日本郵船からの現物出資の形で東亜海運に移籍した。

主題の昭和12年～14年より1年ずれているが昭和15年11月の時刻表によれば、長崎発と上海発ともに2日もしくは3日おきに、同日、長崎発は午前11時、上海発は午前10時に出港し翌日午後上海と長崎に到着することになっている。（ただし、時間の変更は、多々あり。）

（注5）長崎丸と上海丸

上海丸と長崎丸の概要は、いずみ377号の安藤さんの記事を参照。

なお、上海丸の船内局の閉局は不明となっているが、実質的に昭和18年10月30日である。同年10月29日午後2時に上海：滙山碼頭を出港して長崎に向けて航海中の30日午前4時30分頃に、余山の東北50哩（約92km）の地点で、台湾から上海に向かう軍用船崎戸丸と衝突し、5時18分に沈没したことによる。

また、日華連絡船として昭和16年10月に神戸丸が就航したが、本稿の主題の期間には間に合っていない。

3. 上海における船内局

(1) 船内郵便局の原則的な性格

外国航路の貨客船は、公海を航行中は船籍国の領土とみなされるので、船籍国の主権で業務が処理される。しかし、外国の領海（碇泊港を含む）ではその国の主権下に置かれるので、船籍国の主権が及ばない。

つまり、日本の貨客船に設置された船内局の業務は、公海上では日本の内地郵便局として業務を行うが、外国領海内ではその業務を行うことができないため、船内局を閉鎖しておく必要がある。一方、船内局の外側に設置された郵便ポストの口は封止する必要はなく、そのため乗船中の人は、ポストに郵便物を投函することができる。この場合に注意が必要なことは、公海上で船内局が受け付けたりポストに投函する郵便物には日本切手を貼付するが、外国の領海上でポストに投函する郵便物には、その外国の定める郵便料金に従ってその国の切手を貼付しなければならないことである。

以下に、本稿に関係する昭和 12 年 1 月 29 日公達第 51 号の「外国航路船内郵便局郵便取扱規程」の定めを掲げておく。

第 5 条 郵便函は当該船舶の出港及び入港の際必ずこれを開き郵便物を取り出すべし。

第 6 条 船内局長は当該船舶の航海状況その他を考慮し、別に告示する 1、2 等郵便局の郵便窓口取扱時間に準じ郵便窓口取扱時間を定むべし。
前項の取扱時間は之を局前に掲示すべし。

第 7 条 書留若しくは価格表記通常郵便物又は小包小包郵便物を引受けたときは全て外国書留郵便物引受簿、外国価格表記書状及び箱物引受簿又は外国小包郵便物引受簿を用いて成規の手続きを為すべし

第 8 条 締切時刻はなるべく当該船舶の入港時刻に近接して之を定むべし。但し入港前 1 時間を超過すべからず。
前項の締切時刻は之を局前及び郵便箱に掲示すべし。

因みに、長崎丸と上海丸の船内局は、2 等郵便局であった。

(2) 上海における長崎丸と上海丸の船内局の実態

漸く本論に到達した。まず、本稿末の表 -1 を再度ご覧いただきたい。

表には昭和 12 年 12 月以降のものがリストされているが、上海に上陸後の山田一男は、日華連絡船が入港の都度、手紙を差出しているようである。本部付の記録係のような役目柄、普通の兵隊より自由度が高かったと見えて、2 日乃至 3 日に 1 回入港する連絡船に、乗船して手紙を預けることができたのであろう。彼は大変な手紙魔だった。父や妹にも頻繁に手紙を寄越すよう、そして早い方が良いのでできるだけ速達で送れと書き送っている。（実際、彼らは、内地から上海宛には速達の取扱制度がないので、軍事郵便扱いの航空便で送っている。）

当然、山田自身も数多く速達便を使っている。船内局は内地と同じ取扱いであり、12 年 8 月 16 日から速達制度は内地全域に拡大されたことに伴い、理屈上、船内局でも内地宛の速達が引受可能だったからである。

しかし、疑問がいくつかある。列記してみる。

- ① 山田は、手紙を船内局に直接持ち込んだのか？であれば、船内局の窓口が開いていたことになる。山田は、船内局のポストに投函したのだろうか？
- ② 本来であれば、日本切手は使えないはずで、中国切手を貼る必要があったはず。
- ③ 長崎局、下関局、門司局で引受けた速達があるのはなぜか？
- ④ 日本切手を、どのように調達したのであろうか？

まず、①と②については、アジア歴史資料センターで公開している為替業務に関する資料により、回答が見つかった。

図-3 は、「日支連絡船船内局ノ上海碇泊中開局に関する件」の1～2 頁目の資料で、昭和 13 年 5 月 28 日付の通信省郵務局長から熊本通信局長宛の通知文案である。

「諸種の事情に鑑み、本件船内局は上海碇泊中は成規のとおり、之を閉鎖せしめられたく。尤も閉鎖後迄に約二週間の広告を局前に掲示する等、従来の利用者をしてこれが閉鎖に伴い必要とする準備を為さしめ得る様、取り計らい相なりたく。 追って、各局の閉鎖実施月日を報告相成りたく。」

図-3 アジア歴史資料センターの資料
「日支連絡船船内局ノ上海碇泊中開局に関する件」(レファレンスコード A09051588700)

図-4 は、昭和13年7月4日付で陸軍から東京貯金局に宛てた文書「上海有恒路郵便局小為替受払事務取扱開始に関する件」の1頁目で、

「最近、上海在住日本人にして日本国内国小為替の振出を請求するもの往々これあり、事変以来、便宜利用者に開放し居りたる日華連絡船舶内局は、本月10日限り閉鎖せらるることと相成り候につきては、閉鎖後における便宜措置を講ずる要、これあり候。」

とあり、2頁目以降では、具体的な対策（中国郵政当局の承認を得て、中国局である上海有恒路郵便局に日本国の為替事務を長崎県の一郵便局と見做して業務を委託する案）を提案している。

これに対して東京貯金局では、これを承認して、上海有恒路郵便局が日華連絡船舶内局と精算するため、船内局は長崎出港時に仮払金2000円を受けること、と通知した。（「日華連絡船舶内局資金に関する件」）

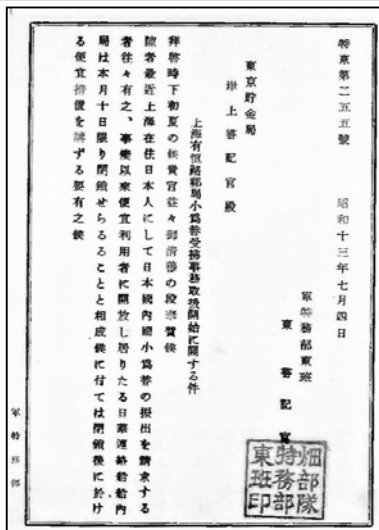


図-4 アジア歴史資料センターの資料
「上海有恒路郵便局小為替受払事務取扱開始
に関する件」
(レファレンスコード A09051588500)

何のことはない、日華連絡船の船内局は、昭和12年7月の日中戦争開戦以来、上海の日本人居留民の便宜を図る目的で上海碇泊中も開局して、日本人に開放していたのである。

通信当局は、碇泊中の開局が成規（正規）ではないこと、主権侵害であることを認識していたことが図-3の資料から読みとれ、「諸種の事情に鑑み」とは、中国の主権を無視した行為は国際法で問題ありという抗議が、中国からあったためと思われる。

図-4の文書によって、7月10日で閉局が決まったことが分かる。これら資料は為替・貯金事務（船内局の業務の一つ）の取扱いについてのものであるが、開局していれば、当然に郵便業務も取扱っていたであろうことは否定できない。しかも、日本切手を使用して。

したがって、山田一男は、船内に立入り、速達郵便ほかの郵便物を、船内局設置の郵便ポストに投函したり船内局の窓口に出すことができたのである。船内局差出しの証拠は、図-5の上海丸の1938（昭和13）年3月19日の欧文印が押された速達書留郵便物受領証（表のリスト17）である。

外国郵便用の様式になっているのは、前掲の「外国航路船内郵便局郵便取扱規程」第7条のとおりである。

この受領証は、上海丸船内局の窓口に出ささない限り、残り得ないのである。なお、赤字で¥50-は、後世の記入か？

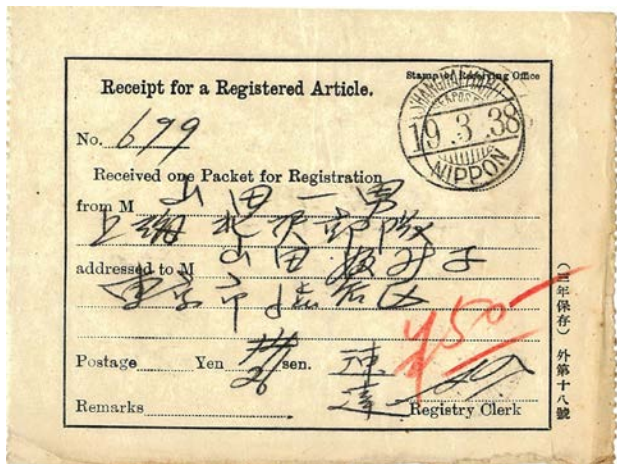


図-5 書留速達郵便物受領証 リスト 21、SHANGHAI—MARU 19.3.38

リスト 46 の重量オーバーによる未納不足の取扱
い例 (図-7、ヤフオクの画像を借用。船内局の未納
不足印は珍しい。) は、この時期に船内局が直接引受
けていない証拠になる。窓口で引受けていれば重量
を計るので、料金不足は起こりえないはずなので。

繰り返すと、日華連絡船の船内局は、昭和12年
7月の日中戦争開戦を契機として上海碇泊中も開局
していたので、昭和13年7月10日までは船内局に
郵便物を直接持ち込むことができた。7月11日以降
は閉鎖された船内局に設置したポストに投函したか
若しくは有恒路郵便局に預けたかのどちらかという
ことであるが、後者の問題は未解決である。

なお、上海碇泊中の船内局開局について、開局を
指示した指令文書などの資料も不明である。しかし、
12年2月の船内局設置は、むしろ上海碇泊中での業
務遂行を始めから企図してのことだったのではない
か、そんな疑いを覚える。

ところで、安藤さんは速達の引受けについて、「上
海港内のポストに投函した」とされているが、戦場
となっている上海の埠頭などにポストが設置されて
いたとは考えづらい。また船内局の場合は、鉄道郵
便で「駅前のポストに投函されたもの」というケース
ほど単純ではなかったと思う。

また、小坂彰宏さんは、上海に碇泊中の船内局に
関しても調査研究を進めておられるが、貼付すべき
切手の一般論について、小坂さんの2019年7月4
日のブログ記事が示唆に富んでいるので、紹介させ
ていただく。

「郵便函 (ポスト) については船内局員が管理し、寄港
中も禁止されない限り閉函せず、投入を受け付けます。

郵便物に貼付する切手は寄港地国のものであって、料金が合致しているのを確認後、寄港地の郵便局
へ引き渡すことになります。もし寄港地国の切手が入手困難であれば日本切手を使用しても受理しま
す。開函時、船内局員は国内の鉄道郵便局のように、船の行先を念頭に郵便物を選別し、この船で通
送した方が速達の見込めるものは再度郵便函へ戻します。そして公海上でふたたび開函した際、日本
切手貼郵便物を除き、原則<PAQUEBOT> 証示をおこなうのです。」

この小坂さんの、外国寄港地での日本切手使用については、日本郵船の『日本郵船事務部員必携
上巻』の記述が参考になるので、本稿末に図-16として示しておく。



図-7 リスト 46 未納不足6銭 上海丸郵便局
SHANGHAI - MARU 30.11.38 金属印
→渋谷 13年12月2日
(ヤフオクの画像から)

次に、③の、長崎局、下関局、門司局で引受けた速達があるのはなぜか？という点についてである。

まず長崎局の例は複数あるが、単純に、船内局での押印が漏れたまま長崎局に引き渡されたから、ということで良いと思う。

また、下関、門司局の場合は、上海から両地に向かう他の便船や陸軍の御用船に託されて、バクボーの如く両局に引渡されたからではないかと考える。これらの御用船は、通常でも軍事郵便の運搬にも携わっていたはずなので、日華連絡船が碇泊していないときに軍事郵便ではない郵便物を御用船に託すのは、輸卒隊の本部付であった山田には容易なことであったと思われるからである。(他の便船の例については、本稿末の図-15 参照)

そして、日華連絡船や他の便船に託せない場合は、リスト 15, 71, 72, 75, 80-88 のように野戦郵便局から航空便で差出したようである。リスト 23 の速達便に入っていた昭和 13 年 4 月 8 日付けの手紙の文面には、「週 3 回の航空便より、船の速達で出した方が早くて安い」という記述もある。

④の、日本切手はどのように調達したのであろうか？ ということについては、まず、船内局が開局していた時期は船内局から、そしてその他の手段として軍事郵便局（野戦局）から、あるいは内地の身内からの手紙に同封されて送られてきた、ということではないかと推測する。

以上、長々と述べてきたが、山田コレスポンデンスによって上海丸と長崎丸の船内局が引受けた速達郵便物は、一覧表のとおり本稿執筆時点で一挙に 41 通もの多数が郵趣界に出回ることになった。いわば、珍品だったものが普通のものになってしまった感が否めない。



図-9 リスト 9 南京陥落 野戦局特印空押し
NAGASAKI - MARU 15.1.38 ゴム印
→渋谷 13 年 1 月 17 日

しかし、昭和 12 年 8 月 16 日以降の速達全国化によって理屈上は速達を船内局で引受けできたのに、これまで実例を殆ど見ることが無かったのは、船内から速達便を出す人も、その発想を持つ人もいなかったからではないかと思う。その点で山田一男は、稀有の存在であったし、残したエンタニアも貴重であることには間違いない。

その速達郵便物の実例は、前号で安藤さんが十分に披露されているので、筆者の方はちょっと変わったもの 3 点 (図-9 ~ 11) を紹介する。

また、図-14 ~ 15 に、これまでの記述の裏付けとなる手紙を紹介しておく。

本文中の地名のヨミ等

- ・南潯路 (ナンシュンロ、ナンシュンルー)
- ・余山 (ルーシャン) 島

東シナ海、黄海、長江河口の合流点に位置する、上海で最も東の島であるが、あまり知られていない(上海で標高 90 メートルと最も高い山である松江区の「余山」とは異なる。名前が同じだけ。)。東西方向に分布する 3 つの島礁で構成され、東西は長さ約 500 メートル、北と南は幅約 200 メートル。島全体の面積は約 0.037 平方キロメートルで、最大標高は 63.5 メートル。島には居住者はおらず、中国領海の基点所在地である。アヘン戦争の初期にはイギリスに占領され、その後、日本が占領し、第二次世界大戦後は中国に返還された。

- ・有恒路 (ユーハンロ、ユーハンルー)
- 余杭路 (ユーハンルー)
- ・滙山碼頭、匯山碼頭 (フィシャンマトウ)
- ・黃浦江 (ホアンブージアン)
- ・虹口 (ホンコウ)



図-8 日本人街があった上海虹口区あたり (左：現在 右：昭和7年頃)



日本人居住区と日本郵船の埠頭は、虹口地区が主だった。長江を60海里遡上した呉淞口で長江に合流する黄浦江を、さらに12海里遡ったところにある。
 余山は、長江河口近くの黄海に浮かぶ小島。
 南潯路も有恒路も街路の名称である。
 有恒路に面した有恒路郵便局は、埠頭から少し離れている。



図-10 リスト25 消印漏れ消印
SHANGHAI - MARU 7.6.38 金属印 (薄消し)
→ 渋谷 13年6月10日

図-11 リスト66 長崎局の引受け

長崎 14年5月4日 → 渋谷 14年5月5日

5月3日に同時に出されたリスト65の速達便は、長崎丸船内局印で消印されたが、こちらの方は消印されないで長崎局に引き渡されたため、長崎局で引受け処理をしたもの。



また、山田コレスポンドンスではない長崎丸から差立てた郵便区市外宛の速達便（図-12）を以前から所有していたので、この機会に紹介しておきたい。

一覧表を眺めていて気が付くことは、上海丸は一例を除き金属印のみで、長崎丸は金属印とゴム印の両方を同じくらい使用していることである。長崎丸は、航海によって双方を使い分けていたのか、乗務員の好みによるものなのかは判然としないが、リスト 27 と 28 では同日の引受で両方を使い分けているのも興味深い。

次に、日華連絡船の運行船について、恋人堀金春子に宛てたリスト 43 の昭和 13 年 11 月 12 日付けの手紙（図-13、次ページ）の文面に面白い記述があるので、書き出してみる。

「6 日に着いたお二人の手紙に対する返事は 6 日夜にペンをとったので、7 日の長崎丸（郵便船で上海丸と共に上海航路となっています。それに今度、神戸上海間の大洋丸などがあり、都合 3 隻が連絡船になっているのです。）に託すことができました。」

大洋丸？ 東洋汽船、日本郵船のもとで北米航路に就航した大洋丸が、東亜海運によって上海航路に就航したのは、『日本船内郵便局印図録』（2018 年、日本郵趣協会）によれば昭和 14 年 10 月 26 日からである。日本郵船では、休止されていた神戸長崎間（神戸寄港）の再開を 13 年 5 月に発表していたが、長崎起点にこだわる長崎商会議所ほか九州各方面からの猛反対によって断念した経緯がある。

また、『軍事郵便便送に関する件、レツファレンスコード C01001760800』によると、日本郵船は、運送命令により 13 年 7 月 1 日から「阪神上海線、横浜上海線による軍事郵便の運送」、14 年 4 月 1 日からは運送命令の更改により「上記 2 線と上海臨時線での、大阪と門司からの軍事郵便の運送」を始めている。

山田の記述が誤りとも断定しがたく、既に 13 年 11 月頃には、これらの航路に大洋丸が就航していたのかもしれないのかもしれないと考えていたところ、この点について伊藤則夫氏から、大洋丸は、昭和 13 年 10 月 1 日神戸発から「神戸上海間」を運行したとのこと教示いただいた。

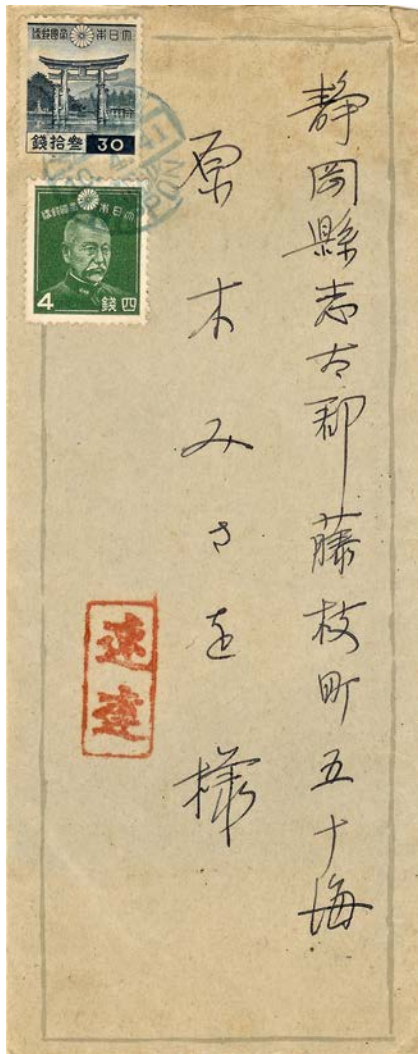
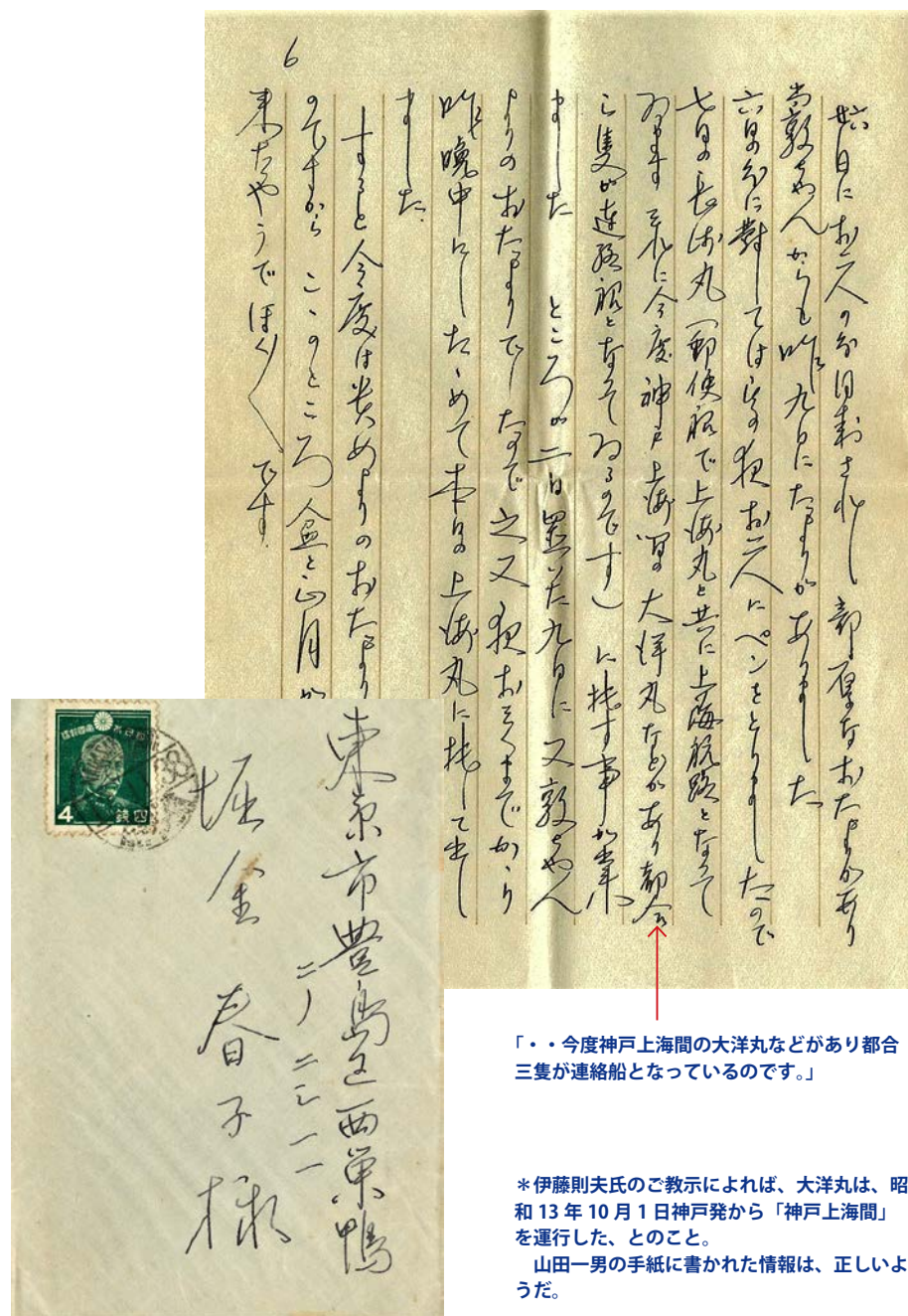


図-12 長崎丸引受けの郵便区市外宛の速達
NAGASAKI - MARU 10.4.41 ゴム印（青緑色）
封筒裏面には、「四月十日、長崎にて」とあり、
長崎出港前または到着前の郵便締切前に引き受け
られたものと考えられる。

山田コレスポンドンスの速達は全て郵便区内宛（速達料 8 銭）であるが、これは、郵便区市外宛（速達料 30 銭）である。但し、到着印がないのが残念。消印はゴム印で、印色は青緑である。

図-13 昭和13年11月12日差出の手紙(リスト23)から



「・・・今度神戸上海間の大洋丸などがあり都合三隻が連絡船となっているのです。」

*伊藤則夫氏のご教示によれば、大洋丸は、昭和13年10月1日神戸発から「神戸上海間」を運行した、とのこと。

山田一男の手紙に書かれた情報は、正しいようだ。

図-14 昭和13年4月8日差出の手紙(リト43 齋享氏蔵)から

昭和13年4月8日の朝に、上海から日華連絡船、他の便船または人に託したと思われるが、13年4月12日午後0-4（局名不明）の消印が押され、渋谷局の同日午後8-12の到着印が押されている。引受局の局名は「大阪築港」のようにも見えるが、どうだろうか？

仮に大阪築港であれば、大阪后 0-4 が東京に同日后 8-12 で到着したとすれば、東京福岡間の航空線路（昭和 13. 4.1 ~ 13.9.30）に載せれば不可能でもない。

大阪築港局引受 后 0-4 押印

↓

大阪中央局中継

大阪・伊丹空港発 17:20

東京・羽田空港着 19:40

↓

東京中央局中継

↓

渋谷局到着 后 8-12 押印

[illegible]

「礼状を航空便とは思いましたが週に三回の航空便よりか明朝 速達で出した方が安くて早いと思い速達にしました。」



＊昭和 13 年当時、日本郵船の「阪神上海線」が大阪築港、神戸、上海を運行しており、4 月 12 日は、上海からの第 18 御影丸が大阪築港に入港予定だった。

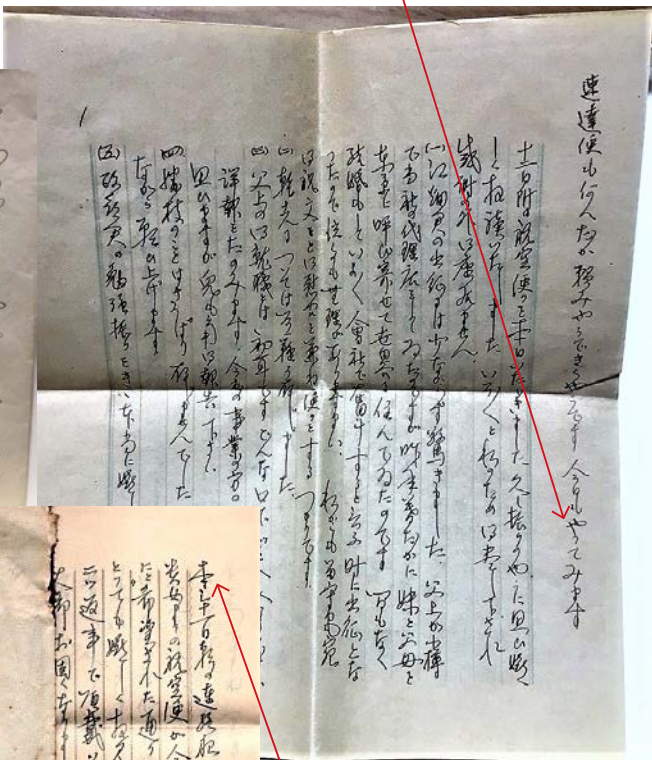
*大阪朝日新聞の大阪築港出入船（伊藤則夫氏提供）

図 -15 昭和 13 年 7 月 18 日差出の手紙 (リスト 29 斎享氏蔵) と昭和 14 年元旦と昭和 13 年大晦日の連絡船投函

7 月 11 日から上海碇泊中の連絡船船内局が閉鎖されたため、山田一男は、船内局関係者もしくは有恒路郵便局関係者に、速達便の引受が可能かどうか聞いて頼んでみたようである (7 月 15 日付、リスト 28 か?)。その結果、預かってもらったので、「今日 (7 月 18 日) もやってみます。」という表現になったのであろう。

実際に、その後も、船内局引受けの速達便が多数差出されており、ポスト投函もあったようである。

SHANGHAI-MARU
18.7.38 (金属印)

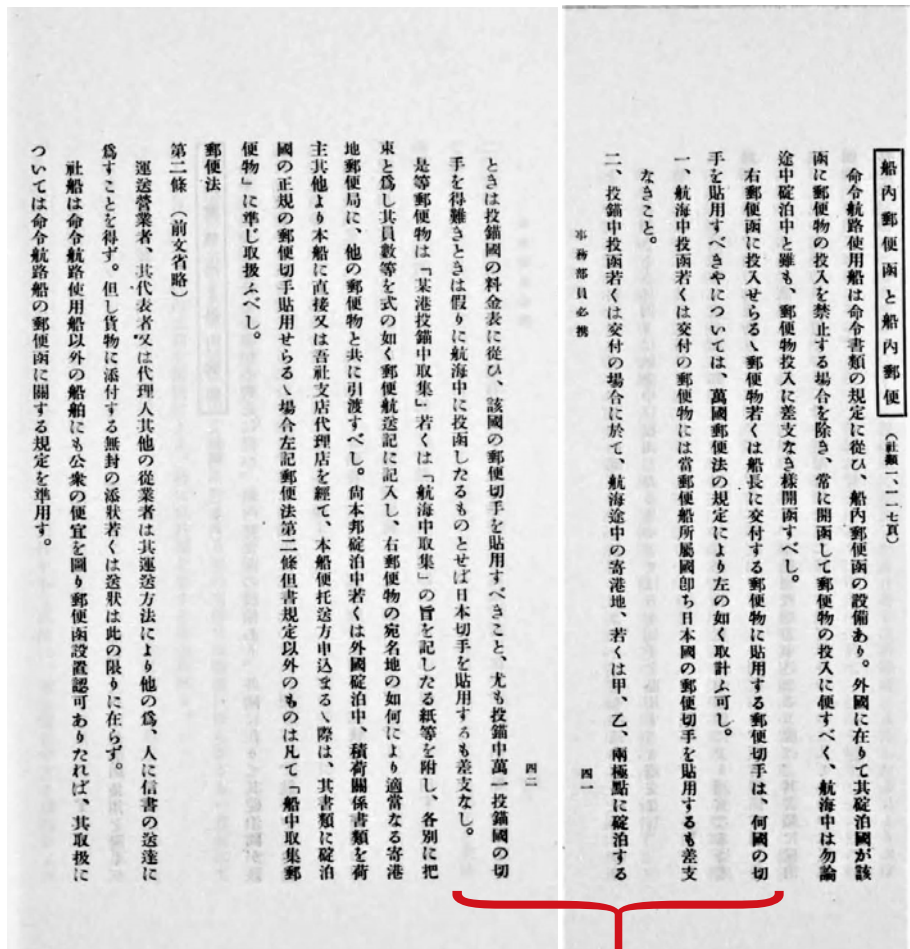


昭和 13 年大晦日に書かれ、14 年元旦に長崎丸船内局のポストに投函して 2 日に引受けられた手紙。「本三十一日朝の連絡船で投函しましたら、予定通り二十九日に出された航空便が今夕届けられました。」このことから、14 年になっても、乗船して船内局へのポスト投函が可能だったことが分かる。
NAGASAKI-MARU 2.1.39 (金属印)

13 年 12 月 31 日に投函したと手紙に書かれている、上海丸引受け便
SHANGHAI-MARU 31.12.38 (金属印)



図 -16 日本郵船事務部員必携上巻 (庶務編) 昭和 10 年版 41~42 頁



この部分の記述は、日本郵船社類 (社内規程集) 1117 頁掲載の「外国航船備附ノ郵便函ニ投入シ若クハ船長ニ交附スル郵便物ニ貼用スル郵便切手ノ件」(明治 32 年 6 月客郵 22 号) と同じ。

次ページから『山田コレスボンデンスの上海差出郵便物一覧』を掲載 (2020 年 3 月 5 日現在。水色の網掛けは、筆者蔵。)

	差出地	裏面書込日付	宛名	郵便種別	引受局	消印日付	曜日
1	(書込の有無不明)		山田勝枝	(普通)	上海野戦局	12年12月	
2	上海派遣	(書込なし)	山田勝枝	(普通)	上海野戦局	12年12月	
3	上海派遣軍	12月18日	山田社竜	速達	長崎	12年12月19日	日
4	上海派遣軍	12月18日	山田勝枝	速達 (表示なし)	長崎	12年12月19日	日
5	上海派遣	(書込なし)	山田社龍	速達	上海丸	12年12月29日	水
6	(書込の有無不明)		山田勝枝	速達	上海丸	12年12月29日	水
7	上海派遣	(書込なし)	山田社竜	(普通)	長崎丸	13年1月4日	火
8	上海派遣	(書込なし)	山田勝枝	速達	上海丸	13年1月13日	木
9	上海派遣	(書込なし)	山田社龍	速達	長崎丸	13年1月15日	土
10	上海派遣	13年1月18日	山田勝枝	速達	上海丸	13年1月18日	火
11	上海派遣	(書込なし)	山田勝枝	(普通)	長崎丸	13年1月20日	木
12	上海派遣	(書込なし)	山田社竜	速達	長崎丸	13年1月20日	木
13	上海派遣	(書込なし)	山田勝枝	速達	上海丸	13年1月23日	日
14	上海派遣	(書込なし)	山田社竜	速達 2 倍重量	長崎丸	13年2月10日	木
15	上海派遣軍	2月13日	山田社竜	航空便	第四野戦	13年2月13日	日
16	上海		山田ふみ子	書留	長崎丸	13年2月14日	月
17	上海		東京朝日・木村	書留	長崎丸	13年2月14日	月
18	(書込の有無不明)		山田社龍	速達 3 倍重量	上海丸	13年2月26日	土
19	上海派遣	(書込なし)	山田社竜	速達	長崎丸	13年3月2日	水
20	(書込の有無不明)		山田社龍	速達 2 倍重量	上海丸	13年3月4日	金
21	上海派遣	—	山田ふみ子	速達 2 倍重量書留	上海丸	13年3月19日	土
22	上海派遣	4月10日	山田社龍	速達 2 倍重量	長崎丸	13年4月11日	月
23	上海派遣	4月8日	山田社竜	速達	大阪築港	13年4月12日	火
24	上海にて	6月4日	山田勝枝・社龍	速達 2 倍重量	長崎丸	13年6月5日	日
25	上海にて	6月7日	山田社龍	速達 2 倍重量	上海丸	13年6月7日	火
26	(書込の有無不明)		山田社龍	速達 2 倍重量	上海丸	13年6月15日	水
27	上海にて	7月15日朝	山田勝枝	(普通)	長崎丸	13年7月15日	金
28	上海にて	7月15日朝	山田社竜	速達	長崎丸	13年7月15日	金
29	上海にて	7月18日	山田社龍	速達	上海丸	13年7月18日	月
30	上海にて	7月20日	山田社竜	速達	長崎丸	13年7月21日	木
31	上海にて	(書込なし)	山田社龍	速達 2 倍重量	(上海丸)	13年7月23日	土
32	上海にて	8月29日	堀金春子	(普通)	長崎丸	13年8月29日	月
33	上海にて	9月1日	山田勝枝	速達 2 倍重量	上海丸	13年9月1日	木
34	上海にて	9月3日	山田社龍	速達	長崎丸	13年9月3日	土
35	上海にて	9月8日	山田社龍	速達	長崎丸	13年9月8日	木
36	上海にて	9月11日	山田社龍	速達	上海丸	13年9月11日	日
37	上海にて	9月23日	山田勝枝	(普通)	長崎丸	13年9月23日	金
38	上海にて	10月8日朝	山田社龍	速達	長崎丸	13年10月8日	土
39	上海にて	10月11日	山田社龍	速達 2 倍重量	上海丸	13年10月17日	月
40	上海にて	10月16日	山田社龍	速達	上海丸	13年10月26日	水
41	上海市	(書込なし)	山田社龍	速達 2 倍重量	長崎丸	13年10月28日	金
42	上海市	11月10日	山田社龍	速達	上海丸	13年11月10日	木
43	上海市	11月12日	堀金春子	(普通)	長崎丸	13年11月12日	土
44	上海	11月20日	山田社龍	速達	上海丸	13年11月20日	日
45	上海市	11月22日	山田勝枝	(普通)	長崎丸	13年11月22日	火
46	上海市	11月30日	山田社龍	速達 2 倍重量	上海丸	13年11月30日	水

形式	到着局	日付	備考
特印	—		切手なし無料
特印	—		特印は中の便箋に押印、切手なし無料
和文	渋谷	12 年 12 月 20 日	田沢 3 銭 4 枚貼り 南京陥落特印 12.12.17、速達証示ゴム印、軍事郵便証示
和文	渋谷	12 年 12 月 20 日	風景 10 銭・乃木 2 銭貼り
欧文金属 (着印なし)			東郷 4 銭 3 枚貼り、赤 2 本線封筒 (安藤氏蔵)
欧文金属 (着印の有無不明)			東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭
欧文金属	渋谷	13 年 1 月 15 日	風景赤白紙 10 銭・乃木 2 銭 1 枚貼り
欧文ゴム	渋谷	13 年 1 月 17 日	風景赤白紙 10 銭・乃木 2 銭貼り、速達番号 404、速達証示ゴム印
欧文金属	渋谷	13 年 1 月 20 日	富士鹿 4 銭 1 枚東郷 4 銭 2 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文ゴム	渋谷	13 年 1 月 22 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、速達表示ゴム印
欧文金属	渋谷	13 年 1 月 25 日	東郷 4 銭 3 枚貼り (安藤氏蔵)
欧文ゴム	渋谷	13 年 7 月 17 日	東郷 4 銭 4 枚貼り ジャパン オーク 20191207
和文	渋谷	13 年 2 月 16 日	10 銭 3 枚 4 銭 1 枚貼り
欧文ゴム	—		書留引受受領書、番号 859、料金 14 銭
欧文ゴム	—		書留引受受領書、番号 860、料金 14 銭 (小坂氏蔵)
欧文金属 (着印の有無不明)			風景 10 銭 2 枚貼り (小坂氏蔵)
欧文ゴム	渋谷	13 年 3 月 4 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、速達表示ゴム印
欧文金属 (着印の有無不明)			10 銭 4 銭 2 銭 (スー 2019 年 10 月に再出品あり)
欧文金属	—		速達書留引受受領書、料金 26 銭
欧文ゴム	渋谷	13 年 4 月 1 ? 日	東郷 4 銭 4 枚貼り
和文	渋谷	13 年 4 月 12 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、日本郵船阪神上海線第 18 御影丸による運搬、大阪から航空機輸送
欧文ゴム	渋谷	13 年 6 月 6 日	東郷 4 銭 4 枚貼り、渋谷局棄損修補
欧文金属	渋谷	13 年 6 月 10 日	東郷 4 銭 4 枚貼り、渋谷局の消印漏れ消印
欧文金属	渋谷	(不鮮)	東郷 4 銭 4 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文ゴム	渋谷	13 年 7 月 17 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	渋谷	13 年 7 月 20 日	東郷 4 銭 4 枚貼り (斎享氏蔵)
欧文ゴム	渋谷	13 年 7 月 27 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、速達表示角型ゴム印及び手書き
欧文金属 (渋谷)		13 年 7 月 25 日	東郷 4 銭 4 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭 1 枚貼り
欧文金属	渋谷	13 年 9 月 3 日	東郷 4 銭 4 枚貼り
欧文ゴム	渋谷	13 年 9 月 6 日	東郷 4 銭 3 枚貼り (安藤氏蔵)
欧文ゴム	渋谷	13 年 9 月 10 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	渋谷	13 年 9 月 13 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文ゴム (着印なし)			東郷 4 銭 3 枚貼り、速達番号 538 (安藤氏蔵)
欧文金属	渋谷	13 年 10 月 18 日	東郷 4 枚貼り
欧文金属 (着印なし)			東郷 3 枚貼り、速達番号 30
欧文ゴム (着印なし)			東郷 4 枚貼り、速達番号 405 (安藤氏蔵)
欧文金属	渋谷	13 年 11 月 12 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文金属	渋谷	13 年 11 月 22 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文金属	渋谷	13 年 12 月 2 日	上海東郷 4 銭 3 枚貼り、上海丸未納不足 8 銭

	差出地	裏面書込日付	宛名	郵便種別	引受局	消印日付	曜日
47	上海市	12月10日	山田社竜	速達	下関	13年12月11日	日
48	上海(市)	(書込なし)	山田勝枝	(普通)	長崎丸	13年12月19日	月
49	(書込の有無不明)		山田社龍	速達	長崎丸	13年12月23日	金
50	上海にて	12月31日	堀金春子	(普通)	上海丸	13年12月31日	土
51	上海にて	昭和14年元旦	堀金春子	(普通)	長崎丸	14年1月2日	月
52	上海にて	(書込なし)	山田社竜	速達	上海丸	14年1月11日	水
53	上海にて	(書込なし)	山田社龍	速達	長崎丸	14年1月12日	木
54	上海にて	2月12日	堀金春子	(普通2倍重量)	長崎丸	14年2月12日	日
55	上海にて	2月15日	山田社龍	(普通2倍重量)	上海丸	14年2月15日	水
56	上海にて	(書込なし)	山田勝枝	(普通)	長崎丸	14年2月17日	金
57	上海にて	2月22日	山田勝枝	(普通2倍重量)	長崎丸	14年2月22日	水
58	(書込の有無不明)		山田よう・勝枝	(普通)	長崎丸	14年3月4日	土
59	上海にて	3月7日	山田勝枝	速達	上海丸	14年3月8日	水
60	上海にて	(書込なし)	堀金春子	(普通2倍重量)	(長崎丸)	(14年?3月9日)	木
61	上海にて	(書込なし)	山田勝枝	(普通)	長崎丸	14年3月14日	火
62	上海丸にて	(書込なし)	山田勝枝	(普通)	上海丸	14年4月16日	日
63	上海にて	(書込なし)	山田勝枝	(私製葉書)	上海丸	14年4月26日	水
64	(書込の有無不明)		堀金春子	(普通)	上海丸	14年4月26日	水
65	上海にて	5月3日	堀金春子	速達	長崎丸	14年5月3日	水
66	上海にて	5月3日	山田社竜	速達	長崎	14年5月4日	木
67	上海にて	5月7日	堀金春子	速達	長崎丸	14年5月7日	日
68	上海にて	(書込なし)	山田社竜	速達	長崎丸	14年5月11日	木
69	上海にて	5月21日	堀金春子	速達	長崎	14年5月22日	月
70	上海にて	(書込なし)	堀金春子	速達	上海丸	14年5月23日	火
71	上海派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第四二野戦	14年5月27日	土
72	上海派遣	5月29日	堀金春子	航空便	第四二野戦	14年5月29日	月
73	(書込の有無不明)		山田社竜	速達	上海丸	14年6月2日	金
74	上海にて	(書込なし)	堀金春子	速達	上海丸	14年6月2日	金
75	中支派遣	(書込なし)	山田社龍	航空便	第四二野戦	14年6月5日	月
76	上海にて	6月7日	堀金春子	速達	上海丸	14年6月7日	水
77	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百五十野戦継立所	14年6月17日	土
78	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百四一野戦	14年6月30日	金
79	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百四一野戦	14年7月3日	月
80	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百四一野戦	14年7月12日	水
81	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百五十野戦継立所	14年8月6日	日
82	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百五十野戦継立所	14年8月8日	火
83	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百五十野戦継立所	14年9月7日	木
84	中支派遣	(書込なし)	山田勝枝	航空便	第百五十野戦継立所	14年9月8日	金
85	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百五十野戦継立所	14年9月16日	土
86	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百五十野戦継立所	14年9月20日	水
87	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	第百五十野戦継立所	14年9月28日	木
88	中支派遣	(書込なし)	堀金春子	航空便	門司	14年10月10日	火
89	(書込なし)	16年8月4日	山田春子	(私製葉書)	大連中央	16年8月4日	月

<差出地の詳細>

上海派遣軍：上海派遣軍北澤部隊加藤隊本部付 (自筆)

上海派遣：上海派遣北澤部隊加藤隊 (ゴム印) 本部付 (自筆で加筆)

(13年12月頃から北澤部隊→志賀部隊に)

形式	到着局	日付	備考
和文	渋谷	13 年 12 月 11 日	東郷 4 銭 3 枚貼り 速達表示ゴム印
欧文金属	—		乃木 2 銭 2 枚貼り
欧文ゴム	渋谷	13 年 12 月 25 日	東郷 4 銭 3 枚貼り (小坂氏蔵)
欧文金属	—		乃木 2 銭 2 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文金属	渋谷	14 年 1 月 14 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文ゴム	渋谷	14 年 1 月 14 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭 2 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭 2 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭
欧文金属	—		東郷 4 銭 2 枚貼り
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文ゴム	渋谷	14 年 3 月 9 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、青印
—	豊島消印漏れ消印		東郷 4 銭 2 枚貼り、14 年 3 月 8 日夜便箋書込み、本日長崎丸入港、明 9 日に託す。上等兵代理
欧文金属	—		東郷 4 銭貼り
欧文金属	—		日光 2 銭・乃木 2 銭
欧文金属	—		乃木 2 銭、杭州野戦局風景印
欧文金属	—		日光 4 銭 1 枚貼り
欧文金属	豊島	14 年 5 月 5 日	日光 4 銭 3 枚貼り (池田駿介氏蔵)
和文	渋谷	14 年 5 月 5 日	日光 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	豊島	14 年 5 月 9 日	田沢 5 銭東郷 4 銭日光 2 銭 2 枚 速達番号縦書七七六
欧文金属	渋谷	14 年 5 月 14 日	乃木 2 銭 6 枚貼り
欧文金属	豊島	14 年 5 月 2 ? 日	東郷 4 銭 3 枚貼り
欧文金属	豊島	14 年 5 月 25 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、速達表示ゴム印、速達番号縦書五八式
和文	豊島	14 年 5 月 28 日	田沢 30 銭 1 枚軍事郵便
和文	豊島	14 年 6 月 3 日	田沢 30 銭 1 枚軍事郵便 縦書二二五
欧文金属	渋谷	14 年 6 月 4 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、東京朝日新聞封筒使用、(知) 2019 年 10 月に出品)
欧文金属	豊島	14 年 6 月 4 日	東郷 4 銭 3 枚貼り、速達表示ゴム印
和文	(着印なし)		厳島 30 銭 1 枚軍事郵便
欧文金属	(着印の有無不明)		乃木 6 枚 B 貼り 速達表示ゴム印、速達番号(縦書)式八 (知) 2020 年 2 月に再出品あり)
和文	豊島	14 年 7 月 2 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 縦書六二壹
和文	豊島	14 年 7 月 6 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 縦書八九五
和文	豊島	14 年 7 月 8 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 縦書九〇九、差出人に返送
和文	豊島	14 年 7 月 15 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 縦書〇八七六
和文	豊島	14 年 8 月 10 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 縦書八五五
和文	豊島	14 年 8 月 15 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 翌朝配達ゴム印
和文	豊島	14 年 9 月 11 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 縦書参五六
和文	渋谷	14 年 9 月 3 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便
和文	豊島	14 年 9 月 22 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 909
和文	豊島	14 年 9 月 25 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 838
和文	豊島	14 年 10 月 2 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 895
和文	豊島	14 年 10 月 10 日	厳島 30 銭 1 枚軍事郵便 896
和文機械	—		乃木 2 銭、大連旅行中

<差出地の詳細>

中支派遣：中支派遣片村部隊気付村井部隊加藤隊 (ゴム印、自筆) 14 年 5 月中旬頃
上海市：上海市南潯路一一四号 三頭洋行内

私の発見・私の報告

南方占領地マライ ペナンローマ字暫定加刷切手の加刷原版の研究

吉田 敬

1942 年 4 月（昭和 17）に、南方占領地マライのペナン州で、正規切手発行までの短期間製造された暫定加刷切手は、横 5 枚縦 5 段の 25 面の印刷版を 1 シート（100 面）に 4 回印刷したことで知られています。この加刷原版の Type 8, 14 に定常変種を発見しましたので報告します。



Type 8 PENANG の「A」に逆向き「V」



Type 14 NIPPON の前に、縦棒

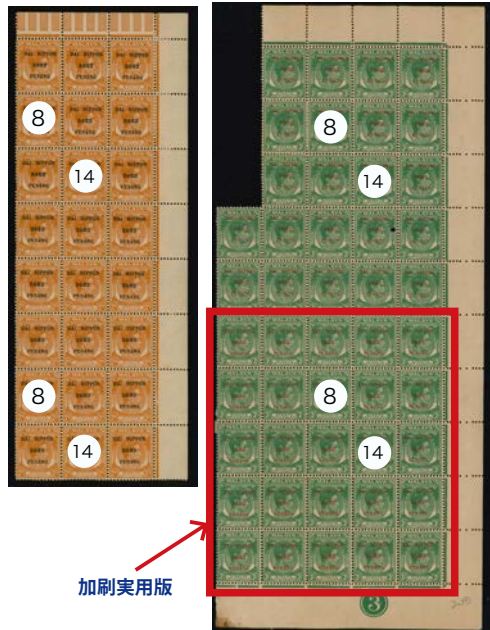
これらの定常変種の内、Type 8 は、よく知られており、JSCA にも掲載されているのですが、これまでポジションがよくわかっていませんでした。

また、Type 14 は今回、加刷実用版の 25 面を調べる中で、繰り返し出現したことから気づいたものです。

今回の発見は図のようなマルチブルの入手から判明しましたが、このマルチブルには、「NANG」抜けや「NIPPON」の「I」漏れは含まれていませんでしたので、少なくとも初回印刷分ではなさそうです。

なお、それぞれのマルチブルにおける出現位置については、数字入り白塗り円で示しました。

この切手の大型マルチブルは決してありふれているものではありませんので、今後も折に触れ、研究していきたいと思います。



加刷実用版

戦後の市内特別郵便

行徳 国宏

プロローグ

明治後半期、経済力が高まり、郵便物の取扱通数が増大してきた。各種郵便取扱への需要が高まり、記録扱いの特別取扱郵便が創設され、それらの規則類が整備されてきた。差出人が同一内容の印刷物等を同時に大量差出しするなど、郵便物の取扱状況が大きく変わってきた。当局も同時大量差出しの郵便物への引受業務に対応して郵便料金の低廉化等を講じるようになった。

そうした状況の中で、明治40年4月1日、非営利団体や業者が差し出す印刷物等で、特定の受取人を対象としないもので開封のまま差し出したものを第1種郵便物中の無封郵便扱いとし、第1種郵便料金4匁まで3銭料金に対して、10匁まで2銭という低料金を設定することになった。

明治42年11月1日、「同一郵便区市内に発著する〔全文又は大部分を印刷したる同文の有封又は無封の書状〕を同時に100箇以上差出す」郵便物として『通常郵便市内特別郵便』（通信省令第46号）を創設し、郵便規則と合せて取扱規程とを制定した。

市内特別郵便物は「差出人が同時に100箇以上差出す郵便物」であるため、以下の郵便物について特別低料金を設定することになった（第2条）。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 有封同文書状 | 重量4匁まで1銭5厘 |
| 2. 無封同文書状 | 重量10匁まで1銭5厘 |
| 3. 第3種印刷物 | 重量20匁まで4厘 |
| 4. 第4種印刷物 | 重量30匁まで5厘 |

郵便料金の支払いは前納とされ（第3条）、郵便料金相当の郵便切手を添えて差し出すこととされた（第9条）。郵便日付印の押捺を省略することがある（第10条）と定められた。

市内特別郵便物には「市内特別」の表示がされ、「差出人が同時に100箇以上差出す郵便物」であるため、切手が貼付されなかった。切手が貼付されない郵便物ゆえに、収集家には関心のないものとして受取られてきた。

「市内特別」の表示はあるが、切手が貼付されず、引受日付印もないという「無い無い尽くし」の郵便物をどのように収集したらよいのか。それには、中に印刷した通信文書が同封されていて、それに日付が印刷されたものがあるかどうか次第である。市内特別郵便物の明治年代の使用例は、雑多なエンタィアの中から見つけ出すことができる。

図0には、呉服店の「新着品の御案内」の印刷物に明治43年4月15日の日付が印刷されているので、喜んでワンコインで購入した。明治43年なら、取りあえず、市内特別郵便の初期使用と言えるだろう。



図0 明治43年4月15日

その後、郵便規則等の改正に従って郵便料金が改正されてきたが、その改正と内容が何時まで続けられたかの通信公報の調査が進んでいないし、他方現物エンタィアの入手が容易ではないことから、これ以上の言及は省略させていただきたい。文末に主題の郵便取扱規則を掲載したので参考にされたい。

戦後の市内特別郵便の復活

戦後、昭和 23 年 1 月 1 日、新郵便法・郵便規則が制定されたが、市内特別郵便の取扱は停止されていた。市内特別郵便が復活したのは、26 年 11 月 1 日に郵便法の一部が改正された時である。これ以降、市内特別郵便の取扱が復活することになった。

昭和 26 年 11 月 1 日に復活し、郵便料金が設定されたものの、料金別納又は料金後納扱いのため、貼付切手もなく、消印もなく、現物エンタィアは全く見かけない。収集する気にもならない郵便の種類であるが、郵便料金改正後に郵便規則が規定・改正され、郵便物の一種として現実に存在している以上、無視することはできない。取扱内容と現物エンタィアを発掘してその姿とを明らかにしなければならぬだろう。

1 昭和 26 年 11 月 1 日

時代が新しくなった昭和 26 年 11 月 1 日、郵便法の一部を改正する法律第 254 号及び郵便規則の一部を改正する省令第 22 号が施行されることになった。その中で、「(前段省略) 郵便利用の実情に即せしめるため、市内特別郵便制度を復活し、通常郵便物の種類を一般の利用上及び郵便局における取扱上できるだけ解りやすいものに…改める」ことになった(郵政公報号外第 46 号中の郵業第 497 号より)。

そして、郵便法第 27 条(第 5 種郵便物)に次の 1 条が以下のように加えられた。

第 27 条の 2 (市内特別郵便物の料金)

「左の条件を具備する第 5 種郵便物の料金を…5 円とする。

1. 同一郵便区内(郵便局について定められている郵便物の配達区域をいう。以下同じ。)、都の同一区内又は同一市町村内(京都市、大阪市、横浜市、神戸市及び名古屋市にあっては、同一区内)のみに於いて発着するものであること。
2. 重量が 100 グラムをこえないものであること。
3. 同一差出人から同一内容のものを同時に 100 通以上省令の定めるところにより差し出されたものであること。」

さらに、郵便規則第 37 条の 2 において、「郵便法第 27 条の 2 に規定する市内特別郵便物の取扱は、料金別納又は料金後納として差し出さなければならない。」ことになった。

ところで、昭和 36 年 6 月 1 日の郵便法・規則の改正で、「料金計器別納としての差し出し」が加えられたが、郵便料金計器の開発とその郵便物への利用拡大が始まったことに起因している。郵便料金計器による郵便物の引受について、公報から引用してみる。

郵便物の差出通数が年々増加する中、同一差出人から同時に大量の郵便物を差し出すような事態が増えてきた。当局では諸外国の料金計器メーカー及び国内で開発メーカーの計器を採用して郵便物の大量引受に対応することになった。

昭和 27 年 7 月 1 日、郵便規則の一部を改正する省令第 11 号と同郵業第 204 号とが公布された。

「郵便局における窓口引受事務の簡素化と差出人の利便をはかる目的で郵便料金納付方法の一つとして新たに郵便料金計器を利用して差出郵便局の料金を別納する制度即ち料金計器別納制度を設定」することになった。

「郵便料金計器は、あらかじめ郵便局に予納した一定金額に達するまで、郵便物にその納付郵便料金額を表示することのできる計器で、その表示金額の累計額が計器にあらわれ、且つ、累計額が予納した一定金額に達するまで」利用できるもの。

「料金計器別納郵便物は、その表面に計器により納付郵便料金額、差出郵便局名、差出年月日並びに計器の略称及び番号をあらわす印影を明りょうに表示」したものである。

27 年 9 月 10 日

- ① RF 型メータ付きピツニー・ポーズ郵便料金計器 RH 型（手動式）及び RG 型（電動式）
- ② ナショナル郵便料金計器 P1925 型
- ③ フランコタイプ郵便料金計器 CC 型

の 3 機種が許可（採用）になった。その後、同年 10 月 3 日にはハスラー郵便料金計器が許可になった。こうして、料金計器別納郵便印が市内特別郵便に取り入れられることになった。

2 昭和 36 年 6 月 1 日

昭和 36 年 6 月 1 日、市内特別郵便の料金及び取扱方法が以下のように改正された。

郵便法第 27 条の 2（市内特別郵便の料金）

左の条件を具備する第 5 種郵便物の料金は、…重量 50 グラム又はその端数ごとに 8 円とする。

1. 同一の郵便区内、都の同一区内又は京都市、大阪市、横浜市、神戸市若しくは名古屋市の同一区内のみにて発着するもの
2. 重量が 100 グラムをこえないもの。
3. 大きさが、長さ 27 センチメートル、幅 20 センチメートルをこえないもの
4. 同一差出人から、形状、重量及び取扱が同一のものを同時に 100 通（都の同一区内又は第 1 号に規定する市の同一区内のみにて発着するものにあつては 200 通）以上差し出されたもの。

また、同郵便規則の第 6 款市内特別郵便物では、

第 37 条の 2「市内特別郵便は、料金別納、料金計器別納又は料金後納として差し出さなければならない。…但し、料金計器別納として差し出すものには、料金計器による印の傍らに「市内別納郵便」の文字を明りょうに表示しなければならない」とした。

（文中のアンダーラインは従前郵便法を改正、付加した個所を示す。）

3 昭和 41 年 7 月 1 日

昭和 41 年 7 月 1 日改正の郵便法及び郵便規則は以下のように定めている。

郵便法第 27 条

左の条件を具備する第 1 種郵便物の料金は、重量 25 グラムまでのもの 12 円、重量 25 グラムをこえ 50 グラムまでのもの 16 円とし、同條第 3 項に規定するものにおいては（*）重量 50 グラムまでのもの 20 円、重量 50 グラムをこえ 100 グラムまでのもの 28 円とする。

1. 同一の郵便区内、都の同一区内又は京都市、大阪市、横浜市、神戸市、名古屋市若しくは北九州市の同一区内のみにおいて発着するものであること。
2. 重量が 100 グラムをこえないもの。
3. 大きさが長さ 27 センチメートル、幅 20 センチメートルをこえないもの。
4. 同一差出人から形状、重量及び取扱が同じものを同時に 100 通（都の同一区内又は第 1 号に規定する市の同一区内のみにおいて発着するものにおいては 200 通）以上省令の定めるところにより差し出されたもの。

（*）は定形外郵便を指す。筆者）

同郵便規則では、

「市内特別郵便物は、料金別納、料金計器別納又は料金後納として差し出さなければならない。料金計器別納として差し出すものには、郵便料金計器による印影のかたわらに「市内特別郵便」の文字を明りょうに表示しなければならない。」（第 36 条）

昭和 41 年 7 月 1 日の郵便法・規則の改正で特記しなければならないのは、この改正日から市内特別郵便物も定形と定形外とに分けられたことである。

前段が長くなったが、市内特別郵便料金表を右に纏めてみた。

市内特別郵便料金の表		
料金改正	料 金 内 訳	
26. 11. 1.	100 g までごとに	5 円
36. 6. 1.	50 g までごとに	8 円
41. 7. 1. (1966)	定 形 25 g まで	12 円
	50 g まで	16 円
	定形外 50 g まで	20 円
	100 g まで	28 円
47. 2. 1. (1972)	定 形 25 g まで	16 円
	50 g まで	20 円
	定形外 50 g まで	32 円
	100 g まで	44 円
51. 1. 25. (1976)	定 形 25 g まで	40 円
	50 g まで	50 円
	定形外 50 g まで	80 円
	100 g まで	115 円
56. 1. 20. (1981)	定 形 25 g まで	50 円
	50 g まで	60 円
	定形外 50 g まで	100 円
	100 g まで	140 円
平成 1. 4. 1. (1989)	定 形 25 g まで	51 円
	50 g まで	62 円
	定形外 50 g まで	103 円
	100 g まで	144 円
	250 g まで	206 円
6. 1. 24. (1994) 現行	定 形 25 g まで	65 円
	50 g まで	75 円
	定形外 50 g まで	105 円
	100 g まで	155 円
	250 g まで	220 円

4 昭和 47 年 2 月 1 日

郵便法第 27 条（市内特別郵便物の料金）

左の条件を具備する第 1 種郵便物の料金は、重量 25 グラムまでのもの 16 円、重量 25 グラムをこえ 50 グラムまでのもの 20 円とし、定形外郵便物にあっては、重量 50 グラムまでのもの 32 円、重量 50 グラムをこえ 100 グラムまでのもの 44 円とする。

1. 同一の郵便区（郵便局について定められている郵便物の配達区域をいう。）内のみにて発着するものであること。
2. 重量が 100 グラムを超えないものであること。
3. 大きさが、長さ 27 センチメートル、幅 20 センチメートルを超えないものであること。
4. 同一差出人から形状、重量及び取扱が同一のものを同時に 100 通以上…差し出されたものであること。

この時の郵便法の改正で、第 27 条の 2. と 3. 項は従前と同じであったが、1. 項の「同一の郵便区内、都の同一区内又は京都市、大阪市、横浜市、神戸市、名古屋市若しくは北九州市の同一区内のみにて発着するものであること」が、「1. 同一の郵便区（郵便局について定められている郵便物の配達区域をいう。）内のみにて発着するもの」（第 27 条）に改正された。

つまり、主要大都市の同一区内に限定されていたものが、「同一の郵便区（郵便局について定められている郵便物の配達区域）内のみにて発着するもの」になり、対都市の同一区内という特定地域の制限が解かれた。

市内特別郵便は、存在する郵便の種類の中では、最もマイナーな郵便の種類であり、収集家にとっては、別に収集する必要はないし、作品に使う用途のある郵便の種類でもない。従って、会報誌に発表されても、取り立てて読むほどの内容ではなく、単に内容の極く一部を一瞥して、存在している事実を知っておればそれで十分というほどの郵便の種類であろう。筆者はそうに思っていたが、郵便の種類として存在しているならば、現物を見つけ出して、当該郵便の種類の特徴を明確にしてみたいと考え、現物の発掘を続けてきた。

以上長々と郵便法・郵便規則の改正内容を引用してきたが、これまでの改正時々の市内特別郵便物の実例を開示することができなかった。

5 昭和 51 年 1 月 25 日

郵便法及び郵便規則の施行によって郵便料金は以下のように改正された。

郵便法第 27 条（市内特別郵便物の料金）は、定形 25 グラムまで 40 円、50 グラムまで 50 円、定形外 50 グラムまで 80 円、100 グラムまで 115 円となった（郵便料金表参照）。

同 27 条の 1. から 4. 項までは、前料金改正時のそれと同じに定められた。

他方、郵便規則第 36 条（市内特別郵便物の差出要件）では、「市内特別郵便物は、料金別納、料金計器別納又は料金後納として差し出さなければならない。…料金計器別納として差し出すものには、郵便料金計器による印影のかたわらに「市内特別郵便」の文字を明りょうに表示しなければならない。」とされた。

昭和 51 年 1 月 25 日の郵便法・郵便規則の改正時から使用例が見つかるようになり、図版を掲載することができるようになった。

図 1 は、KDD 社の料金センターが同一の郵便区内の 100 人以上の電話利用者に対して電話料金を同時に請求した市内特別郵便物の使用例で、規則通り郵便料金計器による印影を押捺し、「傍らに「市内特別郵便」の文字を明りょうに表示したもの」、郵便料金は定形 25 グラムまで 40 円であった。同一郵便区内の電話利用者に対して電話料金を請求するには、引受郵便局にとっても、また郵便利用者にとっても取扱事務の簡素化になっていた。

図 1 は即売会のダンボールに束になって入っていた中の 1 通であった。なぜ束の状態で収集界に出てきたのかはわからないが、記載住所が不備であった郵便利用者宛か、あるいは住所移転した電話利用者宛のものであったのではないだろうか。差出人戻しとなった市内特別郵便物は新たな宛先住所には転送しないから、差出人の手元に残され、後日纏めて廃棄処分に出されたのであろうか。

切手のない、消印は郵便料金計器と、収集家にとってはゴミ同然の市内特別郵便物を強いて手にする人もいなかったのだろう。残された理由である。



図 1 KDD ビル内 12.11.79.

6 昭和 56 年 1 月 20 日

郵便法の改正で、第 1 種郵便中市内特別郵便の料金は、定形 25 グラムまで 50 円、50 グラムまで 60 円、定形外 50 グラムまで 100 円、100 グラムまで 140 円と定められた（郵便法第 27 条）。また同 27 条の第 1 と第 2 項は従前と同じであった。ただ、第 3 項は郵便規則第 36 条（市内特別郵便物の条件）に移された。

図 2 は 56 年 1 月 20 日の郵便料金改正時のもので、新宿局私書箱のガス会社が同一郵便区内の利用者に対してガス料金の請求書を市内特別郵便扱いで請求した、定形 25 グラムまで 50 円の使用例である。

図 3 は、図 1、図 2 と、後述・掲載する図 4 及び図 5 とは全く異なり、個人名が表示された「同一の郵便区内」宛のものである。公民館を利用している 100 以上の登録団体に対して、会の登録・利用に関する通信文等を同封した市役所差出しの市内特別郵便で、郵便料金計器による印影が押捺されているもの。図 3 の郵便料金計器は、民間用計器 (P.B 計器) の (e) GB5000 型タイプの 6. (国名 NIPPON 表示) に該当するものである（参考文献 8）。



図 2 SHINJUKU 17.1.86.

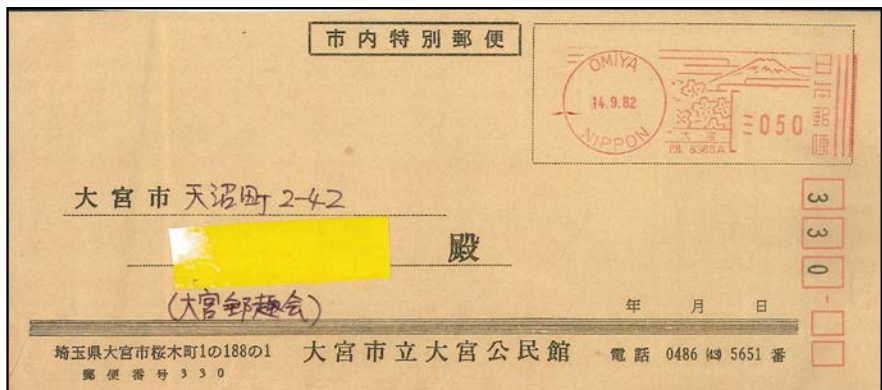


図 3 OMIYA 14.9.82.

7 平成元年4月1日

平成元年4月1日施行の郵便規則第36条(市内特別郵便物の条件)は以下になった。

市内特別郵便物は、次の各号に掲げる条件を満たすものでなければならない。

- 1 大きさが、長さ34センチメートル、幅24センチメートルを超えないものであること。
 - 2 重量が250グラムを超えないものであること。
 - 3 同一差出人から、形状、重量及び取扱いが同一のものを同時に100通以上差し出されたものであること。
 - 4 料金別納、料金計器別納又は料金後納として郵便物の配達事務を取り扱う郵便局又は地方郵政局長の指定した郵便局に差し出されたものであること。
- ②「……料金計器別納として差し出すものには、郵便料金計器による印影のかたわらに「市内特別郵便」の文字を明らかに表示しなければならない。」とされた。

そして郵便料金は「付属料金表(第120条の31 関連)の第2表「市内特別郵便物の料金」に以下のように掲載されている。

定形郵便物	25グラムまで	51円	50グラムまで	62円
定形外	50グラムまで	103円	100グラムまで	144円
	250グラムまで	206円		

取扱重量が「100グラムを超え250グラムまで」と増量になった。

図4は雑多な郵便物の中に数通重なったままに入っていたもの。差出人が専用の封筒を利用して購入品の請求を、「形状、重量及び取扱いが同一のものにして同時に100通以上差し出した」中の1通である。51円料金の最後期使用例である。

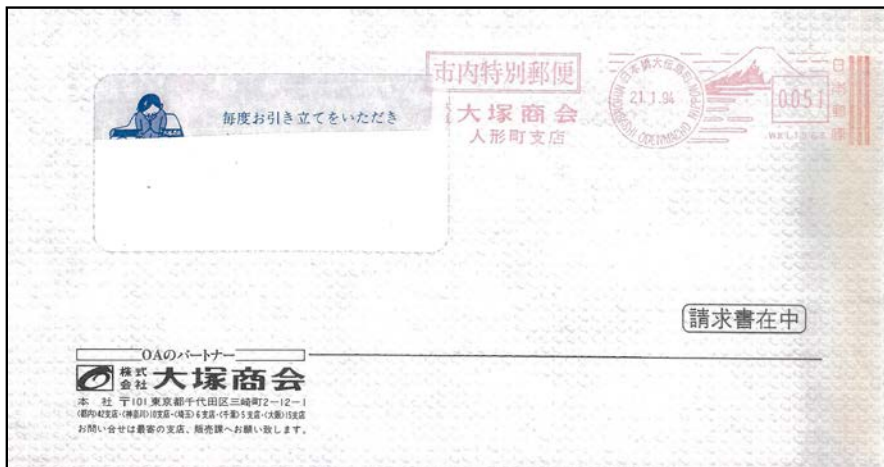


図4 日本橋大伝馬町 21.1.94.

図5は別の差出人が差し出した市内特別郵便物で、図4と同じ束の中にあった。同じ頃の使用時期のものと思っていたところ、65円料金時だったから、「ついでもう一通」と、郵便料金計器の日付をチェックしたところ、65円料金改正初日ということがわかり、掲載してみた。

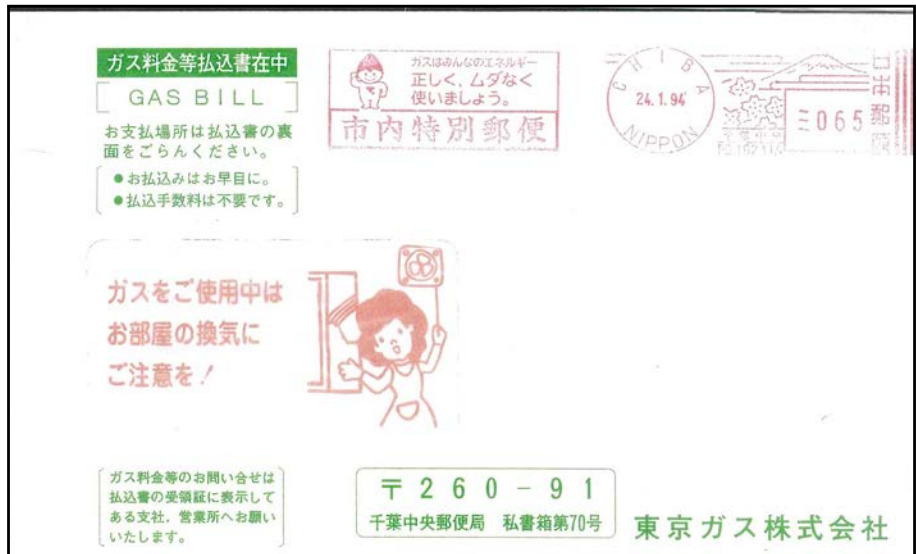


図5 CHIBA 24.1.94.

平成6年1月24日改正後の使用例については、内国郵便法令集を購入できていない為、省略する。

資料と現物による市内特別郵便の収集後記

市内特別郵便物を収集した結果（後記）、切手／料金別納郵便のことが頭に浮かんできた。

両郵便は酷似した郵便物であり、他方では収集家が最も関心を持たない、持とうとしない分野のものであろう。本文を投稿するにあたり、両郵便の相違点と類似点を並行記述して記録に残しておきたいと考える。

1 市内特別郵便 (A)

□ 相違点

- 1 同一郵便区市内に発著する次の郵便物を同時に 100 箇以上差出すもので、「全部又は大部分を印刷したる同文の有封又は無封の書状」(第 1 条)

□ 類似点

- 1 料金前納(第 3 条)で、郵便切手を添えて差出すこと(第 9 条)
- 2 特殊取扱を為すことができない(第 4 条)
- 3 所管一等郵便局の指定する郵便局に差出す(第 8 条)
- 4 郵便日付印の押捺を省略することがある(第 10 条)

2 切手/料金別納郵便 (B)

□ 相違点

- 1 同一内容の通常郵便物を同時に 100 箇以上差出すもの(第 63 条の 5)

□ 類似点

- 1 料金相当の郵便切手を添えて差出す(第 63 条の 7)
- 2 特殊取扱を為すことができない(第 63 条の 6)
- 3 一等郵便局長の指定する郵便局に差出す(第 63 条の 8)
- 4 通信日付印を押捺しない(第 63 条の 9)

参考文献

- 1 昭郵便法の一部を改正する法律第 254 号及び郵便規則の一部を改正する省令第 22 号(昭和 26 年 11 月 1 日施行)
- 2 『内国郵便法令集』(昭和 36 年 6 月現行、郵政省郵務局編)
- 3 『内国郵便法令集』(昭和 41 年 7 月現行、郵政省郵務局編)
- 4 『内国郵便法令集』(昭和 46 年 7 月現行、郵政省郵務局編)
- 5 『内国郵便法令集』(昭和 51 年 2 月 1 日現行、郵政省郵務局編)
- 6 『内国郵便法令集』(昭和 62 年 11 月 1 日現行、郵政省郵務局編)
- 7 『内国郵便法令集』(平成元年 5 月 1 日現行、郵政省郵務局編)
- 8 『日本のメータースタンプハンドブック(改訂版)』(財団法人日本郵趣協会メータースタンプ部会刊、2000 年 12 月 20 日初版の改訂版、52 ～ 57 ページ)。
- 9 『日本普通切手専門カタログ Vol. 3「郵便史・郵便印編」』(公益財団法人日本郵趣協会、2018 年 11 月 20 日刊、51 ページ)

参考資料

(明治 42 年 10 月 20 日付け通信公報第 5338 号中の通信省令第 46 号)

通常郵便物市内特別取扱規則左の通相定む

通常郵便物市内特別取扱規則

第 1 条 同一郵便区市内に発著する左の郵便物を同時に 100 箇以上差出すときは本規則の定むる所に依り市内特別取扱と為すことを得

- 1 全部又は大部分を印刷したる同文の有封又は無封書状但し有封書状には其の全部に対し同様

に返信用の郵便葉書、郵便切手、封筒又は印刷したる各種の用紙並に之に必要な収入印紙を封入する場合に限り之か添付を妨けず

- 2 同一内容の第3種及第4種郵便物連接する数個の郵便区市内は之を前項の同一郵便区市内と看做す

第2条 市内特別取扱郵便物の料金左の如し

- 1 有封同文書状1箇に付 重量4匁迄金1銭5厘4匁以上は4匁迄毎に金1銭を加ふ
- 2 無封同文書状1箇に付 重量10匁迄金1銭5厘10匁以上は10匁迄毎に金1銭を加ふ
- 3 第3種郵便物1箇に付 重量20匁迄金4厘20匁以上は20匁迄毎に金3銭厘を加ふ
同時に3001個以上を差出すときは3001個分よりは重量20匁迄毎に金3厘
- 4 第4種郵便物1箇に付 重量30匁迄金6厘30匁以上は30匁迄毎に金5厘を加ふ同時に
3001個以上を差出すときは3001個分よりは重量30匁迄毎に金5厘

第3種及第4種市内特別取扱郵便物にして別に定むる原簿配達の方法に依るものは前項の外100箇迄金5銭101箇以上は10箇迄毎に金5厘を加へ徴収す

第3種及第4種市内特別取扱郵便物料金切手徴収の際6厘以上1銭未満の端数を生したるときは5厘として計算し5厘未満のときは之を切捨つ

第3条 市内特別取扱郵便物は約束郵便に依るものの外料金前納とす

第4条 市内特別取扱郵便物は約束郵便以外の特殊取扱と為すことを得す

第5条 有封同文書状は差出しの際郵便局に其の見本1箇を提出すへし
同文書状は取扱中之を開披点検することあるへし

第6条 第3種及第4種市内特別取扱郵便物にして原簿配達の方法に依るものには受取人宿所氏名の記入を省略することを得
前項の郵便物には郵便局に於て受取人の氏名を記入することあるへし

第7条 市内特別郵便物は其の表面見易き場所に「市内特別」の文字を表記すへし但し原簿配達の方法に依るものは此の限に在らず

第8条 市内特別取扱郵便物は所轄一等郵便局の指定する郵便局に差出すへし

第9条 市内特別取扱郵便物にして約束郵便に依らざるものは箇数を記載したる適宜の用紙に料金相当の郵便切手を添へ之を差出すへし

第10条 市内特別取扱郵便物には郵便日付印の押捺を省略することあるへし

第11条 市内特別取扱郵便物にして第1条の区域内に於て配達を了し能はざるものは之を差出人に還付す

第12条 市内特別取扱として差出たる郵便物中内容の異なりたるものあるときは之を差出人に還付し其の郵便物の全部に対し更に差出人より一般郵便料金の2倍に対する不足料を徴収す

第13条 市内特別取扱郵便物は12月15日より翌年1月10日迄之か取扱を為さず但し差出郵便局の承認を受けたるものは此の限に在らず

第14条 本規則に定むる事項の外は一般の規定に依る

付則

本令は明治42年11月1日より之を施行す

和欧文機械印トピックス (第 54 回)

欧文記載変化

水谷 行秀



図①

50年以上の和欧文の歴史の中で1局のみ欧文の記載を変化させた局がある。それは旭川局で、1期では「ASAHIKAWA」(図①)と表記されていたが、2期になると「ASAHI~~G~~AWA」(図②)となっていた。これが1988(昭和63)年3月1日より「ASAHIKAWA」(図③)と再び変更することとなった。

これについては郵便局が用意したパンフレットに理由などが記されている。私の余分な解説をするより、その実物を見て頂こう(図④)。この変更は和欧文だけでなく欧文印も変更された。これは予定された変更のため官白も残されている(図⑤)。



左: 図② 右: 図③

「旭川」の呼称について

「旭川」の呼称については、明治23年9月20日付をもって北海道庁舎第61号により「あさひかわ」と公示されましたが、同年9月29日付の官報で「あさひがわ」と登録されたことから局名も同様の呼称が使われております。

昭和62年6月に旭川市のアンケート調査の結果、市内の官公庁の90%以上が「かわ」と濁らずに使っていることが判り、旭川郵便局も、市民全体が「あさひかわ」の呼称を用いていることから郵政省に上申し、昭和63年3月1日から「あさひかわ」に変更することになりました。

自動取そろえ
押印機



図④

和欧文の収集観点から見ると、2期「ASAHIKAWA」は1979年9月1日より1988年2月29日の8年半の期間で使用されたが、2期「ASAHIKAWA」は1988年3月1日より1990年7月1日（7月2日旭川中央に昇格）までの2年4ヶ月の期間であった。このため2期印では「ASAHIKAWA」の方がやや少ない。



図⑤

和欧文機械印トピックス (第 55 回)

中央局一斉昇格

水谷 行秀

和欧文機械印使用開始後、1 期では千葉局、2 期に入り那覇局が中央局に昇格した（千葉局は公示上は、昇格でなく新規開局）。県庁所在地の中心局で未だ中央局になっていない局が1987（昭和62）年6月時点で25局あった。これら全てが1987年7月1日、一斉に中央局へと昇格した。これほどまでに多くの局が一斉に昇格したのは最初で最後であろう。

具体的には北から青森、盛岡、秋田、山形、福島、水戸、宇都宮、前橋、浦和、甲府、静岡、津、福井、富山、大津、奈良、和歌山、鳥取、松江、山口、高松、徳島、高知、佐賀、大分、宮崎の26局である。このうち宇都宮、静岡、富山、高松の4局はこの時点で配置替えされていたため自動取り揃え押印機は配備されておらず、和欧文機械印は使用されていなかった。よって、残り22局を昇格前・昇格後で揃えることが一つの目標となる。リーフは郵便番号順に並べてみた（図①②）。また、1つの局の前後をカバーで揃えてみるのも一興であろう（図③④）。



図①

和政文藝雑誌2期

中央局昇格

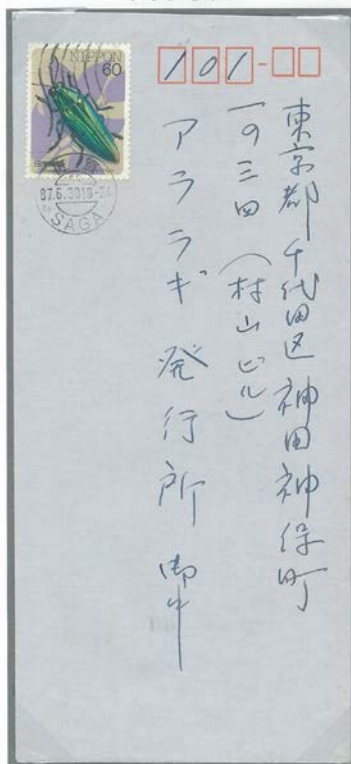
1987.7.1

これまでに中央局となっていない都道府県庁所在地の中心局が1987(昭和62)年7月1日、一斉に中央局へと昇格した。



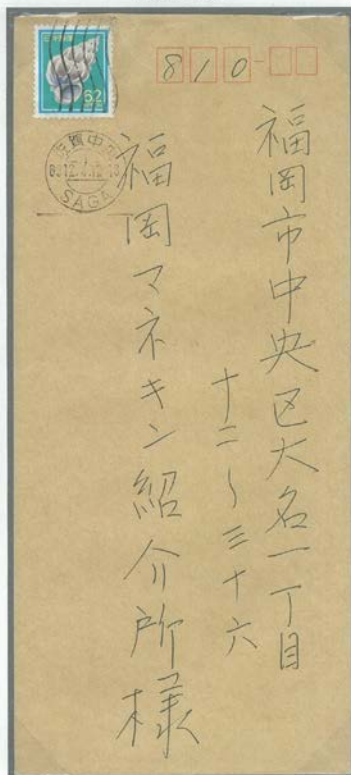
図②

佐賀/最終日



62/87.6.30 18-24

佐賀中央



1/89.12.4 12-18

図③



図④

和欧文機械印トピックス (第 56 回)

改元 (昭和→平成)

水谷 行秀

昭和 64 年 1 月 7 日の昭和天皇の崩御に伴い、「元号法」に則り同日閣議により翌 1 月 8 日より元号を「平成」とすることが決定された。郵便印については全ての局で 1 月 7 日までは年号を「64」、1 月 8 日からは年号を「1」とした。全国で例外なく厳格な移行が為された (後に故意の印影はあり)。和欧文についても同様で、西暦は「89」のままで、元号が「64」から「1」となった。収集の観点からはやはり昭和最終日と平成初日を非郵趣家による実郵便で揃えてみたい。

和欧文機械印 12 期		改元	1989.1.8
1989 (昭和 64) 年 1 月 7 日に昭和天皇が崩御された。元号法及び元号を改める政令に則り、崩御の翌日 1 月 8 日より新しい元号が「平成」と定められた。同日より平成元年がスタートした。			
昭和最終日		平成初日	
横浜集 64/89.1.7 12-18		広島中央 1/89.1.8 8-12	

和欧文機械印トピックス（第 57 回）

改元時の混乱

水谷 行秀

1989 年 1 月 8 日に平成と改元された元号であるが、和欧文を含む消印で 1 月 8 日以降に昭和年号「64」を使用した局は皆無であった（後の故意に作ったと思われるものは存在）。また、改元に備えて「1」の年号活字は事前に用意されていた。

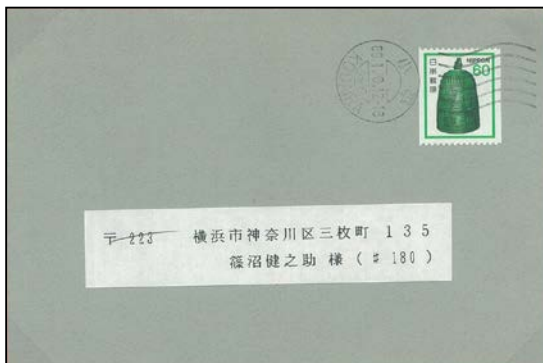
恐らく十分に事前に用意されていた為にその存在を忘れられていたからであろうか、または配備浅れとなっていたのであろうか、城東局と小平局では「1」の活字が無く元号欄を空欄として使用した。そして急遽本省に要請したのであろう、比較的直ぐに「1」の活字が配備され何事も無かったかのように配備後は普通に使用された。この短い間の元号空欄は右の期間が確認されている。（図①②）

城東	1989.1.8 - 1.10
小平	1989.1.8 - 1.14

「元号空欄」期間



図① 城東 1989.1.8 - 1.10



図② 小平 1989.1.8 - 1.14

なお、小平では1月17日の正常印（図③）が確認されているので、その前までは確認期間が更新される可能性がある。城東もあと少しは更新されるかもしれない。



図③

両局ともに東京都内の局とは言え大局ではなく郵便物の数はそれ程多いとは言えない。前ページの表の確認期間が正しいとしたら城東では3日間、小平でも7日間の非常に限られた日数である。どれほどの数が発掘されたであろう。和欧文2期のバラエティーとして収集の難関であろう。第52回で紹介したうっかりミス元号抜けとは異なり、意味のある元号抜けと言えよう。

第4期（2020年4月－2021年3月）賛助会員の募集を開始いたします

当協会は2017年4月14日付で特定非営利活動法人（NPO法人）として正式に認証され、新たな活動を開始いたしました。これに伴い、協会の活動趣旨（HP掲載の「特定非営利活動法人 郵趣振興協会のあらまし」、「設立趣旨書」ご参照）にご賛同下さる賛助会員を以下の【募集要項】に従って募集いたします。

第3期（2019年4月－2020年3月）には、堅牢な切手コレクション展示パネルの改修計画を完了し、全国切手展スタンペックスジャパンの毎年の開催の礎を築くことができました。また、その過程で経営体制の改善を行い、より責任のある組織運営ができるようになりました。

この機会にぜひ賛助会員としてご加入いただき、わが国における郵趣振興にご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【第4期（2020年4月－2021年3月）賛助会員 募集要項】

1. 募集目標： 100名
2. 年会費：1口6,000円（何口でもご加入可）、期中のどこから加入されても同額です
3. 賛助会員の多彩な特典：1口以上のご加入者に以下のメリットをご用意
 - （1）協会主催および協会が関係する各種行事への優先参加およびご優待
 - （2）「競争切手展データベース」へのアクセス・閲覧
 - （3）「郵政博物館 特別v出展者負担金の減免
 - （4）インターネット・メーリングリスト・サービスのご提供
 - （5）切手コレクション展示フレーム（パネル）の有償貸与
 - （6）名刺の実費頒布
4. 賛助会員へのご加入方法：

まずは電子メールにて info@kitte.com へてに以下の情報をご連絡下さい。

① お名前（ふりがな）、② ご住所、③ メールアドレス、

④ 日中連絡の取れる電話番号、⑤ 賛助会員加入口数

折り返し、協会から会費のお支払い方法についてご連絡を差し上げます。

ご入金が確認され次第、会員登録完了となります。

※電子メールがお使いになれない場合は、以下に郵便でご連絡願います。

102-0083 海事ビル内郵便局留置 特定非営利活動法人郵趣振興協会 賛助会員係

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

代表理事 吉田敬

理事 行徳国宏、斎享、池田健三郎、菊地恵実

<http://kitte.com>

コレクションの作り方

切手コレクションの紹介

第一次動植物国宝

水谷 行秀

押印機（和文機械印）による封書への消印

－大正 8 年～昭和 41 年－

横山 裕三

郵趣活動の記録

第 3 回いずみ展 参観記

長野 行洋

郵趣振興協会 活動報告

特非) 郵趣振興協会

オークションレポート

ジャパNSTAMP・オークションニアレポート

鯛 道治

スタンペディアオークション

スタンペディアオークション (株)

第 12 回セールレポート

2019 秋の文献セール・2020 冬の文献セールレポート

最終落札結果

切手コレクション紹介

JAPEX2019 出品作品 付録1 に全リーフ掲載 (5 F)

第一次動植物国宝

水谷 行秀

動植物国宝を図案とする銭単位7種の切手とそれらを含む小型シートをまとめた作品です。これらの切手は実質の流通期間が短く、直ぐに円単位の切手に置き換わりました。しかしながらその短い期間にも郵便の制度や料金形態などに変化があり、多くの興味深い使用例が存在します。切手の貼り合わせも含めてお楽しみいただければ幸いです。(出品者コメント)

動植物国宝切手全てのシリーズを専門収集している水谷さんによる、銭単位コレクション5フレーム。JAPEXにご出品されることは以前よりうかがっていたので、拝見するのを楽しみにしていた作品の一つ。人気シリーズでもあり、当日は水谷さんによる展示作品解説も行われた。今回全リーフをPDFでご提供いただいたので、改めて見返す人も多いのでは？(吉田 敬コメント)



作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

付録は「マイスタンプEDIA」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

P.24 5円 初期使用例

第1次戦後郵便物

10円

国内航空はがき

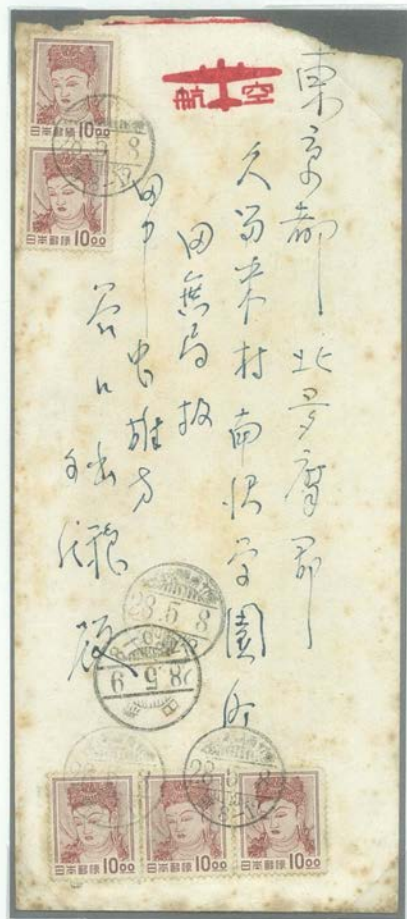


東京中央 27.4.16 後 0-6
航空はがき 15 円

戦前に存在していた国内航空は昭和 26 年 10 月 24 日より再開された。再開直後の同年 11 月 1 日に料金改正があり、その後昭和 28 年 7 月 5 日に航空料金は廃止され速達便に統合された。

料金期間 1951.11.1-1953.7.4

国内航空速達封書



石狩札幌南十條 28.5.8 前 8-12
航空封書 25 円+速達 25 円

P.37 10 円 国内航空使用例

切手コレクション紹介

第3回いずみ展 出品作品 付録1に全リーフ掲載 (5 F)

押印機 (和文機械印) による封書への消印 -大正8年~昭和41年-

横山 裕三

日本では、大正時代以降、押印機を専ら葉書の消印に使用する目的で開発・導入したため、封書(書状などの封筒)への押印機使用は、構造的に押印が可能な機械にたまたま掛けられた場合や一度に大量の封書を消印処理する場合などに限られました。そのため、封書への押印機による消印例は、葉書に比べて極端に少ないものとなっています。なお、封書専用の押印機の開発が始まるのは、昭和30年代の後半からです。

本展示では、押印機による和文機械印の歴史を、米国ユニバーサル社製D型押印機が導入された大正8年(国内書状料金3銭時代)から昭和41年(国内書状料金10円時代)までの期間に限定して、料金、押印機、押印機に取り付ける刻印、使用切手という4要素の変遷を踏まえて、本来はほとんど押印機が使用されない封書への消印例を使って展開してみました。(出品者コメント)

元々均一な葉書を対象に省力化を目指した機械印が、幾多の偶然・タイミングで封書に押印された例は本当に少なく、恥ずかしながら封書専用機械押印機の開発開始が我々の生まれた昭和30年代後半だった知識は出品解説まで寡聞であった。

サイパン機械印はじめ、大正・昭和初期のマテリアルの数々には、びっくりポンボン。(長野 行洋コメント)

作品オーナーのご好意で本作品は全リーフが付録に収められています。

付録は「マイスタンペディア」よりダウンロードできます。入手後は個人の利用の範囲で印刷等してご利用ください。

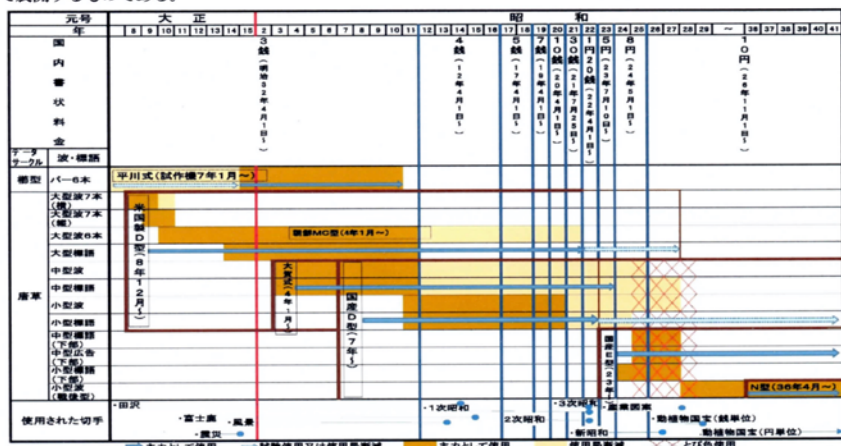


P.4 平川式押印機で処理された書状

押印機（和文機械印）による 封書への消印 —大正8年～昭和41年—

日本では、国産機械として独自に考案された林式、小代式及び平川式という押印機が大正3～6年に試用され、うち、林式と平川式が大正7年から実用化され順次配備された。しかし、これらは押印対象を「葉書」とする葉書専用機であった。さらに、大正8年末に輸入、配備された米国ユニバーサル製D型押印機は、以後の主力押印機となるが、封書（書状などの封筒）に対しても押印可能であったにもかかわらず、これも専ら葉書の消印に使用された。封書への押印を目的とする専用の書状押印機が開発されるのは、40年以上後の昭和36年以降であった。そのため、封書への押印機による消印例は、葉書への消印例に比べて極端に少ない。

本展示では、押印機による和文機械印の歴史を、米国製D型押印機が導入された大正8年（国内書状料金3銭時代）から昭和41年（国内書状料金10円時代）までの期間に限定して、料金、押印機、押印機に取り付ける刻印、使用切手という4要素の変遷を踏まえて、本来は、ほとんど押印機が使用されない封書への消印例を使って展開するものである。



フレーム	章（大項目）	章（中項目）	注目のアイテム	リーフ番号
1-2	I 第一種書状3銭時期	1.初期の国産押印機の開発 2.米国ユニバーサル社製D型押印機の導入 3.米国ユニバーサル社製D型押印機の配備拡大 4.波と標語の形状による分類	平川式3銭書状 初期の3局の使用 6銭重量便書状 13銭書留書状 サイパン局	4 5-7 14 26 35
3	II 第一種書状4銭時期	押印機的全盛	樺太3銭印刷書状	48
4	III 第一種書状5銭時期	戦時下の混乱	5銭上高地	49
	IV 第一種書状7銭時期	戦時下の混乱	7銭金剛山、東郷	53-54
	V 第一種書状10銭時期	敗戦による混乱	10銭富士桜	58
	VI 第一種書状30銭時期	戦後の混乱	30銭五重塔	59
	VII 第一種書状1円20銭時期	戦後の混乱	1円20銭五重塔	60
	VIII 第一種書状5円時期	戦後の復興とE型押印機の開発	5円炭鉱夫黒色印	61
4-5	IX 第一種書状8円時期	戦後の復興と刻印の変化	川口広告印	65
5	X 第一種書状10円時期	1.郵便料金と押印機使用の安定 2.初の書状用押印機の開発へ	円単位10円とび色 NECのN型機	77 79-80

参考文献：「現行押印機の状況」丸島一廣、「日本郵便消印ハンドブック」日本郵協協会、「郵便消印百科事典」鳴美、「右書時代の機械印」関利貞、「自動取り揃え押印機の開発とその使用」水谷行秀

第3回いずみ展 参観記

長野 行洋

去る2月1-2日に、押上・ソラマチ・郵政博物館で、恒例になりつつある第3回いずみ展が開催された。今年も会員即売ブースの出店が多く、初日は近隣の切手市場も開催。多数ご来場盛会であった。今年は昨年以上に各自専門分野の力作多数で、見応え十分・眼福であった。以下敬称略。

東京タワーとスカイツリー (2 frame)

竹之内康雄

当作品ははじめ冒頭3作品は一般参観者への「つかみ」。スカイツリー関連の材料は昨年同様充実も、出品解説にあるように東京タワー>60余年前の材料は、記念品・土産はじめ、残存数は意外に残されておらず、貴重。例え絵葉書でも、残された事に感謝。映画「三丁目の夕日」でも取り上げられた東京タワー建設の場面。たまたま生れが東京タワーと同期には何より。

東京五輪・パラリンピック1964→2020 (2 frame)

長野行洋

一般の参観者を意識。当時小学生で、父は記念切手収集開始のきっかけ、大学ノートに耳紙貼りつけで収集スタート。息子の切手収集開始は小五と4年のタイムラグ。今回は1フレ郵趣的に、2フレ前半は前回大会の非郵趣アイテム、後半は2020年に向けての雑多。

絵葉書で見る明治・大正。昭和の東京15区 (2 frame)

生田誠

セピア色で統一された2フレは、切手で言えばクラシック作品。歴史を感じさせる作品に一般参観者も興味深々。

国際切手展では、日本で馴染みの薄いマキシマムカードや宇宙郵趣の分野に加え、絵葉書も新しい部門として実施されている。残念ながら来年の国際展では対象外も、いずれ海外の国際切手展で氏の作品が見られるかも。

記番印第壹号 (2 frame)

鈴木光男

今から40年ほど前、故山下精一氏が、それまで地域(郷土)に限った作品ばかりだったが、全国を横断、1国1リーフのユニークな構成で云わば消印のゼネラル的作品を全日展に出品され驚かされたが、この作品もその系譜を踏襲。どの国も壹号はその地域一番の局と思うが、決してそうでも無いところが面白い。消印で遊ぶには、こんなこだわりが必要。

練馬 (2 frame)

吉田敬

全世界を股にかけるゼネラリストがご自身出生の地への愛着をついに作品に。とは言え特定エリアのピンポイントの郵便史は、今でこそ大住宅地も明治から昭和初期までは本当に難しい。が、地元との連携を視野に、郵趣の普及を広げていく伝道師としての覚悟が作品に。

押印機(和文機械印)による封書への消印-大正8年~昭和41年-(5 frame)

横山裕三

これからの2作品は学生の頃から40年追いかけて続けた男のロマン作品。元々均一な葉書を対象に省力化を目指した機械印が、幾多の偶然・タイミングで封書に押印された例は本当に少なく、恥ずかしながら封書専用機械押印機の開発開始が我々の生まれた昭和30年代後半だった知識は出品解説まで寡聞であった。

出品解説のサイパン機械印はじめ、大正・昭和初期のマテリアルの数々には、びっくりポンポン。

和欧文機械印（5 フレーム）

水谷行秀

当作品は、正に王道。全日展 2019「自動取り揃え機の開発とその使用」で見事金賞・日本郵便賞（昔の郵政大臣賞）を踏まえ、後半の部分を充実展開。

色々批判はあるが、機械印ズブの素人の筆者には、希少性の赤座布団ありがたい。今からでも十分コレクションの形成・発展が可能との事だが、時代が新しいほど難しのが最近の傾向。その時代の我々世代の現役収集家にも責任があるような。

手押し標語印（3 frame）

矢嶋基之

今回もっともインパクトの作品。ゼネラリストには注文消 1 枚でも欲しい（残念ながら筆者も所持せず）ほどなのに、封書を中心に、実郵便で構成の 3 フレ。伺ったところ朝鮮他外地は官白ばかりになるので全面に見直されたとか。本当に眼福の一語に尽きる。

外地使用の標語入り機械日付印（3 frame）

清水勝利

これまた出品解説で外地で使用された標語入り機械印を完収したとの大ベテランの高らかな宣言に裏打ちされた執念の作品。樺太は明治までしかやっていないが、思わず注視。氏の個性、葉書だけで単調にならないように封書・外信・記念切手貼の気配りはさすが。

静岡局の初期郵便日付印（3 frame）

濱谷彰彦

手彫から現行（もちろん令和も）までのゼネラリストはお仕事から全国数多く転勤。その先々で人脈を。その中でも静岡は五本指に入るこだわりの地では。

不統一印から二重丸・ボタ印まで。広角打法の氏だからフレーム制限あるも、もっと最近までと尋ねたら丸一以降はそれほどでもないとか。是非とも競争展にご出品を。

丸一型日付印の「ワ便」（3 frame）

永富功

今や郵趣界の第 3 版元候補の氏の原点の作品も、肩の気を抜いていつも通りの見せる作品に昇華。

丸一ワ便も、見られるようになってきたが、これまでの分析に沿った作品は、リーフと同様、素人にも分かり易い論文。その作品の出版は、まさに郵便印・郵便史を志す人への啓蒙書。数千円で、ノウハウが得られるのは、「津田沼徒然草」合本Ⅰ～Ⅳも同様。他のテーマでも、郵便史の旗首として大いに期待。

事故郵便（戦前）（3 frame）

安藤源成

準トリ・トリが今注目のコロナ性肺炎が心配な 80 代大先輩お二人。お二方ともウィルスが逃げていくほどの馬力健在。安藤じいじは、座右の銘、人がやらない事を作品にとを、今もって実践。その中身の一点・一点の説明が卓越。今回は特に人為的過失起因を抜き出したとのいじわるぶりこそ、本領発揮のいやらしさ、堪能。

第一種無封郵便（5 frame）

行徳国宏

制度史郵便史のプロフェッショナルが選んだ究極的なテーマ。一歩間違えれば、その時代一番ありふれた物の中の宝探し。ご本人も、もらった物が多く、一番コストパフォーマンスの作品との自負も。アイテムだけでは、その珍らしさの可否があることを再提起。いつまでも、終わりのないテーマの追求に改めて脱帽。

「いずみ展」第 4 回も実施決定。未出品者・地方・メール会員のご出品、お待ちしております。何とぞ宜しく。

郵趣振興協会 活動報告

2019 年 12 月 6 日～2020 年 3 月 4 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料で掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

理事2名の増員を含む経営体制の変更を決定

当協会は、2019 年度に活動が飛躍し、活動量が増えたことから、12 月 28 日に臨時総会を開催し、2名の理事を選出いたしました(下記2名)。これで理事の人数は、定款上限の5名となりました。

理事 齋 享 (さい とおる)

理事 菊地 恵実 (きくち えみ)

また、2月2日には理事会を開催し、代表理事を3名から1名に減らすことを決定し、理事会議長である吉田敬を除く4名の理事で決議を行い、満場一致で、以下の代表理事を選出しました。

代表理事 吉田 敬 (よしだ たかし)

これらの決議をへて、今後、当協会は、以下の経営体制で活動を行ってまいります。賛助会員の皆様、よろしくお願いいたします。

代表理事 吉田 敬

理事 行徳 国宏、齋 享、池田 健三郎、菊地 恵実

監事 横山 裕三

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、政府の大規模イベントの「中止」「延期」要請等に伴い、各種行事の中止・延期を決定

2月25日に当協会は、独自の判断で、現況下での飲食を伴う会食は不適當であると判断し「ジャパンフィラテリストサミット 2020」の中止を決定し、参加予定者にご連絡差し上げ、別途、返金を実施いたしました。

その翌日の2月26日に首相記者会見があり、同日以降2週間の大規模イベントの「中止」「延期」要請がありました。この要請を受けて、「スタンベックスジャパン 2020」の開催日程を当初の3月6-10日から4月3-5日に変更することを共催の郵政博物館と決定しました。なお、この日程での開催についても、3月19日までの臨時閉館が決定した郵政博物館の再開館後の状況を見て、改めての「中止」「延期」の可能性がございます。

今回の様な前例ない事態には正解がありません。それだけに結論を先送りにしない早めの決断が大事と捉え、決断時点で集まった情報を元に経営判断しましたので、ご了解いただきたく存じます。

全国切手展 『スタンベックスジャパン2020』等の準備状況の報告

延期の件については前項で報告の通りですが、それ以外の準備状況について報告いたします。

まず、作品の出品申込締切は12月17日でした。第一回目の展覧会でどれだけ集まるものかと心配していましたが、20作品115フレームのご応募をいただき、数量的には十分な量が集まりました。このご応募を受けて、12月20日には、作品選定委員会を開催し、17作品100フレームの選定を行い、出品申込者に選定結果を12月27日に通知（郵送）すると共に、1月1日にホームページで発表いたしました。

年明けからは、実行委員会の活動が活発になりました。事務局長の横山裕三さん、補佐してくださる長野行洋さんを中心に、昨年中に、郵政博物館の担当者も交えた会議を数度行っておりましたが、この活動に菊地恵実さんが加わり、展覧会の設営・運営・撤去に加えて、表彰式も兼ねるジャパンフィラテリストサミット2020の準備と参加者募集も開始されました。

2月2日には、実行委員顔合わせも行われ、10名が参加し（写真）、当日の準備を万全なものにしました。



独立に活動している審査委員会には、まず、12月中に、全ての出品者のタイトルページ・サンプルページ・出品申込票が製本された、審査員限定の資料が届けられ、資料を通じた出品作品のチェックが始まりました。

これらの活動と並行する形で、郵政博物館や後援企業とのやりとりもマーケティングの観点から進めております。

郵博 特別切手コレクション展（2020年度）の開催スケジュールの追加

「郵博 特別切手コレクション展」の2020年度のスケジュールについては、昨年10月25日に発表いたしました。締切後に一件の追加申し込みがありました。日程調整の結果、以下の団体の展示を行うことが決定いたしました。

日程	展覧会名称	副題・説明等	展示団体
5/16-17	郵便制度史展 2020	ポスタル・ヒストリーのメイン・ストリームを織りなすコレクションの数々	郵便制度史展実行委員会

「スポーツ切手展」 「from 1896 to 2016」への協力を決定

「スタンベックスジャパン2020」は、2月22日～4月5日と長期にわたり、郵政博物館が開催する「世界切手展」の一部として開催されます。「スタンベックスジャパン2020」以外の部分の展示についても、同博物館より主催としての協力を求められましたので、これにお応えし、展示や展示して下さるフィラテリストのご紹介をさせていただきました。

『切手コレクション展示パネル』移動に伴う備品の増強について

郵政博物館および倉庫である同資料センターにおける展示・撤去作業の効率化ならびに格納スペースの極少化を狙い、可動式収納台車1台および台座・ポール収納台車（右写真）1台を発注いたしました。

この内、『台座・ポール収納台車』については、当初の導入計画には漏れているものですが、郵政博物館と協議する中において、展示・撤去作業の軽減ができる可能性が高いとして、一台導入するものです。とはいえ一台の価格が15万円近く、2台目以降の導入にあたっては、費用対効果を検証の上、2020年度に行いたいと考えております。

なお、これらの支出は、「切手コレクション展示パネル」改修委員会の、2019年度予算120万円(使用金額77万5987円)の残額を充てました。



2019年度決算の締め作業に着手

当協会では、会計の透明性を高めるために、収入・支出について、オンライン経理処理システムを使用して、できる限りリアルタイムで入力処理を行っています。(通帳記帳含めて)

2019年度決算については、当初はスタンベックスジャパン2020の閉幕後に開始する予定でしたが、同展覧会が会計年度的には2020年度の開催と変更されましたので、2019年度決算の締め作業に着手いたしました。

当協会の支出の内、大きなものは、郵博 特別切手コレクション展開催に伴うパンフレット外注費と、切手コレクション展示パネルの備品管理費用です。本年度は「切手コレクション展示パネル」改修委員会を設けたことから特に後者の金額が大きくなっておりますが、現時点では、当初設定した委員会上限予算120万円の範囲に収まっております。

賛助会費・特別賛助会費については、昨年とほぼ同額が集まり、協会の運営にあたっては、健全な財務状況を担保できていると考えております。

2020年度の賛助会費更新の準備を開始

2020年度の賛助会費更新のお願いを3月中に郵送でご案内できるように手配したく準備中です。どうぞ来年度も継続してご参加くださいますようお願い申し上げます。

各種事業の進捗について

当協会は「2019 年度事業計画書」において、5つの事業を計画しております。

それらは「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリック PR 事業」「次世代育成事業」の5つです。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビション事業

郵博 特別切手コレクション展（2019 年度）等の展覧会を、郵政博物館と共催で2回開催。

2/1-2 第3回いずみ展

2/22-3/1 スポーツ切手展

＊「スポーツ切手展」は、世界切手展（郵政博物館）のお手伝いをしたものです。

郵博 特別切手コレクション展（2020 年度）追加開催スケジュール1件を、郵政博物館と決定。

全国切手展「スタンベックスジャパン2020」実行委員会の活動のサポート。

フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jp における供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社に委託しています）

リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

フィラテリック PR 事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（12-2 月で 26 件。対前四半期 +100%）

次世代育成事業

スタンプクラブ「月刊切手ニュース」への協力

総務ほか

臨時総会を開催（12/28）

理事会を3回開催（12/16, 12/26, 2/2）

2019 年度決算の準備開始

2020 年度 賛助会費更新 準備の開始

（報告者：代表理事 吉田敬）



無料登録・無料入札の流れ

Philasearch で検索!

- ① www.philasearch.com/jpを開く
- ② 最新オークションからロットを選択し、入札用紙に追加する
- ③ 個人情報登録後、担当会社に入札を送ってから入札完了!

世界の切手オークションが お手軽に

170社以上
参加中

以下の東アジア専門オークション等をご紹介します



Schuyler
Rumsey
Philatelic
Auctions



◆ CHERRYSTONE ◆
PHILATELIC AUCTIONEERS

interasia
auctions



www.philasearch.com/jp

おすすめ! 毎週の新着品を メールで楽しもう!

当ホームページにて、検索条件を保存すると、
新着品が届いた場合は通知を受け取る事が可能!

※ フィラサーチは、販売代理として日本語対応のウェブサイト及びサポート窓口を無料で提供します。各販売の担当オークション会社により手数料などが発生する場合があります。ご入札送付の際、入札規定をご確認ください。

※ 担当オークション会社へのご連絡、お問い合わせにつきましては、英語のみの対応となります。日本語対応のお問い合わせ・ご意見・ご質問・ご要望などは、service@philasearch.com までご連絡ください。

ジャパンスタンプオークションニアレポート

鯛 道治

2020年2月29日～3月1日の第111回フロアセールのレポートです。新型コロナの影響で、フロアへのご参加数は何時もの7割でした。その分、メールビッドが増えていて、トータルの数字とすればほぼイーブンだったと思います。次回の5月末のセールはどうなっているか判りません。いつもお見掛けする顔を是非オークション会場で拝見したいと念じています。

Lot658 印字コイル（富士電機製）高額用に90円ペア

最低値 600,000 応札 1 スタート 600,000 落札値 600,000

出品物として受け取った時には、最低値は高いな～と思っていたのです。確かに弊社の単片の取引実績では33万で売れたことが有りました。データからして、単片の最低値30万はOKですが、ペアの2倍には必然性が無いのです。買う人にすれば、ペアでの掛ける2は余計なお世話です。でも勝手に切断は出来ないし、殊更その相談もやりません。不落札を承知で表紙に載せました。お話として面白いのです。メールビッドはお一人でコイルの専門コレクター、最低値の遙かに上でのご応札でした。



物の素性とすれば、今回のご出品者が書いて来た情報が全てです。ご出品者＝直接機械で購入された方かは不明です・・・鳴美の【平成切手カタログ】100ページにカバーが載っています。あくまで「発見者」の情報ですが、ここに記録を残します。購入日は1999年12月17日、場所は藤沢慶応前局、10枚購入、エンタを3通作残り7枚を未使用として保存、一部はコレクターに分譲。90円が出てくる前に270円を10枚購入、何故か9枚しか出て来なかった・・・。270円を損したかどうかは記載なし。続いて90円を購入したら高額用紙に印字されて出て来た・・・。

もしコレクターがこのチャンスを得たならば、10枚でやめる訳は無いでしょう。必死に機械と格闘したと思います。ご出品に際しての記載には、世紀が変わるミレニアムによる磁場の異常？1枚出ずの残留磁気がエラーを引き起こした？とか結構長文のオカルト的な説明が有りました。人為的でない機械のエラーだと思いますが、マーケットの情報から判断して、未済合わせて報告された10枚以外には出て来てないと思います。物には罪は無いし珍品だとは思いますが、オークションでの結果が、ちょっとオカルトかなというのが率直な感想です。

Lot1082 竜 100 文 I -23-40 2x3B 未使用

最低値 15,000 応札 10 スタート 175,000 落札値 175,000

最低値を間違えていました。珍しくも最低値ご指定の出品物なのですが、ケアレスミスで一桁安い値段で、オン・セールになったのです。オークション誌が出た時点で連絡を貰っていたので、当初の値段の 15 万での売り立てに変更するつもりでした。このケースの場合は、周知の必要は有りません。14.5 万の札で支えて 15 万で落ちるようにするし、それに達しない場合は、結論として不落札にすれば良いだけです。弊社の場合は、意図的に安すぎる最低値を設定することは有りません。勿論、売り切りのリクエストを頂く事も多いのですが、それでも、自分の持っている評価を基準に付けるのです。竜 100 文の 6 枚ブロックなら、10 万以下にはしないのです。100% 売れる値段で付けるというのは最も苦手の作業です。相手の期待と思惑を斟酌し、持ち主が買われたであろう値段と、今までのオークションでの実績に引きずられるのです。

今回の最低値 15000 円に、ビッドする人はどう対応されたでしょうか。一桁違うのではと思った人もいたかも知れません。ラッキー、掘出しできるかものと夢見た人もいたのかな。あわよくば、駄目元の 2~3 万とかの人も数人は居たのですが、結構落とす気のビッドが多かったような気がします。本来の最低値の 15 万超はお二人だけ、きっちり接近した数字でした。このロットに関しては、物の説明には何らの瑕疵も無いのです。要は最低値をチョンボしただけなので、オークションの値段とすればキッチリまともな数字に収まるのです。だからと言って、わざと安い最低値を付けるつもりは有りません。それをやると色々語弊が出てくるのです。今回は結果オーライとしておきましょう。

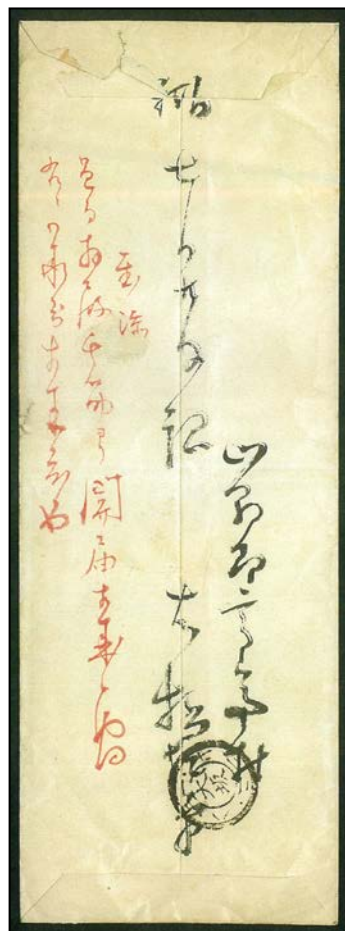


Lot1635 改正小判長形に U 小 2 銭貼重量便 KB2 美濃高富→N3B3 大坂 極美

最低値 50,000 応札 4 スタート 190,000 落札値 250,000

セールの結果とすれば、物の評価として妥当な数字になりました。改正小判封皮の発行は 21 年 3 月 31 日なので、狙うべき使用例はボタと◎になるのです。可能性が有るのは 5 カ月間だけ、角形封皮を望むのは無い物ねだりです。外信便では少し雰囲気が変わるのですが、国内便の長形ではボタも KB2 も専門収集の人では、局名や使用例の殆どのデータを空で覚えている位、数が限られているのです。当然動いた値段も最重要のファクターとして、しっかり覚えているのです。門外漢では勝負になりません。気に入った物を待っていたら三五六よりも難しいのです。

それでもボタは選んで買える位は有るのですが、◎はデタコ勝負に出ないといけなんでしょう。年代が 21 年の後半なので、KB1 と N3B3 は可能性は無いし、KG も無理だと思います。多い少ないで言えば、種別とすれば、書留より重量便の方が少ないのですが、それは今回の値段に影響ありません。このカバーは U 小 2 銭貼の重量便プレミアムのみでなく、今回は地元印の人も対象外のはずなので、プラスしての綺麗さが最重要のファクターだったと思います。次に出たとして、単独使用の◎なら 10 万半ばに収まるかなと思います。それでも安くは買わしてくれないでしょうが。



Lot2331 飛行試行 1½ 銭 9B 貼飛行郵便大阪宛 特印東京 8.10.4

最低値 250,000 応札 0 スタート 250,000 不落札なるも残品売り

Lot2332 飛行試行 3 銭銘付 9B 貼飛行郵便大阪宛 特印東京 8.10.4

最低値 400,000 応札 0 スタート 400,000 不落札なるも残品売り

物の素性としてのトピックは、昭和 8 年 11 月 1 日～7 日の【珍しい郵便切手の展覧会】に展示された逸品です。廻り局出張所が小型印の使用に先立った、色変わり日付を使っています。この展覧会でインパクトとして強いのが、昭和 大札無目打のブルーなのですが、珠玉の珍品が所狭しと並んでいた有名な催事だったと思います。カタログ（パンフレット）も見た覚えがあるので、トンボのエンタも多分所有者の名前を書いてあると思います。今度気を付けておきましょう。

1½ 銭 9B は、封筒の大きさからして 3 倍重量便だと思います。大阪宛の実通で事故飛行中止、戻して下谷の着印が有ります。ペア貼や 2 種貼（料金過貼）は稀に見るのですが、重量便は初めてでしょう。3 銭 9B は 9 倍重量ではないと思います。書留・配達証明筆書きを消していますので、差出人の意志とすれば、無理やり料金を合わせての実通便を出すつもりだったのかも知れません。飛行試行ではこの特殊扱いは無理なので、諦めたのでしょうか、墨で抹消しています。過剰承知の重量便でしょう。こちらに戻しの着印が付いています。9 枚ブロックなので迫力満点、実通ですし買わない理由は見つかりません。

ご出品に際して、値段の問い合わせのメールを貰っていたのです。幾らぐらいで落ちますかのお問合せなので、最低値は 25 万と 40 万、買う人の顔が見えるので、30 万と 50 万かな、欲しい人は複数いるけれど、今の支払い能力がちょっと不安・・・と答えました。最近元気な珍品コレクターさんは、希少性では惚れてくれるけど、状態に厳しい人、カバでも裏にヒンジがあれば、端から対象外という潔癖症の人なので。今回はノービッドと読みました。この読みは当たったのですが、他にビッドが現れず、まさかの不落札だったのです。

終わってすぐに、残品売り＝手数料 8% のご注文が入りました。お二人から。お一人は 3 銭のみをお望みなもので、1 通ずつになりました。弊社のシステムでは、正規のお買い上げなら、手数料は 16%、不落札なら 8% です。その差を狙う残品買いなので、場に来てメールゼロを確認して、他の人のビッドがあれば自分の手をあげる、不落になりそうなら、残品売りで手数料 8% 引きを計算するのです。それはそれで OK ですが、弊社に対してならその読みは甘すぎるのです。当然対応策を考えているのです。残品売りは、申し込み順では有りません。Web. に落札結果速報を Up して、その翌日朝までは同着扱いにしています。フロアで不落を確認して、その場でのお申し込みの場合、最先着で確実に買えるのではなく、露骨に言ってしまうと、その逆の扱いをします。同着期間内に他にご希望者が居たならば、機械的に後着と見做します。場に来ていない人が、速報を見て注文されれば、その人を優先いたします。明文化はしていませんが当然の扱いだと思います。

今回のセールでは、高額物が不落になりましたが、残品売りで売れました。Lot937 震災葉書パラオ＝20 万、Lot1763・1764 版画年賀状コレクション 各 20 万、Lot3019 洋桜 10 銭ハ無地 未使用 50 万・・・などです。

10 銭ハは、希少性にプラスしてルックスからして不落は不思議なのですが、他の物は、よくぞ売れたなと思います。良い物ですが、最低値一任ならこの値段は付けません。でもこのレベルの物ならば、ご出品者に付けてもらう方が良いでしょう。私が自分と同じ感性で高い評価を与えると、勝手に思い込んで、後でグジャグジャ言われるよりも、目一杯のご希望の数字を出してくれば良いのです。私は貴方では有りません。オークションアとすれば、ノーチャンスの物は遠慮なく返品しますが、絶対に勝手に最低値は変えないし、駄目元を承知で載せることも有るのです。最低値一

任の場合でも、同じ考えでやりますから、一任、指定で落札率は大きく変わることは有りません。ギリギリの線で70%に収斂するのです。このやり方は正解だと思います。不落札でも残品売りで高額品が売れるというのは際どい評価でやっていることの証明でも有るのです。



Lot2331

Lot2332

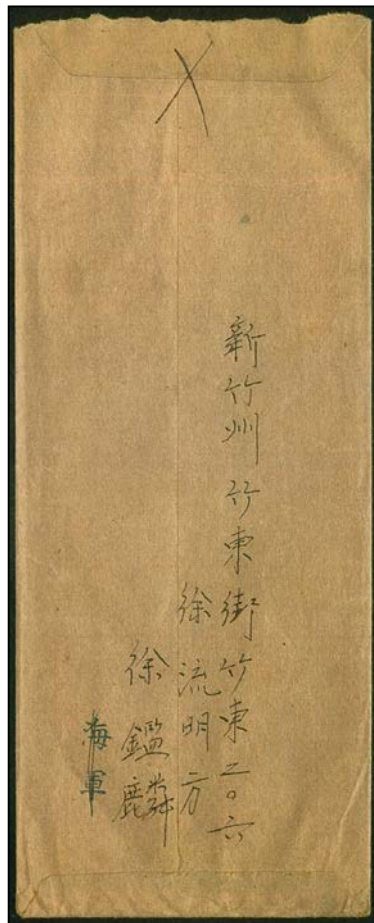
Lot2397 台湾数字 10 銭、2 昭 10 銭地図 3 枚貼書留新竹宛 櫛型竹東 20.11.6

最低値 350,000 応札 9 スタート 1,400,000 落札 2,100,000

今回のセールの目玉です。結果も正にその通りになりました。台湾から二人、中国本土と香港から各お一人がビッド、海外勢の 2 人と日本勢の 3 人が 135 万以上のビッドでした。

発売停止後ですが、竹東は、中華民国台湾省加刷の配給が 20 年 11 月 8 日なので、日付的にドンビシャです。第 1 種 10 銭の台湾数字はご本人が貼っていて、書留料の地図 10 銭 3 枚は局で貼り足したかなと思います。完全な民間実通なので、台湾数字とすればこれを超える物は今後も出てくることは無いでしょう。台湾の一人と中国の人が 170 万＝手数料込みで 200 万までという評価でした。

JAPEX セールと今回の一連の台湾関係の目玉はお一人の出品ですが、鉄郵と軍事と船内印と航空便で珍しい消印は、軒並み海外の二人に行っていました。知識も資金力も日本人を凌駕しているかなと思って見ていました。落札値はちょっと想定外で勿論予算を大幅に超えたでしょうが、210 万＋16% は払ってしまえばその内忘れるでしょう。目を瞑って、馬鹿になることもこの趣味には必要な事なのです。



Lot 2595 旧小判 15 銭白紙 11L 未使用 LH

最低値 15,000 応札 5 スタート 33,000 落札 105,000

場でのスタートが 33,000、お一人がビッドして、メールの一番札をクリアしての値段でした。メールの 10 万円は良い値段ですが、欲しい物に関しては強い札を入れてくれる人なので、然程不思議では有りません。落とした人は甘い人ではないので、何か理由が有るのです。定変かなと思ったのですが、写真を見れば判ります。11Lx10 なのです。白紙に限ってですが、12 銭では未・済で、20 銭では使用済に見つかっています。

特に 12 銭は掘出しやすいキーバラエティーとして意識するのですが、15 銭の場合、これが有るとは私の情報ボックスにはインプットされていませんでした。切手の目打を見る場合、私は目打ゲージは使いません。瞬時に横目打を目で読むのです。だから白紙の 11L と判断してしまっているのです。ご出品者は、ここ数年弊社のオークションで買ってくれていたボストークコレクター＝故人です。海外からの初なご出品なら、真剣にバラエティーを探して、見つければしっかり書くのですが、コレクションの大部分が弊社でのお買い上げ品という先入観念が有りました。状態だけを書けば良い、のスタンスで物を見ていました。



写真で見れば誰でも判ります。でも、気づいたのは一人だけ。メールの 10 万円の人は、多分ご存じなかったと思います。105,000 円はある意味ちょっとお気の毒、メールで良い値段が入った上で買ったのでちょっと割高、逆に言えば 11L x 10 と書いていたら、こんな値段では収まらない・・。

これ以上は野暮でしょう。この目打は有ると分かっていたら探しやすいので、続いて見つかる可能性は大いにあると思います。弊社のオークション、結構掘出しのチャンスが有るのです。写真版を見さえすれば、下見無しでも誰でもが見つけられる可能性が有ったのです。今までも、これからです。

第74回ナルミ・スタンプ・オークション

Narumi Philatelic Auction

令和2年4月4日(土) 午後3時開催 於: 新宿サンパークホテル
(郵便入札締切: 令和2年4月3日正午)



Lot. 367



Lot. 228

株式会社 鳴美

〒169-0073 新宿区百人町 2-21-8 JR 中央線大久保駅下車徒歩1分 土日祭日休み 営業時間: 11:00 ~ 18:00
Tel: 03-3361-3142 FAX: 03-3364-1960 E-mail: nrm@narumi-stamp.jp HP: <http://www.narumi-stamp.jp>
三井住友銀行新宿支店普通 2149448 郵便振替: 00150-1-145991 ゆうちょ銀行: 10080-50580451

スタンペディアオークション

第 12 回セール レポート

スタンペディアオークション株式会社

1 月 11 日に日本橋の綿商会館で開催された第 12 回セールは事前入札 174 名（対前回 -2 名）、パブリックオークション（フロア）参加者 39 名（対前回 +2 名）でした。事前入札率は 51% で、最終的な落札率は 758/1241=61.1% でした。なお流通額は 10,067,400 円と初めて一回あたりの流通金額（手数料除く）が一千万円を越えました。

恒例の事前入札ベストテンは以下の通りです。

	事前入札	Lot	最低値	スタート	落札値	ロット内容
1 位	12	172	3,000	9,000	9,500	P8.5 大津、博多、新潟、静岡 P13 横浜、金沢、函館、熊本、四日市、松山、盛岡、松本 U 小判 2 銭 12 枚 ボタ印 使用済
2 位	11	141	5,000	13,500	13,500	U 小判 1 銭 14 枚 ボタ印 使用済
3 位	9	311	5,000	15,500	15,500	「朝鮮」字入り切手 29 枚
4 位	8	822	3,000	18,500	18,500	中国 1978 奔馬 SS 未使用
	8	637	3,000	9,000	22,000	FDC 渡辺版 簡易書簡 8 円採炭夫 上部切りぬき カシエ付 FDC は希少 1949-11-01 東京中央 カバー
	8	37	20,000	62,000	72,000	和桜 4 銭 タイプ 12 枚 不統一印 下野国都賀郡栃木町郵便役所→仙台 書留書状 料金参考情報：書状 2 銭 [-1899.3.31] 書留 6 銭 [1876.1.1-1900.9.30]
	8	566	3,000	12,000	12,000	文通日本橋 シート 2 枚 目打バラエティ 未使用
	8	771	50,000	410,000	510,000	タイ表示切手 8c 二重丸印 1945-03-14 ケママン→静岡 カバー 中継印：TRENGGANU 3/17 検閲あり カバー汚れ 中身入り
9 位	7	643	3,000	5,400	5,400	国体 7 回山岳、7 回レスリング 連刷ペア FDC 渡辺版 1952-10-18 東京中央 カバー
	7	599	5,000	21,000	21,000	文通蒲原、新議事堂往復 返信部 鉄郵印 昭和 36 7 23 名古屋長野間→名古屋中央 速達 到着印：7/25 料金参考情報：葉書 5 円 [1951.11.1-1966.6.30] 速達 30 円 [1961.6.1-1966.6.30]

（単位：円）

竜 100 文 単貼り使用例

LOT. 55 最低値 300,000 フロア 430,000 (3 件) → 430,000

LOT. 56 最低値 200,000 フロア 290,000 (2 件) → 290,000

LOT. 55 は、値付けに悩んだ出品物でした。短い局では最初の 17 日間しか使われていない 3 文字検査済印、桑名以西で使用された篆書体。完全なカバーであれば、昔は一千万円だよ、との声も聞きます。

でも残念ながらオンピース。一体いくらを付けたら『無入札』のコールをせずに済むものか……。結果とすれば、最低値 30 万円はリーズナブルな数字だったようで、複数の事前入札が入り、無事新しい落札者の元へおさまりました。

ジャパン、タカハシ、日フィラ、JPS、鳴美と言った大手どころのオークションニアとお話をさせていただいても、皆一様に手彫切手の素晴らしいマテリアルのご出品が相次いでいると話をお聞きます。当社も同様です。

これを悲しむ声も出る一方で、私などは、むしろ収集を開始する好機なのでは？と感じてしまいます。過去のフィラテリストはなかなか厳選する余裕もなかったわけですが、それを厳選できるのでから……。



55



56

一円靖国神社多数貼り使用例

LOT. 388 最低値 50,000 フロア 115,000 (6 件) → 160,000

5 枚貼りですが、『多数貼り』と言って問題ないでしょう。この切手のこれ以上の多数貼りなんてみたこともありません。発行翌年の使用例ではありますが、そんな贅沢を言ったら、この切手の見た目の良い満足いくリーフは作れないでしょう。

このシリーズを収集している人であれば、逃したくない逸品のはずですが、残念ながら、一次、二次昭和と違い、収集熱があまり強くない三次昭和ということもあり、昭和切手専門家以外の方の手に収まりました。検閲印に加えて到着印も押されており、文句なしの良いカバーだと思えますが。



388

南方占領地マライ トレンガヌ発日本宛ほか

LOT. 768 最低値 30,000 フロア 80,000 (2 件) → 80,000
 LOT. 770 最低値 50,000 フロア 58,000 (2 件) → 230,000
 LOT. 771 最低値 50,000 フロア 410,000 (8 件) → 510,000

南方占領地マライ北部4州のタイへの割譲(1943.10.19)以降の同地から日本宛での使用例は珍しい。ここまでは日本のフィラテリストの大半もわかっていました事でしょう。

しかしながら、宛先にこだわる前に、差出局がまずは重要です。ケダー州・ベルリス州から差し出された郵便物の残存量に比べて、東部のケランタン州、トレンガヌ州が少ないことまで理解している人はそれほど多くはないでしょう。それに加えて、トレンガヌであればクアラトレンガヌ、ケランタンであればコタバルといった州首都以外からの差出の希少性まで知っていたとしたら、相当な知識だと思います。

今回の3通はいずれも同一コレスポンデンスで、トレンガヌ州ケママンから静岡県磐田宛です。いずれも中身入りで貴重な資料です。同地の郵便物の検閲は原則としてクアラトレンガヌ局で行われますが、日本宛ての為に検閲はいずれもイボー局で行われています。このあたりの郵便史の知識にも即したカバーです。

このカバーには海外から強い札が入りました。希望は、LOT.769、770、771。

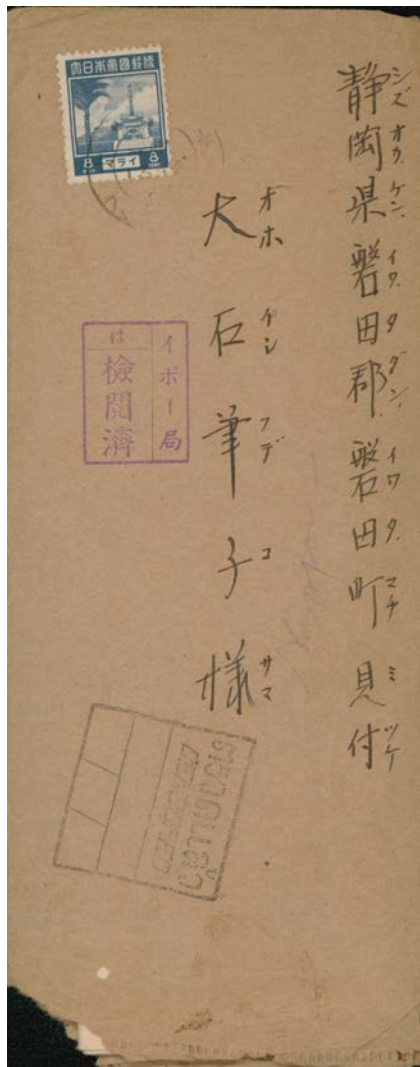
768を外す代わりに、LOT.769(クアラトレンガヌ発ペナン宛ての正刷4c葉書)に入れてきました。『LOT.768はいかなくて、LOT.769は行くの?』と尋ねたところ、『宛先が日本だろうがどこだろうが関係ない。トレンガヌ州から差し出された郵便物は少ない。LOT.768は消印が薄い』とのこと。

この判断で泣いたのがマライ正刷葉書の専門家。希少性を理解して事前に入れた渾身の札はあえなく跳ねられました。逆に笑ったのがマライ正刷切手の専門家。事前入札値より遥かに安い値段でLOT.768を入手できました。



国際展を意識して、世界基準で南方占領地の収集を進めるフィラテリストの考えに触れると、日本の南方占領地マテリアルへの評価の常識が古い感覚だと感じさせられます。先述の通り、宛先により検閲局が違うことを、日本宛とペナン宛を並べることで示すこともできますし、今回のマテリアルは、ほとんどが『今回を逃したら入手できない』マテリアルであることを理解した、オークションへの参加だったのではないかと思います

スタンペディアオークションは、『南方占領地』『外国切手』『文献』については、特に自信を持って取り扱っております。今後の出品にもどうぞご期待ください。



768



770

渡辺版 FDC 特集より

LOT. 637 最低値 3,000 フロア 9,000 (8 件) → 22,000

LOT. 639 最低値 3,000 フロア 10,500 (4 件) → 13,500

熱狂的な収集家も多い渡辺版 FDC を今回特集で取り扱ってみました。全般的に多くのご入札をいただく中、群を抜いて競ったのが、この二点。簡易書簡と切手帳でした。いずれも完全形態ではなく、簡易書簡は切り抜き、切手帳は、左上 3 枚だけでしたが、カシェ付き FDC が少ないことから、多めに競りました。

簡易書簡を切り抜いて FDC にするなど現在の常識からは考えられませんが、当時の郵便規則上は認められていたわけですから、当然、このような FDC は正規に存在して良いわけです。しかし気づいて作った人は少なかったでしょう。



637



639

スタンペディアオークション

2019 秋の文献セール・2020 冬の文献セールレポート

スタンペディアオークション株式会社

当社は、2019 年秋より、フィラテリーに関する出版文化を重視する『無料世界切手カタログ・スタンペディア社』と組んで、文献セールを定期的に開催し、フィラテリーに関する出版物のマーケットプレースを作りたいと考えています。

「スタンペディア日本版会員」にはご案内済みですが、事前入札と、プライスダウンセールを組み合わせ、2019 年 10-12 月（2019 秋の文献セール）、2020 年 1-2 月（2020 冬の文献セール）の 2 回のオークションを開催したところ、出品者・落札者双方から好評につき、年 4 回定期的に開催する事に決定いたしました。

セール名称	事前入札	プライスダウンセール開催期間	出品	事前入札で成約	最終成約	流通額
2019 秋の文献セール	2019/10/29	2019 年 12 月	83 点	28 点	61 点 (74%)	265,983
2020 冬の文献セール	2020/1/29	2020 年 2 月	70 点	37 点	58 点 (83%)	217,837

『欲しい時は手に入りにくく』『売る時は安くなる』郵趣文献ですが、ドイツでは定期的な文献だけのセールを開催することで、マーケットが作られています。当社では、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社とも協働し、我が国における実績を作って参りたいと考えております。

注目の販売品

2019 秋 LOT. A4 東海郵趣 復刊 1-24 私製合本	最低値 11,000 →	16,000
2019 秋 LOT. A6 菊・田沢会報 47-69 私製合本	最低値 14,000 →	19,000
2019 秋 LOT. A7 大宮郵趣 101-150 私製合本	最低値 3,000 →	7,000
2019 秋 LOT. A13 手彫切手 (2012,JPS)	最低値 13,000 →	13,000
2019 秋 LOT. A53 郵便消印大百科 (2007, 鳴美)	最低値 3,000 →	11,529
2019 秋 LOT. A58 JAPEX 記念出版軍事郵便 (2010,JPS)	最低値 11,000 →	11,000
2020 冬 LOT. B1 切手の美 (1953, 服部静夫)	最低値 20,000 →	20,000
2020 冬 LOT. B2 方寸の魅力 (1980, 金井宏之)	最低値 10,000 →	21,000
2020 冬 LOT. B10 郵便消印大百科 (2007, 鳴美)	最低値 8,000 →	13,933
2020 冬 LOT. B11 米国切手イヤースセット入り書籍数百米ドル	最低値 5,000 →	10,500
2020 冬 LOT. B12 スタンプコレクター 1-370 号ほぼ揃い	最低値 20,000 →	20,000

(右は手数料抜きの落札価格)

第 3 回目となる『2020 春の文献セール』には、これまでの倍のご出品物が集まっています。文献の入手をお考えの方はもちろん、ご処分をお考えの方も是非、当社セールをご活用ください。

スタンペディアオークション

最終落札結果

第12回セール 2020.1.11

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
1	31,000	43	12,000	88	3,600	133	0
2	300,000	44	0	89	3,000	134	0
3	200,000	45	10,500	90	5,000	135	6,000
4	105,000	46	5,000	91	3,000	136	8,000
5	0	47	17,500	92	0	137	15,500
6	62,000	48	10,500	93	11,500	138	0
7	5,000	49	10,500	94	3,000	139	3,000
8	85,000	50	12,500	95	5,200	140	2,000
9	15,500	51	0	96	0	141	13,500
10	50,000	52	5,000	97	52,000	142	3,000
11	5,800	53	5,000	98	43,000	143	4,400
12	0	54	3,000	99	0	144	2,000
13	50,000	55	430,000	100	0	145	2,000
14	62,000	56	290,000	101	5,000	146	2,200
15	5,000	57	0	102	0	147	5,000
16	5,000	58	10,000	103	31,000	148	0
17	6,200	59	0	104	2,000	149	3,000
18	5,600	60	0	105	0	150	2,200
19	9,500	61	85,000	106	2,200	151	6,200
20	15,000	62	52,000	107	2,000	152	6,200
21	12,500	63	6,000	108	2,800	153	12,000
22	5,400	64	0	109	2,600	154	0
23	13,500	65	12,500	110	12,000	155	0
24	9,000	66	0	111	0	156	5,200
25	5,200	67	7,000	112	5,000	157	4,000
26	11,000	68	6,000	113	4,000	158	10,000
27	0	69	0	114	9,000	159	0
28	5,000	70	6,000	115	6,000	160	2,000
29	5,800	71	5,200	116	7,200	161	2,000
30	0	72	3,800	117	0	162	3,200
31	0	73	0	118	0	163	3,200
32	30,000	74	0	119	0	164	0
33	0	75	5,000	120	2,600	165	0
34	0	76	0	121	0	166	0
35	5,000	77	15,000	122	0	167	2,000
36	52,000	78	0	123	2,000	168	2,000
37	72,000	79	5,200	124	10,000	169	2,000
38	8,500	80	0	125	3,400	170	2,000
39	145,000	81	8,500	126	0	171	2,000
40	10,500	82	1,400	127	2,000	172	9,500
41	5,400	83	4,200	128	2,000	173	3,600
42	0	84	0	129	3,000	174	5,200
		85	2,000	130	0	175	6,600
		86	0	131	0	176	0
		87	0	132	0	177	3,000
						178	3,000
						179	9,000
						180	7,400
						181	7,000
						182	2,200
						183	0
						184	10,000
						185	12,000
						186	0
						187	3,000
						188	3,000
						189	4,000
						190	0
						191	0
						192	3,000
						193	3,000
						194	3,000
						195	3,000
						196	0
						197	0
						198	0
						199	5,200
						200	0
						201	0
						202	3,000
						203	0
						204	0
						205	7,000
						206	0
						207	3,000
						208	0
						209	0
						210	12,500
						211	105,000
						212	0
						213	3,000
						214	0
						215	3,000
						216	3,000
						217	3,000
						218	3,000
						219	0
						220	7,000
						221	0
						222	5,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
223	0	271	0	319	0	367	0	415	7,000
224	12,000	272	2,000	320	0	368	0	416	3,000
225	9,000	273	0	321	3,000	369	8,000	417	0
226	9,000	274	25,000	322	12,000	370	0	418	3,000
227	0	275	3,000	323	5,400	371	0	419	0
228	0	276	0	324	2,800	372	0	420	0
229	0	277	5,000	325	0	373	3,000	421	0
230	0	278	3,000	326	3,000	374	5,000	422	0
231	3,000	279	3,400	327	7,000	375	7,200	423	100,000
232	72,000	280	4,800	328	10,500	376	10,500	424	3,800
233	0	281	0	329	3,200	377	4,400	425	0
234	5,000	282	5,400	330	0	378	8,500	426	7,800
235	0	283	3,000	331	6,200	379	4,200	427	0
236	21,000	284	8,500	332	21,000	380	2,000	428	10,500
237	0	285	5,600	333	3,200	381	2,800	429	3,400
238	0	286	12,500	334	2,000	382	12,500	430	0
239	3,000	287	0	335	6,200	383	3,800	431	0
240	3,000	288	7,000	336	3,000	384	7,000	432	5,000
241	140,000	289	120,000	337	4,200	385	0	433	0
242	3,000	290	9,000	338	0	386	0	434	25,000
243	10,500	291	5,000	339	0	387	22,000	435	20,000
244	0	292	0	340	0	388	160,000	436	5,000
245	8,500	293	18,000	341	0	389	1,000	437	0
246	0	294	19,500	342	15,000	390	3,000	438	0
247	0	295	0	343	4,200	391	0	439	3,000
248	7,000	296	0	344	0	392	0	440	15,000
249	0	297	4,000	345	0	393	3,000	441	5,000
250	0	298	3,000	346	0	394	3,000	442	1,000
251	0	299	0	347	0	395	0	443	3,000
252	3,400	300	8,500	348	0	396	5,000	444	5,000
253	3,000	301	12,000	349	0	397	5,000	445	2,400
254	0	302	4,000	350	0	398	3,000	446	8,000
255	5,200	303	28,000	351	10,000	399	31,000	447	6,000
256	26,000	304	10,000	352	4,000	400	0	448	0
257	3,000	305	10,000	353	12,000	401	0	449	0
258	0	306	11,500	354	490,000	402	0	450	0
259	0	307	3,000	355	185,000	403	3,000	451	26,000
260	0	308	4,000	356	15,000	404	3,000	452	0
261	5,600	309	0	357	20,000	405	3,000	453	0
262	13,000	310	0	358	5,000	406	6,200	454	0
263	6,200	311	15,500	359	0	407	0	455	0
264	0	312	4,000	360	0	408	5,800	456	3,000
265	13,000	313	10,000	361	0	409	6,000	457	10,500
266	4,000	314	4,000	362	15,000	410	4,000	458	5,000
267	5,000	315	0	363	4,800	411	3,000	459	0
268	0	316	16,500	364	0	412	10,500	460	10,500
269	2,000	317	3,000	365	13,500	413	0	461	0
270	3,000	318	2,000	366	10,000	414	5,000	462	3,600

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
463	5,000	511	1,000	559	0	607	3,400	655	3,000
464	10,000	512	0	560	2,400	608	0	656	4,200
465	2,200	513	7,600	561	4,200	609	4,000	657	0
466	0	514	0	562	2,000	610	8,000	658	12,500
467	14,500	515	0	563	8,500	611	15,000	659	2,000
468	0	516	3,000	564	41,000	612	3,000	660	0
469	0	517	0	565	9,000	613	3,800	661	3,000
470	0	518	5,000	566	12,000	614	5,800	662	7,000
471	3,600	519	5,000	567	26,000	615	0	663	3,000
472	10,500	520	3,000	568	8,000	616	3,000	664	5,000
473	5,000	521	2,400	569	10,000	617	3,000	665	0
474	0	522	0	570	5,000	618	5,000	666	0
475	7,000	523	7,000	571	0	619	4,000	667	0
476	5,000	524	3,600	572	3,000	620	0	668	0
477	10,500	525	33,000	573	4,000	621	0	669	0
478	0	526	0	574	4,000	622	2,000	670	0
479	10,500	527	0	575	1,200	623	0	671	3,000
480	74,000	528	0	576	3,000	624	0	672	0
481	2,400	529	3,200	577	0	625	3,000	673	0
482	5,000	530	3,000	578	5,000	626	0	674	0
483	0	531	3,000	579	3,000	627	0	675	0
484	0	532	4,200	580	10,500	628	0	676	2,000
485	8,500	533	0	581	6,000	629	0	677	0
486	0	534	0	582	4,000	630	0	678	1,400
487	3,000	535	1,600	583	3,200	631	3,400	679	0
488	3,000	536	3,800	584	3,000	632	0	680	0
489	15,000	537	4,200	585	0	633	4,000	681	0
490	12,000	538	2,000	586	5,200	634	5,000	682	14,500
491	0	539	4,600	587	4,200	635	10,000	683	12,000
492	10,000	540	10,000	588	6,000	636	16,500	684	30,000
493	0	541	10,000	589	0	637	22,000	685	20,000
494	5,000	542	11,500	590	3,000	638	3,400	686	22,000
495	1,200	543	15,000	591	4,400	639	13,500	687	15,000
496	3,000	544	9,500	592	3,000	640	5,200	688	26,000
497	7,000	545	3,000	593	3,000	641	3,800	689	10,000
498	10,500	546	0	594	4,200	642	3,800	690	9,500
499	2,000	547	2,000	595	15,500	643	5,400	691	0
500	5,000	548	1,600	596	7,200	644	4,000	692	3,600
501	0	549	0	597	3,000	645	3,800	693	3,600
502	1,200	550	1,000	598	3,000	646	6,400	694	3,000
503	5,600	551	15,000	599	21,000	647	2,000	695	0
504	0	552	5,200	600	5,000	648	4,200	696	0
505	0	553	5,200	601	3,000	649	8,000	697	3,000
506	0	554	1,000	602	3,000	650	10,000	698	0
507	2,400	555	3,000	603	3,000	651	10,500	699	0
508	1,600	556	0	604	2,000	652	7,800	700	11,500
509	0	557	3,000	605	13,500	653	3,200	701	3,000
510	0	558	2,000	606	12,500	654	2,600	702	3,200

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
703	3,000	751	3,200	799	5,000	847	3,000	895	6,000
704	3,000	752	40,000	800	10,000	848	0	896	36,000
705	3,000	753	0	801	0	849	10,000	897	0
706	37,000	754	1,000	802	0	850	3,000	898	0
707	3,000	755	0	803	7,000	851	3,000	899	4,000
708	0	756	3,200	804	0	852	5,000	900	0
709	0	757	3,000	805	15,000	853	3,000	901	3,000
710	3,000	758	4,000	806	3,000	854	3,000	902	9,500
711	0	759	5,000	807	0	855	3,000	903	3,000
712	0	760	3,000	808	8,000	856	2,000	904	3,000
713	3,000	761	3,000	809	0	857	6,000	905	7,000
714	5,000	762	2,600	810	0	858	0	906	15,000
715	0	763	2,800	811	4,800	859	5,000	907	0
716	5,000	764	6,000	812	4,000	860	4,400	908	0
717	3,000	765	0	813	3,000	861	5,000	909	0
718	3,000	766	7,200	814	0	862	0	910	0
719	3,000	767	3,000	815	0	863	0	911	0
720	3,000	768	80,000	816	4,200	864	4,200	912	0
721	3,400	769	135,000	817	1,800	865	2,000	913	37,000
722	4,800	770	230,000	818	14,500	866	4,000	914	52,000
723	5,600	771	510,000	819	0	867	17,000	915	31,000
724	5,000	772	2,000	820	5,200	868	4,200	916	0
725	8,000	773	0	821	3,000	869	0	917	5,000
726	3,400	774	0	822	18,500	870	0	918	4,600
727	3,600	775	0	823	0	871	8,000	919	6,400
728	16,000	776	0	824	0	872	5,400	920	5,000
729	0	777	0	825	1,000	873	5,000	921	2,000
730	3,000	778	5,200	826	3,000	874	16,000	922	2,000
731	2,000	779	1,600	827	3,200	875	0	923	3,000
732	4,600	780	26,000	828	5,000	876	19,000	924	3,000
733	5,000	781	85,000	829	3,000	877	4,000	925	2,000
734	0	782	4,000	830	5,000	878	9,500	926	0
735	2,000	783	3,000	831	4,200	879	4,200	927	4,000
736	0	784	0	832	2,000	880	3,600	928	3,000
737	0	785	3,000	833	5,000	881	2,000	929	3,000
738	4,000	786	3,000	834	3,000	882	3,800	930	4,000
739	0	787	0	835	3,000	883	3,000	931	4,000
740	0	788	0	836	3,000	884	0	932	5,000
741	85,000	789	9,500	837	3,400	885	0	933	4,000
742	4,200	790	3,000	838	2,200	886	0	934	6,200
743	0	791	3,000	839	68,000	887	7,400	935	2,000
744	4,200	792	18,000	840	3,000	888	3,200	936	4,400
745	4,200	793	5,000	841	5,000	889	8,000	937	6,400
746	0	794	3,000	842	0	890	6,600	938	16,000
747	2,000	795	15,000	843	3,000	891	6,200	939	0
748	3,000	796	0	844	3,000	892	3,200	940	5,200
749	25,000	797	0	845	3,000	893	0	941	0
750	4,000	798	0	846	3,000	894	0	942	3,000

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値
943	0	991	0	1039	20,000	1087	0	1135	0
944	0	992	0	1040	0	1088	0	1136	0
945	0	993	0	1041	60,000	1089	0	1137	0
946	0	994	10,000	1042	0	1090	0	1138	0
947	0	995	0	1043	0	1091	80,000	1139	0
948	0	996	0	1044	0	1092	0	1140	0
949	10,000	997	41,000	1045	1,000	1093	0	1141	0
950	4,000	998	0	1046	0	1094	0	1142	0
951	0	999	0	1047	0	1095	0	1143	0
952	5,000	1000	20,000	1048	0	1096	3,000	1144	0
953	0	1001	0	1049	0	1097	0	1145	0
954	5,000	1002	0	1050	0	1098	10,000	1146	0
955	4,000	1003	0	1051	0	1099	0	1147	0
956	2,400	1004	3,000	1052	3,600	1100	10,000	1148	0
957	0	1005	0	1053	0	1101	0	1149	0
958	0	1006	0	1054	0	1102	0	1150	0
959	0	1007	15,000	1055	0	1103	10,000	1151	0
960	0	1008	30,000	1056	0	1104	0	1152	0
961	3,000	1009	0	1057	0	1105	0	1153	0
962	6,000	1010	0	1058	6,000	1106	0	1154	0
963	0	1011	100,000	1059	12,500	1107	0	1155	3,000
964	0	1012	0	1060	0	1108	0	1156	0
965	0	1013	0	1061	3,000	1109	0	1157	0
966	5,000	1014	3,000	1062	0	1110	0	1158	2,000
967	0	1015	0	1063	0	1111	0	1159	3,000
968	3,200	1016	0	1064	12,500	1112	0	1160	0
969	0	1017	10,000	1065	0	1113	0	1161	8,000
970	0	1018	0	1066	40,000	1114	20,000	1162	0
971	3,000	1019	30,000	1067	0	1115	0	1163	3,000
972	4,000	1020	0	1068	0	1116	0	1164	2,000
973	3,000	1021	0	1069	0	1117	0	1165	3,000
974	0	1022	0	1070	0	1118	0	1166	0
975	0	1023	0	1071	1,200	1119	0	1167	10,000
976	0	1024	0	1072	14,000	1120	0	1168	0
977	7,000	1025	0	1073	5,200	1121	0	1169	5,000
978	5,000	1026	0	1074	0	1122	0	1170	1,400
979	2,000	1027	0	1075	0	1123	0	1171	0
980	2,000	1028	0	1076	0	1124	0	1172	0
981	21,000	1029	3,200	1077	0	1125	0	1173	0
982	5,200	1030	40,000	1078	0	1126	0	1174	0
983	3,000	1031	0	1079	0	1127	10,000	1175	0
984	10,500	1032	0	1080	0	1128	0	1176	0
985	5,200	1033	0	1081	0	1129	0	1177	0
986	13,500	1034	5,000	1082	3,400	1130	0	1178	5,000
987	10,000	1035	4,000	1083	4,200	1131	0	1179	0
988	3,000	1036	0	1084	0	1132	0	1180	0
989	0	1037	20,000	1085	2,000	1133	0	1181	0
990	0	1038	20,000	1086	0	1134	0	1182	0

Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	Lot	落札値	
1183	2,000	1231	0	A30	1,200	A75	0	B31	1,000	
1184	0	1232	3,200	A31	1,200	A76	3,872	B32	1,000	
1185	0	1233	0	A32	0	A77	1,440	B33	1,600	
1186	0	1234	7,800	A33	1,440	A78	1,200	B34	1,000	
1187	2,000	1235	0	A34	2,787	A79	1,200	B35	500	
1188	0	1236	0	A35	0	A80	1,200	B36	1,008	
1189	0	1237	11,000	A36	2,787	A81	968	B37	1,000	
1190	0	1238	0	A37	2,787	A82	120	B38	0	
1191	0	1239	3,000	A38	2,787	A83	0	B39	1,000	
1192	0	1240	3,000	A39	500	2020 冬の 文献セール 2020.1.29	B40	700		
1193	0	1241	3,000	A40	840		B41	2,000		
1194	0	2019 秋の 文献セール 2019.10.29	Lot	落札値	A41		3,600	B42	4,000	
1195	0				A42		2,420	B43	968	
1196	0				A43		8,400	B44	1,008	
1197	0				A44		2,400	B45	2,000	
1198	0				A45		1,936	B46	0	
1199	0	A1	3,600	A46	13,200		B1	20,000	B47	2,842
1200	3,000	A2	0	A47	0		B2	21,000	B48	1,210
1201	5,000	A3	6,000	A48	2,420		B3	1,000	B49	1,210
1202	5,000	A4	19,200	A49	6,639	B4	1,000	B50	0	
1203	1,000	A5	0	A50	1,238	B5	4,200	B51	0	
1204	0	A6	22,800	A51	500	B6	10,000	B52	0	
1205	5,000	A7	8,400	A52	500	B7	5,200	B53	1,000	
1206	0	A8	1,238	A53	13,835	B8	5,200	B54	3,025	
1207	15,500	A9	1,458	A54	2,420	B9	183	B55	0	
1208	0	A10	0	A55	0	B10	13,933	B56	4,000	
1209	3,600	A11	500	A56	0	B11	10,500	B57	0	
1210	15,000	A12	6,000	A57	4,800	B12	20,000	B58	1,880	
1211	28,000	A13	15,600	A58	13,200	B13	2,200	B59	200	
1212	5,000	A14	0	A59	0	B14	4,000	B60	1,000	
1213	0	A15	0	A60	0	B15	200	B61	1,200	
1214	0	A16	4,899	A61	1,348	B16	1,000	B62	1,000	
1215	18,500	A17	0	A62	0	B17	1,200	B63	1,008	
1216	10,000	A18	3,000	A63	0	B18	1,400	B64	1,000	
1217	16,500	A19	3,000	A64	3,861	B19	5,000	B65	330	
1218	0	A20	12,000	A65	2,420	B20	0	B66	2,323	
1219	10,000	A21	12,000	A66	0	B21	3,000	B67	1,000	
1220	13,500	A22	2,400	A67	10,409	B22	0	B68	1,000	
1221	0	A23	3,840	A68	2,420	B23	0	B69	0	
1222	5,000	A24	5,524	A69	0	B24	400	B70	400	
1223	3,000	A25	1,200	A70	557	B25	400			
1224	1,600	A26	1,200	A71	3,093	B26	1,600			
1225	2,000	A27	2,400	A72	0	B27	0			
1226	2,400	A28	1,200	A73	0	B28	352			
1227	5,400	A29	1,200	A74	0	B29	1,549			
1228	2,200					B30	2,600			
1229	0									
1230	18,500									

「スタンペディア日本版」2020 年メンバーシップ特典

1. 機関誌「フィラテリストマガジン」のお届け（4冊）

機関紙通常号本誌（付録含まず）を 3/30, 6/30, 9/30, 12/30 頃にお送りします。

2. 機関誌「フィラテリストマガジン」2020 年発行分 PDF のダウンロード権利

3/15, 6/15, 9/15, 12/15 の 4 回発行するほか、年 3 回の号外の発行を予定しております。

3. 書籍「日本郵趣記事索引 2021」のお届け

フィラテリストマガジン等の郵趣記事索引を掲載した書籍（冊子）を 2021 年前半にお届けします。

4. 単行本販売時の優先取り扱い

当社発行書籍等をお申し込みいただく場合、非会員に比べて優遇した条件で販売する場合がございます。オンラインからの注文に関しては、マイスタンペディアにてワンクリックでお申込みいただける仕組みも導入しております。

5. 提携先の「スタンペディアオークション株式会社」の優待サービスを受けられます

スタンペディアオークション株式会社（以下、同社）より「スタンペディア日本版」会員向け優待サービスが提供されており、同社が利用停止した方を除く全ての当会会員が利用できます。

- （1）毎回のセールカタログを、当会機関紙の郵送時に同梱で受け取ることができます。
- （2）入札や下見にあたり、同社への会員登録の申し込みは不要で、当会会員の資格で参加できます。
- （3）事前入札において同値の場合、当会会員の取り扱いが優先されます。（第 12 回セールより）
- （4）一定条件を満たす事前入札に対して、入札確認通知の郵送を行います。（試行サービス）

会費有効期限 2020 年 1 月 1 日ー12 月 31 日

「スタンペディア日本版」入会方法

1. まず、お受け取りになる冊子のサイズを『A4 判』か『A5 判』か、お決めください。

A5 判の場合、年会費は 3,980 円 となります。

A4 判の場合、年会費は 9,980 円 となります。

2. 該当する金額を本ページ「送金先」欄のいずれかの方法でご送金ください。

3. ご連絡先（郵送先・電子メールアドレスのいずれか、もしくは両方）を当社にご連絡ください。

ご連絡先が分からない場合は、当社からはサービスの提供を開始できません。

送金先

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| (1) ゆうちょ銀行 10060 14016181 | 加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 |
| (2) 楽天銀行 ロック支店 普通 7027345 | 加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 |
| (3) ゆうちょ振替口座 00100-4-515137 | 加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 |
| (4) Paypal order@stampedia.net | |

連絡先

- (1) 郵便 102-0083 海事ビル内郵便局留置 スタンペディア
- (2) F A X 03-5770-8504
- (3) 電子メール tpm@stampedia.net

あとがき

先日、五輪に関する報道で、日本が安全宣言を出し、ホストとして五輪開催の条件を十二分に満たしても、世界（特に中国、米国、欧州など）から選手が来ることが（でき）なければ、意味の薄い催事になるという記事を目にする機会があり、はっと、気づかされました。

切手展に当てはめるとこういう話です。例えば、NZ2020 には 285 作品がエントリーされていますが、一割強は中国・韓国からの 31 作品ですので展示されません。ニュージーランド自体は国内を今のところうまくコントロールしているので、同国にも実行委員会にも非はありません。しかし、NZ2020 は不参加の出品物が増えた分だけ水準が下り、魅力のない展覧会になってしまうのです。

米国が欧州からの入国禁止を急遽発動したり、欧州の現在の状況から推測するに、ロンドン展は、更に多くの出品が展示取りやめになると予測しています。国際展の意義がどんどん失われている点が実に残念です。運営委員会を知っているだけに彼らの無念を思うと、本当に気の毒だなと思います。

五輪や国際切手展のような、世界的な催事は、世界の国々と遮断されると、意義がどんどん失われていきます。有意義な国際的な催事が当面難しい段階にあることは理解した上で、このような状態がいつまで続くのか、そもそも数年後にはおさまるのか？が気になります。

とはいえ気になったところで「自分で解決しようもない事に悩んでも意味がない」というのがビジネス時代からの私の考えです。海外をはじめとする長期間の出張のない分、これから暫くは東京のオフィスでのデスクワークの時間を確保し、郵趣の振興の為にできるアウトプットを出版物やインターネットサービスで出していく期間にあてていこうと考えています。（吉田）

毎日新型コロナウイルスについての情報を目にする日々です。

郵趣は社交的な趣味です。この世界に入ってからその事を知りました。人見知りの私も（現在進行形）その社交の場をおおいに楽しんでいます。が、残念ながら今はコロナの影響でその楽しみを味わう機会がほとんどなくなってしまいました。何よりも健康が第一ですからこればかりは仕方ありません。

ただ、郵趣の楽しみ方は一つではありません。社交という楽しみが減っても、収集品を整理したり、調べたり、リーフを使ってみたりと、ひとりでもめいりばい楽しめます。素敵ですね。

コロナで生活も混沌とする日々の中で、それを忘れさせてくれる存在となっています。とは言いつつ、やはり郵趣家の方々に会いたいな～と思うのが本音です。一日も早い新型コロナウイルスの終息とみなさまのご健康を心よりお祈りしております。（菊地）

書 名：フィラテリストマガジン

号 数：第 26 号（2020 年春号）

発行日：2020 年 3 月 30 日

価 格：1,500 円（消費税込）

発行者：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

発行人：吉田敬

編集部：北川朋美、菊地恵実

* 当誌は「スタンペディア日本版」の機関誌です。

Name of the magazine: The Philatelist Magazine

Number: 26th (2020 Spring issue)

Date of issue: March 30th 2020

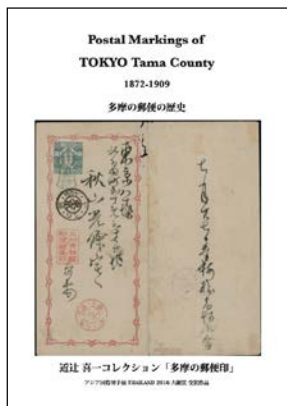
Price: 1,500 Yen

Publisher: Stampedia, inc. Takashi Yoshida

Editor: T. Kitagawa, E. Kikuchi

新刊書籍のご案内

何冊注文しても送料は一律 300 円です。
なお 2020/4/10 までの会員の新刊注文は、送料をサービスします。



多摩の郵便の歴史 近辻喜一コレクション「多摩の郵便印」

国際競争切手展に出品された、地域郵便史コレクションの全ページをほぼ原寸のフルカラーで収めた書籍です。全リーフ下部に、出品者による解説が適切に配置されており、理解しやすい構成となっています。

全ページ紹介に加えて「多摩地域の郵便史」「青梅郵便局と横川貞八」の2論文を収める一冊。

多摩の郵便史を広めるべく、通常よりも安い価格設定にしました。

書籍名：多摩の郵便の歴史

編 者：近辻 喜一

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A4 判 86 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：1、100円（消費税込、送料別）



日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業 1874-1915

著者は収集品をもとに研究成果をまとめたコレクションを、昨今の展覧会に出品しており、作品解説には多くのフィラテリストが鈴なりです。

既刊本の専門書籍以上の内容である事が多く、作品解説の聴講に参加した参観者はもちろん、参観が叶わなかった方からも単行本化が待ち望まれていました。

今回ようやく一冊提供が叶いました。是非お手元にお納めください。

書籍名：日本の郵便の歴史 前島密の時代の通信事業 1874-1915

著 者：片山 七三雄

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A4 判 約 142 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：1、650円（消費税込、送料別）



南方占領地マライ切手カタログ 1942-1945

日本切手専門カタログの南方占領地の著者であり、当誌を始めとする各雑誌で連載を執筆する守川氏による南方占領地切手カタログがシリーズとして発行されることになりました。

これまでの日本の南方占領地切手カタログは、モノクロの代表図案しか掲載されていなかった為、専門家以外には理解しづらかった課題を大量の図版で解決すると共に、製造面・使用面からの解説を入れ、現在の収集家はもちろん、これから集める方にも使いやすい一冊としました。今後、他地域も刊行予定。

書籍名：南方占領地マライ切手カタログ 1942-1945

監 修：守川 環

発 行：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

体 裁：A5 判 約 160 ページ、フルカラー、オフセット印刷

価 格：2、200円（消費税込、送料別）

マイスタンペディア、電子メールでのご注文以外は、郵便振替（P.162に掲載）をご利用ください。

販売：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社